

教 育 要 覧

令和 5 年度

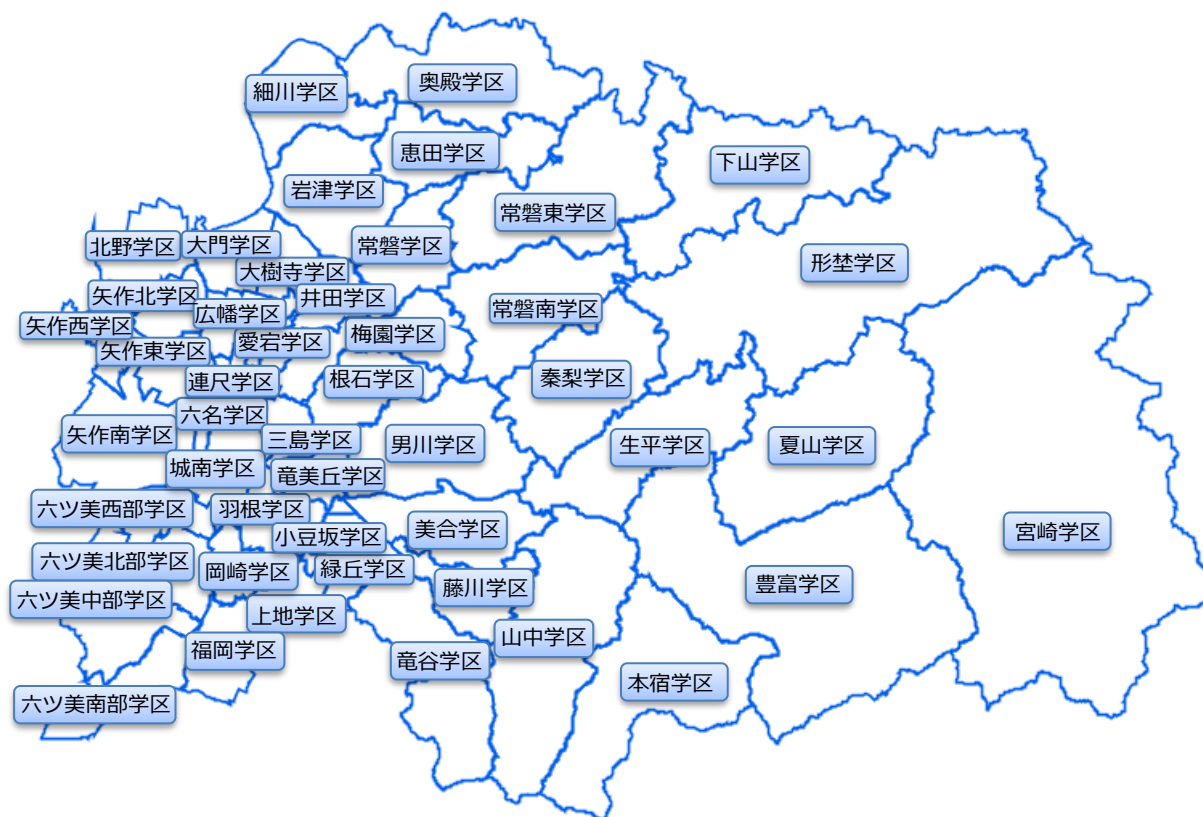
岡 崎 市 教 育 委 員 会

I	総説	1	2	家庭教育事業	70
第1	市勢の概要	2	第2	社会教育施設等	72
1	隣接町村合併沿革	4	1	市民センター	72
2	人口及び世帯数の推移	5	2	視聴覚ライブラリー	73
第2	教育委員会	6	3	図書館交流プラザ	76
1	教育長・教育委員	6	4	中央図書館	78
2	令和4年度教育委員会	7	5	美術館	85
第3	教育行財政	9	6	美術博物館	86
1	令和5年度教育費予算	9	7	少年自然の家	87
2	令和3年度教育費歳出決算	10	8	少年愛護センター	88
3	岡崎市学校教育等推進計画	11	9	子ども・若者総合相談センター	89
4	行政組織図	12	第3	文化財	91
5	職員配置状況	13	1	文化財保護	91
6	事務局・教育機関の事務分掌	14	2	旧本多忠次邸	94
7	事務の補助執行	17	第4	社会体育	96
II	学校教育	19	1	体育振興	96
1	学校教育の視点	20	2	公益財団法人岡崎市スポーツ協会	99
2	令和5年度研究発表会・授業公開	21	IV	資料	103
3	時代の要請に応える教育	22	第1	教育委員会関係	104
4	特色ある教育活動・取組	23	1	歴代教育委員会委員	104
5	I C T教育	24	2	歴代教育委員会委員長	106
6	国際理解教育	29	3	歴代教育長	107
7	特別支援教育	31	第2	学校関係	109
8	教職員の研修	32	1	市内学校数	109
9	教育委員会特別委員会	39	2	進路別卒業者数の推移	109
10	学校評価(学校経営評価)	41	3	児童・生徒定期健康診断	110
11	開かれた学校づくり	42	4	学校事故	112
12	いじめ・長期欠席対策	44	5	学校保健	114
13	危機管理対策	47	6	学校施設	115
14	就学・奨学制度	50	7	市立小学校概要	116
15	全市的行事	52	8	市立中学校概要	120
16	教育関係表彰	56	9	児童生徒数一覧	122
17	総合学習センター	57	10	市立小中学校以外の学校等	124
18	教育相談センター	60	第3	体育施設	126
19	学校給食	62	1	市内体育施設	126
III	生涯学習	65	2	利用状況	129
第1	生涯学習	66			
1	生涯学習事業	66			

I 総説

- 第1 市勢の概要
- 第2 教育委員会
- 第3 教育行財政

第1 市勢の概要



○市制施行 大正5年7月1日

○市役所の位置 岡崎市十王町二丁目9番地

○親善都市 沖縄県石垣市 昭和44年2月19日提携
広島県福山市 昭和46年11月9日提携

○姉妹都市 スウェーデン・ウッデバラ市 昭和43年9月17日提携
米国・ニューポートビーチ市 昭和59年11月27日提携

○友好都市 中国・呼和浩特市 昭和62年8月10日提携

○ゆかりのまち 長野県佐久市、神奈川県茅ヶ崎市、岐阜県関ヶ原町
昭和58年7月1日提携

○観光交流都市 石川県金沢市 平成19年10月18日提携

○市章

岡崎市の市章は、外まわりに竜の爪が宝珠をつかんだ形を配し、その中は岡崎の「岡」の漢字を図案化したもので、岡崎城の故事を取り入れてこの形になったとされている。



○市の花 ふじ（昭和45年6月2日選定）

岡崎公園の西南部、菅生川を望む藤棚に見られるフジの古株「五万石藤」が有名である。昭和38年には市の天然記念物に指定。かつて城の入口付近にあったものを今の場所に移したもので、古くから五万石藤の名で市民に親しまれている。



○市の花 さくら（平成28年7月1日選定）

岡崎城を背景に咲き誇る桜は、本市のシンボルであり、毎年、市内外から多くのかたが訪れ、東海地方随一と言われる夜桜とともに、市民の誇りとなっている。市制施行100周年を機に、市の花として追加された。



○市の鳥 ハクセキレイ（昭和50年3月27日選定）

生活圏が主に水辺で清流のまち岡崎のイメージに合い、矢作川や乙川などの水辺でよく姿を見ることができることから選ばれた。



○市の木 みかわくろまつ（昭和46年12月21日選定）

市民の投票によって決定しました。西三河には古くから、盆栽、庭木として優れたクロマツが多いことから、岡崎で見られるものを「みかわくろまつ」と称賛してつけられた。



○市歌

岡崎市歌

北原白秋 作詞
山田耕筈 作曲

1 雲にかがやく 竜城の
青葉の嵐 仰ぎ見よ
国に築きし 先傑の
勲は高し この力
奮えよ我等 後永く
堅実の地歩 日に継がん
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

2 名にしゆたけき 天恵の
矢作の流 まさに見よ
土は肥えたり 西三河
眺は広し この平野
奮えよ我等 明らけく
営々の業 世に布かん
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

3 煙にぎわう 新興の
時代の勢 ここに見よ
音にきこゆる 産業の
誉は高し この栄
奮えよ我等 眉わかく
躍進の都市 いまどよむ
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

I 総 説

第1 市勢の概要

1 隣接町村合併沿革

年 月 日	編 入 町 村	編入面積	総面積
明治 22 年 10 月 1 日	町制施行 (30 町村合併)	4.07km ²	4.07km ²
明治 35 年 9 月 23 日	男川村の一部 (大字欠) 合併	1.45km ²	5.52km ²
明治 39 年 5 月 1 日	三島村、乙見村の一部 (大字稲熊、大字小呂) 合併	9.87km ²	15.39km ²
大正 3 年 10 月 1 日	広幡町合併	4.29km ²	19.68km ²
大正 5 年 7 月 1 日	市制施行		
昭和 3 年 9 月 1 日	岡崎村、美合村、男川村、常磐村の一部 (大字箱柳) 合併	31.16km ²	50.84km ²
昭和 30 年 2 月 1 日	岩津町、福岡町、本宿村、山中村、藤川村、竜谷村、河合村、常磐村合併	139.31km ²	190.15km ²
昭和 30 年 4 月 1 日	矢作町合併	22.70km ²	212.85km ²
昭和 35 年 1 月 1 日	旧矢作町の一部 (河野村、宇頭茶屋町、尾崎町、柿崎町、橋目町の一部) 安城市へ編入	△3.12km ²	209.73km ²
昭和 37 年 10 月 15 日	六ツ美町合併	17.32km ²	227.05km ²
平成元年 11 月 10 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		226.97km ²
平成 18 年 1 月 1 日	額田町合併	160.27km ²	387.24km ²
平成 26 年 10 月 1 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		387.20km ²

2 人口及び世帯数の推移

(各年4月1日現在)

年 度	総 数	男	女	世帯数	備 考
大正5年	34,895 人	16,485 人	18,410 人	7,687 世帯	7月市制施行
昭和3年	51,700 人	25,292 人	26,408 人	11,825 世帯	9月岡崎村他3村合併
10	71,623 人	34,196 人	37,427 人	15,961 世帯	
20	97,686 人	48,105 人	49,581 人	20,507 世帯	
30	143,575 人	68,812 人	74,763 人	28,634 世帯	2月岩津町他7町合併、4月矢作町合併
35	165,453 人	79,560 人	85,893 人	34,566 世帯	1月安城市に一部境界変更
37	172,069 人	83,557 人	88,512 人	36,998 世帯	10月六ツ美町合併
40	193,559 人	94,475 人	99,084 人	43,075 世帯	
50	231,083 人	114,186 人	116,897 人	67,279 世帯	
60	281,914 人	139,614 人	142,300 人	83,656 世帯	
平成元年	299,628 人	149,115 人	150,513 人	92,504 世帯	
10	331,779 人	166,249 人	165,530 人	113,883 世帯	
15	348,049 人	174,949 人	173,100 人	126,753 世帯	4月中核市に移行
18	367,850 人	185,452 人	182,398 人	138,706 世帯	1月額田町合併
20	375,067 人	189,605 人	185,462 人	145,040 世帯	
22	376,120 人	189,667 人	186,453 人	146,941 世帯	
23	376,469 人	189,787 人	186,682 人	148,074 世帯	
24	378,217 人	190,834 人	187,383 人	149,932 世帯	
25	378,249 人	190,879 人	187,370 人	149,060 世帯	
26	379,264 人	191,515 人	187,749 人	150,968 世帯	
27	380,764 人	192,372 人	188,392 人	152,849 世帯	
28	383,493 人	194,150 人	189,343 人	155,905 世帯	
29	384,950 人	195,001 人	189,949 人	157,966 世帯	
30	386,943 人	196,261 人	190,682 人	160,783 世帯	
31	387,887 人	196,813 人	191,074 人	163,104 世帯	
令和2年	387,106 人	196,578 人	190,528 人	164,390 世帯	
令和3年	385,823 人	195,816 人	190,007 人	165,775 世帯	
令和4年	384,996 人	195,197 人	189,799 人	166,994 世帯	
令和5年	383,789 人	194,477 人	189,312 人	168,543 世帯	

第2 教育委員会

1 教育長・教育委員



職 名 教 育 長
氏 名 安 藤 直 哉
教育長就任年月日 令和4年4月1日（3期目）



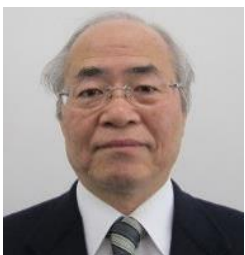
職 名 委 員・教育長職務代理者
氏 名 岡 田 京 子
教育長職務代理者
就 任 年 月 日 令和5年4月1日
委員就任年月日 令和2年11月17日（2期目）



職 名 委 員
氏 名 千 野 智 子
委員就任年月日 令和3年10月1日（1期目）



職 名 委 員
氏 名 上 原 三 十 三
委員就任年月日 令和4年10月1日（2期目）



職 名 委 員
氏 名 小 出 義 信
委員就任年月日 令和元年10月1日（3期目）

2 令和4年度教育委員会の開催状況

開催日	議 案 等 件 名
令和4年4月28日	1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について 2 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会委員の任命について
令和4年5月19日	1 令和3年度岡崎市一般会計継続費繰越計算書について 2 令和3年度岡崎市一般会計繰越明許費繰越計算書について 3 公益財団法人岡崎市学校給食協会の経営状況について 4 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和4年6月23日	1 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 2 岡崎市学校給食センター運営委員の委嘱について 3 岡崎市少年愛護センター運営委員の委嘱について 4 岡崎市社会教育委員の委嘱について 5 岡崎市立小中学校の教職員のハラスメント防止等に関する要綱について 6 特定事業の契約の臨時代理について 7 岡崎市小規模特認校の指定について 8 令和4年度全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて 9 教科用図書採択地区について 10 教科用図書の採択について
令和4年7月21日	1 岡崎市スポーツ推進委員の辞任の承認について 2 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 3 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 4 いじめ防止に向けた取組について 5 岡崎市学校運営協議会規則の制定について
令和4年8月9日	1 岡崎市学校給食センター運営委員の委嘱について 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和4年9月22日	1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について 2 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について 3 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について 4 愛知県指定文化財の指定に伴う岡崎市指定文化財の指定解除について 5 損害賠償の額を定める専決処分について 6 令和5年度教職員定期人事異動方針について
令和4年10月20日	1 岡崎市教育委員会事務局組織規則の一部改正等について

I 総 説

第 2 教育委員会

開催日	議 案 等 件 名
令和 4 年 11 月 10 日	1 岡崎市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について 2 令和 5 年度キッズデイズの日程について 3 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和 4 年 12 月 22 日	1 令和 5 年度小中学校入学式等儀式の実施日について
令和 5 年 1 月 26 日	1 小規模特認校制度による転入学の決定について
令和 5 年 2 月 14 日	1 教育に関する事務の点検・評価について 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見について 3 校長等の定期人事異動の内申について
令和 5 年 3 月 23 日	1 愛知県条例による「あいち県民の日」にかかわる「県民の日学校ホリデー」（新設）の実施について 2 岡崎城跡整備委員会委員の委嘱について 3 議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について 4 岡崎市立図書館管理規則の一部改正について 5 岡崎市教育委員会会議規則の一部改正について 6 岡崎市教育委員会情報公開規則の全部改正について 7 岡崎市教育委員会個人情報保護法施行細則の制定について 8 岡崎市市費負担教員の給与等の特例に関する条例施行規則の一部改正について 9 岡崎市教育委員会職員の職名及び補職名規則の一部改正について 10 岡崎市立学校管理規則の一部改正について 11 教育委員会事務局及び教育機関職員の定期人事異動について 12 県費負担教職員の人事の内申について

〈教育委員会会議〉



第3 教育行財政

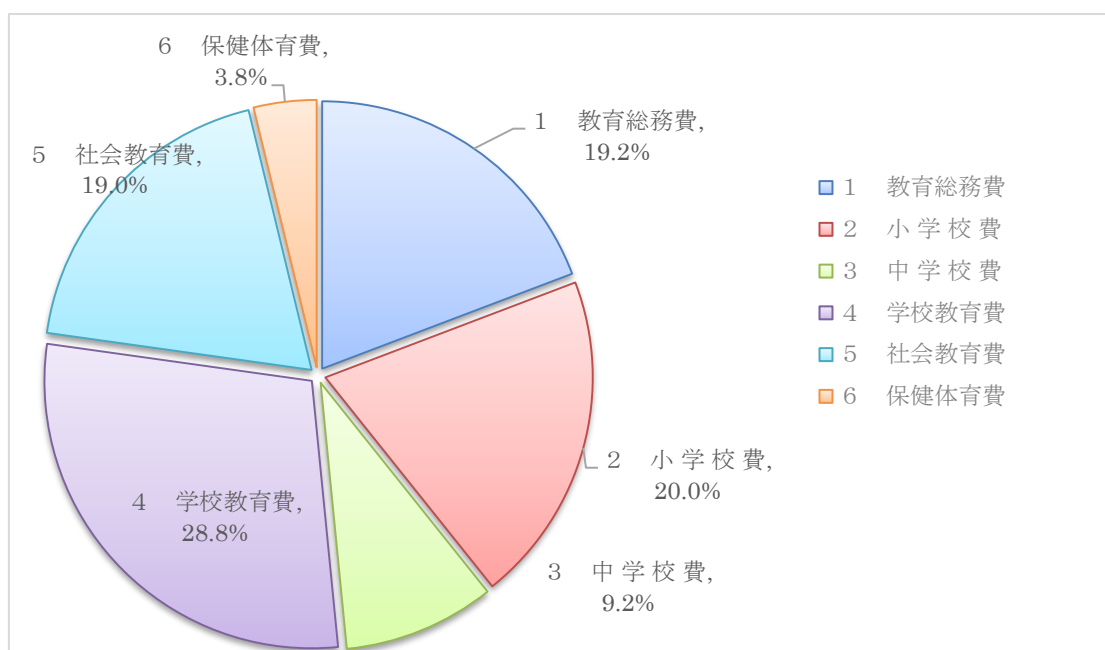
1 令和5年度教育費予算

(千円)

		5 年度	4 年度	増減	対前年比
1 教育総務費		2,538,529	2,805,850	△ 267,321	90.5%
	1 教育委員会費	3,635	3,670	△ 35	99.0%
	2 事務局費	1,021,976	1,013,661	8,315	100.8%
	3 私立学校振興費	1,512,918	1,788,519	△ 275,601	84.6%
2 小学校費		2,001,802	1,894,528	107,274	105.7%
	1 学校管理費	1,783,579	1,591,207	192,372	112.1%
	2 教育振興費	217,076	208,028	9,048	104.3%
	3 学校建設費	1,147	95,293	△94,146	1.2%
3 中学校費		1,284,561	1,063,541	221,020	120.8%
	1 学校管理費	1,040,148	831,206	208,942	125.1%
	2 教育振興費	174,384	166,526	7,858	104.7%
	3 寄宿舎管理費	70,029	65,809	4,220	106.4%
4 学校教育費		4,564,590	4,124,261	440,329	110.7%
	1 教育指導費	1,118,791	767,948	350,843	145.7%
	2 学校保健費	224,110	226,150	△ 2,040	99.1%
	3 学校体育費	59,315	44,683	14,632	132.7%
	4 学校給食センター費	3,064,935	2,987,198	77,737	102.6%
	5 教育研究費	97,439	98,282	△ 843	99.1%
5 社会教育費		2,422,787	2,990,956	△ 568,169	81.0%
	1 社会教育総務費	15,118	14,228	890	106.3%
	2 青少年費	51,264	36,771	14,493	139.4%
	3 文化振興費	32,924	30,137	2,787	109.2%
	4 文化財保護費	123,163	100,449	22,714	122.6%
	5 図書館費	546,318	509,027	37,291	107.3%
	6 美術館費	118,837	69,815	49,022	170.2%
	7 美術博物館費	452,437	1,217,316	△ 764,879	37.2%
	8 視聴覚ライブラリー費	40,912	41,265	△ 353	99.1%
	9 市民センター費	166,052	174,257	△ 8,205	95.3%
	10 少年自然の家費	49,479	51,224	△ 1,745	96.6%
	11 地域文化広場費	226,420	229,635	△ 3,215	98.6%
	12 図書館交流プラザ費	599,863	509,028	90,835	117.8%
	13 少年愛護センター費	0	7,804	△ 7,804	0.0%
6 保健体育費		831,504	603,055	228,449	137.9%
	1 社会体育費	723,422	521,058	202,364	138.8%
	2 体育館費	77,744	52,977	24,767	146.8%
	3 地区体育館費	30,338	29,020	1,318	104.5%
合 計		13,643,773	13,482,191	161,582	101.2%

2 令和3年度教育費歳出決算

項	決 算 額 (千円)	構 成 比
1 教育総務費	2,753,873	19.2%
2 小学校費	2,872,395	20.0%
3 中学校費	1,313,342	9.2%
4 学校教育費	4,123,387	28.8%
5 社会教育費	2,720,537	19.0%
6 保健体育費	543,794	3.8%
合 計	14,327,328	100.0%



3 岡崎市学校教育等推進計画

《計画の位置付け》

本計画は、第7次岡崎市総合計画の教育分野のうち学校教育、社会教育に関して、今後の方針とその実現のために必要な施策を明らかにするものとして位置づけている。また、教育基本法第17条第2項に基づき策定する本市の教育振興基本計画として位置付けられる5つの計画のうちの一つである。

《計画の期間》

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間

《基本理念》

「未来を拓き 豊かに生きる力をもった子どもの育成」
～自立・共生・創造を目指して～

《基本目標》

基本理念の実現に向け、学校教育分野で5つ、社会教育分野で1つの基本目標を定めている。

【学校教育分野】

- ◆未来を生きる素質・能力を育成する魅力ある教育を推進する。
- ◆子どもの多様性や特性を認め、可能性を伸ばす教育を推進する。
- ◆岡崎の人・もの・ことを生かした特色ある教育を推進する。
- ◆教職員が生き生きと働くことができる働き方改革を推進する。
- ◆持続発展可能な教育を実現する学校教育環境を整備する。

【社会教育分野】

- ◆家庭、地域、学校との連携・協議を推進する。

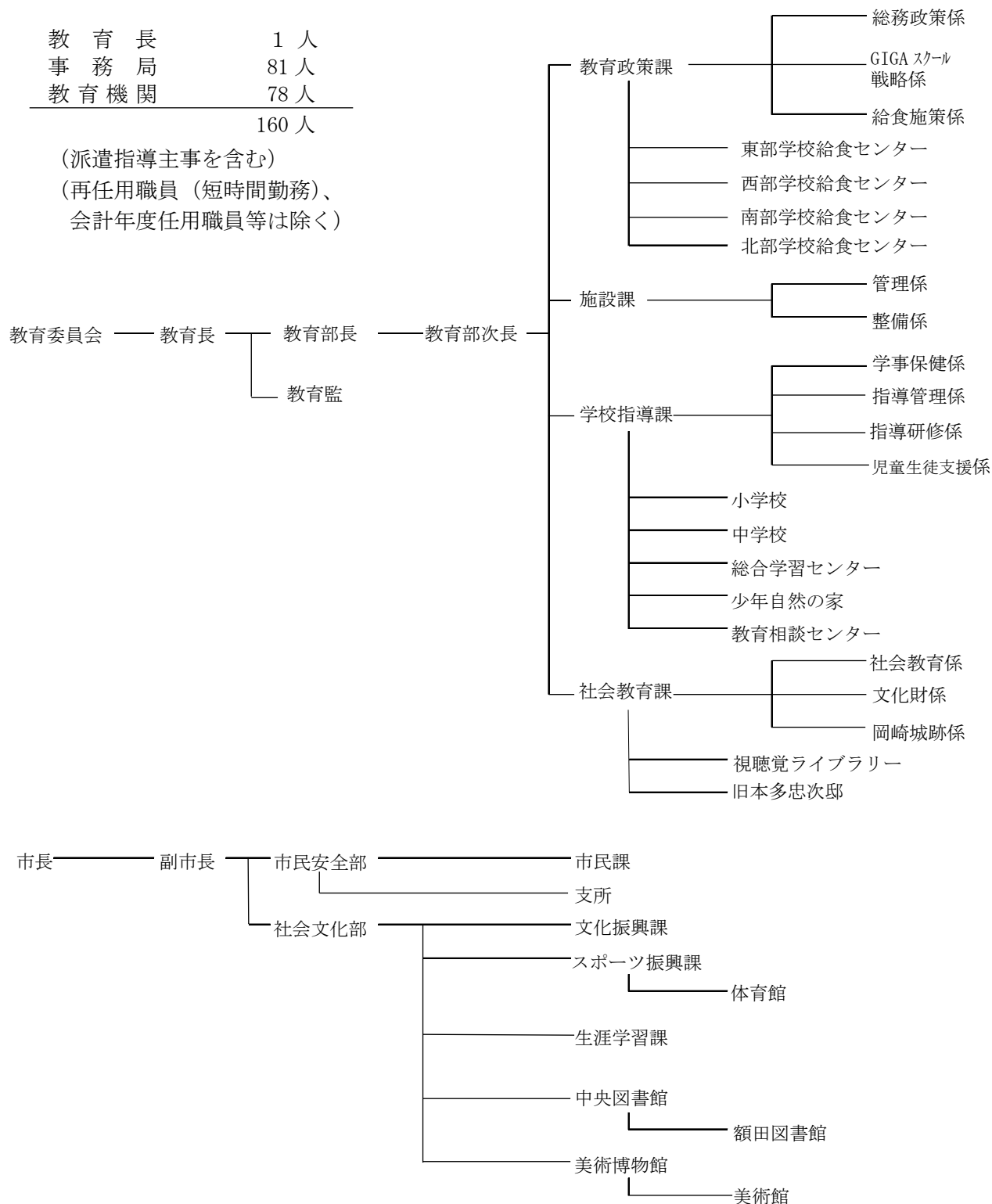
《重点的に取り組む事項》

基本目標の実現に向けて、様々な施策を展開する中で、次の6つの視点から特に今後5年間で重点的に取り組むべきことを重点事項として位置付けている。

- 1 学び方改革の推進
- 2 子どもの可能性を伸ばす教育の推進
- 3 教育の情報化の推進
- 4 教職員の働き方改革の推進と教職員の育成
- 5 学校施設等の効率的な整備と有効活用
- 6 学校と地域の連携・協働の推進

4 行政組織図

(職員の数) 令和 5 年 4 月 1 日現在



※市長部局については、補助執行に係る部分についてのみ記載

5 職員配置状況

(令和5年4月1日現在)

区 分	行 政 職 員				教育 職員	技能業務 職員	合 計
	部長等	課長等	事務職員 技術職員	専門主事			
事 務 局	2						2
教育政策課		1	14	2		1	18
施 設 課		1	11			10	22
学校指導課		1	7	18			26
社会教育課		1	12				13
小・中学校					10	54	64
学校給食センター		1	1				2
総合学習センター		1	1	1			3
教育相談センター		1		1			2
少年自然の家			1			2	3
視聴覚ライブラリー			1	1		1	3
旧本多忠次邸						1	1
合計	2	7	48	23	10	69	159

※ 教育長を除く

6 事務局・教育機関の事務分掌

■事務局

課 名 等	事 務 分 掌
教育政策課	(1) 統合計画、予算及び行政改革に係る事務局内の調整に関すること (2) 教育委員会の会議の庶務を処理すること。 (3) 教育委員会規則その他公表を要する規程を公布すること。 (4) 組織を計画すること。 (5) 文書を收受し、発送し、及び完結文書を整理保存すること。 (6) 公印を管守すること。 (7) 職員の任免、分限、懲戒及び表彰をすること。 (8) 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件を決定すること。 (9) 公務災害補償の事務を処理すること。 (10) 奨学資金に関する事務を処理すること。 (11) 教育行政に関する相談に関すること。 (12) 学校（市立の小学校及び中学校をいう。以下同じ。）の施設の設置、変更及び廃止の手続をすること。 (13) 学校災害に係る補償等の事務を処理すること。 (14) 西三河地方教育事務協議会と連絡すること。 (15) 岡崎市いじめ問題対策委員会の庶務を処理すること。 (16) 学校の情報システムに関する企画及び調達をすること。 (17) 教育ネットワークの管理及び運用をすること。 (18) 学校の情報セキュリティに関すること。 (19) 学校給食について指導し、及び助言を与えること。 (20) 学校給食センターの整備を計画すること。 (21) 岡崎市学校給食センター運営委員会の庶務を処理すること。 (22) 学校給食センターと連絡すること。 (23) 他の課の所管に属さない事務を処理すること。
施 設 課	(1) 学校その他教育機関の施設の用に供する土地の取得に関すること。 (2) 学校の施設の保守管理及び修繕に関すること。 (3) 学校の用に供する教育財産（運動場の夜間照明設備を除く。）の目的外使用を許可すること。 (4) 学校の施設及び設備の整備を計画し、及び工事を施行すること。 (5) 学校の施設及び設備に関する国庫補助金及び県費補助金に関する事務を処理すること。 (6) 教育機関の施設の整備等に関する技術的調整をすること。

課 名 等	事 務 分 掌
学校指導課	(1) 学校教育について指導し、及び助言を与えること。 (2) 学校事務及びその共同実施について指導し、及び助言を与えること。 (3) 県費負担教職員の人事及び給与について内申すること。 (4) 県費負担教職員の服務を監督し、及び勤務成績の評定に係る事務を処理すること。 (5) 教科書その他教材の取扱いに関する事務を処理すること。 (6) 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会の庶務を処理すること。 (7) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒及び児童の入学、転学及び退学の手続をすること。 (8) 通学区域を設定し、廃止し、及び変更すること。 (9) 就学援助に係る事務を処理すること。 (10) 学校保健について指導し、及び助言を与えること。 (11) 学校の環境衛生に関する事務を処理すること。 (12) 岡崎市立学校衛生委員会の庶務を処理すること。 (13) 就学児童の健康診断に係る事務を処理すること。 (14) 学校医等に関すること。 (15) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに係る事務を処理すること。 (16) 学校、岡崎市総合学習センター、岡崎市少年自然の家及び岡崎市教育相談センターと連絡すること。
社会教育課	(1) 社会教育に関する事業を計画し、及び実施すること。 (2) 社会教育に係る指導者を養成すること。 (3) 青少年に関する事務を処理すること。 (4) 文化財の保護及び活用に関すること。 (5) 文化財の調査及び研究に関すること。 (6) 文化財に関する講習会、講演会その他の催しを主催すること。 (7) 岡崎市視聴覚ライブラリー及び岡崎市旧本多忠次邸と連絡すること。 (8) 岡崎市社会教育審議会、岡崎市文化財保護審議会、岡崎市文化財保存活用地域計画協議会及び岡崎城跡整備委員会の庶務を処理すること。

■主な教育機関

課 名 等	事 務 分 掌
学校給食センター	小学校及び中学校の児童及び生徒に対し学校給食を実施する事業を行う。
総合学習センター	(1) 教育に関する専門的及び技術的な事項の調査研究を行うこと。 (2) 教育関係職員の研修を実施すること。 (3) 教育に関する情報及び資料の収集及び提供に関すること。 (4) 地域住民等の生涯学習活動のために施設を利用に供すること。
少年自然の家	(1) 少年の自然探究その他自然に親しむ諸活動の指導及び助言をすること。 (2) 少年の集団生活及び集団活動の訓練及び助言をすること。 (3) 少年団体の指導者の養成及びその資質の向上のため、講習会、研修会等を開催すること。 (4) 前各号に掲げるもののほか、少年自然の家の設置の目的を達成すること。
教育相談センター	(1) 教育相談を行うこと。 (2) 教育相談に関する調査及び研究並びに情報の収集及び提供を行うこと。 (3) 不登校の児童及び生徒に対する適応指導教室を実施すること。
視聴覚ライブラリー	(1) 視聴覚教育に関する器材及び資料を収集し、及び利用に供すること。 (2) 視聴覚教育に関する講習会、研究会等を開催すること。 (3) 視聴覚教育の向上及び普及に関し指導すること。 (4) 前3号に掲げるもののほか、視聴覚ライブラリーの設置の目的を達成すること。
旧本多忠次邸	(1) 旧本多忠次邸に関する資料を展示すること。 (2) 文化財を通じた歴史及び文化に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等を開催すること。 (3) 文化財を通じた歴史及び文化に関する資料の展示のために施設を利用に供すること。 (4) 前3号に掲げるもののほか、旧本多忠次邸の事業として教育委員会が適当と認める事業を実施すること。

7 事務の補助執行

■市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
教育委員会の事務を補助する職員及び教育委員会の管理に属する機関の職員	(1) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の見積りを行うこと。 (2) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の執行計画、流用、充用、繰越しその他予算の執行管理を行うこと。 (3) 教育委員会の所掌に係る事項に関する歳入の徴収、減免及び還付を行うこと。 (4) 教育委員会の所掌に係る事項に関する支出負担行為の手続を行うこと。 (5) 教育委員会の所掌に係る事項に関して岡崎市決裁規程(昭和 56 年岡崎市訓第 9 号)に定めるところにより調定並びに支出負担行為及びこれに伴う支出命令を行うこと。 (6) 岡崎市奨学資金条例(平成 13 年岡崎市条例第 43 号)を実施すること。 (7) 教育委員会の所掌に係る事項に関する教育財産の取得(移築、改築、移設、改設、修繕及び模様替えを含む。)の手続を行うこと。

■教育委員会が市長部局の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
市民安全部の市民課及び支所の職員	学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、就学すべき小学校又は中学校を指定すること。
社会文化部(スポーツ振興課及び多様性社会推進課を除く。)の職員	文化に関すること(文化財の保護に関するものを除く。)
社会文化部のスポーツ振興課の職員	(1) スポーツに関すること(学校における体育に関するものを除く。) (2) 学校体育施設のスポーツ開放事業に関すること。
体育館の職員	体育館の管理及び運営に関すること。

I 総 説

第 3 教育行財政

補助執行させる職員	補助執行させる事務
岡崎市立中央図書館及び岡崎市立額田図書館の職員	(1) 図書資料を収集し、保存し、閲覧させ、及び貸し出すこと。 (2) 資料展示等を企画し、及び運営すること。 (3) 地域図書室と連絡し、及び運営を支援すること。 (4) 図書館運営に関し必要な事項を処理すること。
岡崎市美術博物館及び岡崎市美術館の職員	(1) 施設を管理し、及び運営すること。 (2) 美術に関する作品その他の資料を収集し、保管し、及び利用に供すること。 (3) 美術に関する作品その他の資料の調査研究を行うこと。 (4) 美術に関する展示会、講演会、講習会、研究会等を企画すること。

Ⅱ 学校教育

1 学校教育の視点

学校教育に求められているものは、児童・生徒が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生きぬくための基盤となる能力を育成することと、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人間形成を図ることである。その原点には、教師の「子供の幸せを願う強い思い」と「人間形成への情熱」がなければならない。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視しつつ、個に応じた指導を充実するなかで、公共の精神を尊び、誰ひとり取り残すことなく、児童・生徒の個性を認め、伸ばす教育を展開することが大切である。そのために、学校や地域の実態に応じて、「自立」「共生」「創造」を核に、特色ある教育課程を編成し、子供が自他を敬愛し喜んで通える、誰ひとり取り残さない、安全で魅力ある学校づくりを目指す。

「教育は人なり」の至言のごとく、岡崎の教師は、教育者としての使命感に燃え、全校一致の指導体制のもと、敬愛の情で結ばれた師弟関係を築き、家庭と地域と学校とが協働し、信頼される教育の創造に努める。

指導の重点

- 学ぶ楽しさを実感し、深く考え、学び続けるための
「確かな学力」を育む教育の推進
- 命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための
「豊かな心」を育む教育の推進
- 体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための
「健やかな体」を育む教育の推進

2 令和5年度研究発表会・授業公開

月日	曜	学校名	領域等	研 究 主 題	委嘱等
9/13	水	新香山中	全教科・領域	ESD の 6 つの視点で働きかけ、 持続可能な社会を創ろうとする生徒の育成 ～総合的な学習の時間を中心にした 自分事としての学びを実現する ESD と GIGA スクール構想の GOODMIX～	自主
10/18	水	矢作北小	国語科	生きて働く言語能力を育む国語教育の創造 ～「創造・感受・交流」の力を高める 国語科授業を通して～	岡崎市
10/25	水	北中	全教科・領域	自立的に生きるための資質・能力を育む 教育の創造 ー学び方と学ぶ内容を充実させた チーム学習を通してー	岡崎市
11/1	水	六ツ美 北部小	全教科・領域	自立的に生きようとする六北っ子の育成 ～自ら学び、仲間と学び合う 「よつば学習」を通して～	岡崎市

3 時代の要請に応える教育

近年、グローバル化、人工知能（ＡＩ）の活用などによる技術革新等、10年前では考えられなかったような大きな変化が起きている。このように社会の変化が目まぐるしく、予測困難な時代の中で、子供たちには、自ら課題を解決しようとしたり、感性を働かせ、社会や人生をより豊かなものにしたりしていくことが期待される。

新しい学習指導要領では、学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱からなる資質・能力をバランスよく育んでいくことを目指している。

岡崎市教育委員会は、時代の要請を熟慮し、次代を生きる子供たちに必要な資質・能力として、自ら考え判断する力、仲間と協力し実行する力、多様性を理解し、互いを尊重し合って共に生きる力、新たな価値を創造する力が重要だと考え、これらの資質・能力を育成するキーワードとして「自立」「共生」「創造」を掲げた。

教育に真摯に向き合い、基礎的・基本的な内容を重視しつつ、教科・領域の本質に迫る学習活動の展開を通して、子供たちに学ぶことの意味を実感させるとともに、多様な特性をもつ子供たち一人ひとりに個別最適な学びを保障し、資質・能力をよりの確に育成できる教育を実現していく。さらに、地域社会・家庭と連携・協働しながら、ふるさとを愛する心を醸成することや、学校や地域の実態に応じて、創意工夫を凝らした特色ある教育課程を編成すること等を通して、子供たちに確かな知性と豊かな感性を育んでいく。

■重点努力事項■

今、私たちが取り組むべき事柄として、以下の四つを挙げる。

(1) 学び方改革の推進

子供の多様性に応じた、誰ひとり取り残さない、個別最適化された教育を研究、推進する。また、一斉授業から脱却し、チーム学習を中心とした、共生の心を育む教育活動を推進する。

(2) 子供支援改革の推進

多様性を認める校内フリースクールを充実させ、長期欠席者等、すべての子供の学校生活を保障する。いじめの未然防止や的確な対応の徹底、外国人児童生徒への支援の充実など、きめ細やかな教育を推進し、温かい学校づくりを実現する。

(3) 教育のDXの推進

教育のDXを推進し、「岡崎版 GIGA スクール構想」の運用支援を確実なものとする。プログラミング学習を継続実践し、さらなる充実を図る。

(4) 教職員の働き方改革の推進と教職員の育成

新しい学校デザインの研究を進め、日課や部活動の在り方について検証する。また、「Okazaki スマートワーク」を推進し、働きやすい職場環境の構築を実現する。教職員の研修を充実させ、「新たな教師の学び」の実現を目指す。

4 特色ある教育活動・取組

(1) 感性を育む心の教育

本事業は、芸術・文化活動の優れた作品などの鑑賞や体験活動を通して、資質と感性を育み、未来を担う子供たちの健やかな成長を図ることを目的としている。

毎年、中学生には地元プロオーケストラによるクラシックコンサートを、小学生には観劇会を実施している。

年度	演 目	公 演 団 体
27	むかしむかしゾウがきた	劇団四季
28	エルコスの祈り	劇団四季
29	ガンバの大冒険	劇団四季
30	魔法をすてたマジョリン	劇団四季
元	はだかの王様	劇団四季
2	ジョン万次郎の夢（中止）	劇団四季
3・4	新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止	
5	人間になりたがった猫	劇団四季

(2) 教員補助者活用事業

本事業は、社会全体で学校を支え学校教育の一層の活性化を図ることを目的に、性別や教員免許の有無を問わず、生活経験が豊かで学校教育に理解ある社会人を教員補助者又は養護教諭支援員として採用し活用するものである。学校の指導計画の下、学級担任の行う指導補助、学校図書館の運営補助、障がいのある児童・生徒への指導補助、養護教諭の執務補助などを行う。

また、令和2年度からは、中学校教務主任業務支援の一環として、「教員業務支援員（旧スクール・サポート・スタッフ）」制度を新たに導入し、活用している。

(3) タブレット端末活用推進事業

AI や IoT 技術等の急速な進展に伴い、Society5.0 を生きる子供たちにふさわしい新たな学びが求められている。文部科学省が「令和時代のスタンダードな学校像」として公表した「GIGA スクール構想」を受けて、本市では「岡崎版 GIGA スクール構想」を掲げ、令和2年度中に全児童生徒一人一台端末と高速校内ネットワーク整備を完了した。「My タブレット」の日常的な活用を軸とする学び方改革を推進し、多様性をもつ全ての子供たちが、自らの特性を生かし、個別最適化された学習に取り組めるようにし、予測困難な未来社会をたくましく生き抜く資質・能力を育成する。

(4) 未来型教育推進事業

令和3年度に学術情報ネットワーク「SINET」を活用し、自然科学研究機構との連携によりオンライン・サイエンスセミナーを実施した。この実績を踏まえ、新規に「未来型教育推進事業」を立ち上げた。SINET によるオンラインや ICT を活用して、SDGs や STEAM、プログラミング等の未来につながる教育活動を通じ、特色ある学校づくりを推進する事業である。令和4年度より OK シェアを活用し、各校の未来型教育の実践を集約・共有することで、新たな実践につながることを期待している。

5 ICT教育

本市では、変化の激しい情報社会で求められる情報活用能力を育成することを目的とし、高速インターネット網の整備と児童生徒用コンピュータの導入を早くから推進してきた。令和2年度には、「岡崎版 GIGA スクール構想」に基づき、1人1台のタブレット端末の整備を完了させた。さらに、教員のICT活用指導力の向上や校務のデジタル化を含めて教育DXに積極的に取り組んでいる。

(1) ICT環境整備

現行の学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力や問題発見・解決能力と並んで「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられている。小学校においては、プログラミングの体験的な学習機会を確保すること、中学校においては、計測・制御に加えて動的コンテンツなどに関するプログラムを学ぶことなど、積極的にICT教育が取り入れられている。こうしたICT教育の一層の充実により、これからの予測困難な未来社会を生きる子供たちに、情報を整理・分析し、他者との協働で思考を深めることにより、物事を多角的・多面的に捉え、主体的に新たな価値を生み出す力を育むとともに、情報モラルを身に付け、情報社会に参画し創造していこうとする態度を育んでいくことが期待されている。

さらに、文部科学省では、令和元年12月に大臣メッセージと共に「GIGA スクール構想」を公表した。そこでは、「Society 5.0時代を生きる子供たちにとって、誰一人取り残されることのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させること」と「令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備を行うこと」を標榜し、全国的な大規模整備が推進された。

この方針を受け、本市ではいち早く「岡崎版 GIGA スクール構想」を策定し、一人一人が日々の授業でどのように活用するかを具体的に想定し、そのためのあらゆる手立てをパッケージ化して整備を進めた。また、現在進めている「学び方改革」と「働き方改革」とを連携させ、それをさらに加速させる教育ツールとして位置付けている。この「岡崎版 GIGA スクール構想」を通じて、本市の多様な全ての子供たちが誰一人取り残されることなく個別最適化された学習に取り組めるようにし、Society5.0時代で自己実現できるための資質・能力を育むことを目指している。

【整備内容等】

- ① 「岡崎版 GIGA スクール構想」による「My タブレット」(iPad) の整備
- ② 「岡崎版 GIGA スクール構想」による校内高速ネットワークの整備
- ③ SINET (学術情報ネットワーク) への接続による基幹インフラの高速大容量化
- ④ 高速ネットワークを活用したオンライン授業の推進
- ⑤ 授業における学びのインターフェースとして、教室への電子黒板の導入
- ⑥ 「Okazaki スマートワーク」による「OKアクセス」や高速プリンタの導入
- ⑦ Microsoft アカウントの利用によるオンライン会議やeラーニングの実施
- ⑧ 実践共有サイト「OKシェア」の導入による、主体的な教員研修の支援

(2) 教育DXの推進

令和4年度、オンラインを活用した教育活動推進のため「未来型教育推進事業」を立ち上げ、各学校における一人一台端末やICT機器等の活用を支援した。それぞれの学校では、特色ある教育活動の一つとしてWebカメラや、Bluetoothスピーカー、プログラミング学習で活用できるミニドローンを購入するなど、教育DXに向けてICT環境を充実させた。

また、学術情報ネットワーク（SINET）への接続による利点を生かしたMIRAIオンラインセミナーも3回実施し、のべ1万人を超える市内小中学生が参加した。セミナーでは、国立天文台の所長によるブラックホールの講義や、大学教授によるピラミッドの講義など、一流の講師が市内小中学生に向けて授業を行った。子供たちは、自分のタブレットを使って講師が出題するクイズに答え、リアルタイムに感想を言い合えるなど、高速・大容量の通信環境を生かした学習を展開することができた。

このように、一人一台端末等、GIGAスクール構想で整備された機器を授業等で活用する姿が日常的なものとなっており、ICTを活用した新しい学びが各小中学校で展開されている。

(3) 教員のICT活用指導力、情報スキルの向上

児童生徒の情報活用能力を高めるために必要な教員のICT活用指導力及び教育DXに対応した情報スキルの向上を目指して、各種研修を行っている。大別すると、ICTの活用法や情報セキュリティ、情報モラル教育について学ぶ授業力アップセミナー、初任者研修、GIGAスクール環境の利用講習会、ネットワークやセンターサーバの更新に伴う操作講習会などがある。さらに、これらに加えて各学校における校内研修や教員グループによる自主研修も盛んに行われている。

特に令和4年度は、市内全中学校の通常教室に電子黒板が導入されたため、こうした新しい機器を授業で活用するための訪問研修も行った。また、GIGAスクールアドバイザーによる、GIGAスクール環境の利活用やオンライン授業の実施方法、情報モラル指導、岡崎市プログラミング学習等の校内研修、管理職への相談活動等も引き続き実施し、学校の支援にあたっている。

■令和4年度実施研修

- ・授業力・教師力アップセミナー＜基礎編＞（学習情報部と連携）

【期日】7月27日（水）

【内容】GIGAスクール環境を活用した授業づくり

【講師】学習情報指導員

【人数】約72名

【会場】羽根小学校

- ・授業力・教師力アップセミナー＜応用編＞

【期日】8月3日（水）

【内容】学習指導要領の趣旨に即した情報教育、学校教育と著作権

【講師】岡崎市教育委員会教育政策課指導主事 村田貴志

Ⅱ 学校教育

- 【人数】 約 15 名
- 【会場】 東海中学校
- ・ 初任者研修
 - 【期日】 8 月 2 日（火）
 - 【内容】 ICT を活用した授業改革、情報モラル教育、情報セキュリティ、デジタル教材づくり
 - 【人数】 約 100 名
 - 【会場】 上地小学校
- ・ 現職研修委員会学習情報部主任研修
 - 【期日】 4 月 22 日（金）、10 月 4 日（火）、2 月 14 日（火）
 - 【時間】 0.5 ～ 1 時間程度
 - 【内容】 タブレット端末・授業支援クラウドの活用、チーム学習の研究
 - 【人数】 のべ約 200 名
 - 【会場】 総合学習センター、各小中学校（Teams によるオンライン開催）
- ・ 組織マネジメント研修（新任教務研修）
 - 【研修時間】 1 時間程度
 - 【内容】 授業支援クラウド・学級集団適応心理検査の活用
 - 【人数】 約 15 名
- ・ 組織マネジメント研修（新任校長研修）
 - 【研修時間】 1 時間程度
 - 【内容】 情報セキュリティの考え方と具体的な対策
 - 【人数】 約 15 名

■ パソコン及び校内 LAN 整備の現状

年度	授業用パソコン整備		校内 LAN 整備・校務用パソコン整備	
	小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
9	PC 教室に 11 台 配備完了			
10		PC 教室に 42 台 配備完了		インターネット導入
11	井田小、藤川小の PC 教室に 22 台配備		インターネット導入	
13	PC 教室に 42 台 配備(10 校)		校内 LAN 整備工事 (10 校)	
14	PC 教室に 42 台 配備		校内 LAN 運用開始 (10 校)	
15		PC 教室の PC 更新 (18 校)		
16	PC 教室に 42 台 配備(2校)		校内 LAN 整備工事(3校) " 運用開始(3校)	

年度	授業用パソコン整備		校内 LAN 整備・校務用パソコン整備	
	小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
17			校内 LAN 整備工事(1校) 〃 運用開始(2校)	校内 LAN 整備工事(2校) 〃 運用開始(3校)
18	PC 教室の PC 更新 (10 校)			校内 LAN 整備工事(3校) 〃 運用開始(3校) 教職員用 PC 運用開始 (8校)
19	PC 教室の PC 更新		教職員の PC 配備	校内 LAN 整備工事(4校) 〃 運用開始(4校) 教職員用 PC 運用開始
20		PC 教室の PC 更新 (18 校)	校内 LAN 整備工事(2校) 〃 運用開始(2校) 教職員用 PC 運用開始 (13 校)	
21	PC 教室の PC 更新 (実施せず)	普通教室の PC 整備	校内 LAN 整備工事(8校) 〃 運用開始(8校) 教職員用 PC(20 校)	校内 LAN 整備工事(1校) 〃 運用開始(1校)
22	PC 教室の PC 更新 (8校)		校内 LAN 整備工事 (11 校) 地デジ対応工事(2校) 教職員用 PC 更新(2校)	校内 LAN 整備工事(4校) 改築による整備(1校) 教職員用 PC 更新(3校)
23			地デジ対応工事(1 校)	教職員用 PC 更新(11 校)
24	PC 教室の PC 更新 (20 校)		地デジ対応工事(1校) 教職員用 PC 更新(10 校)	地デジ対応工事(6校) 教職員用 PC 更新(6校)
25	PC 教室の PC 更新 (20 校)	翔南中 PC 教室設置 タブレット PC 導入 (3 校)	教職員用 PC 更新(15 校)	
26		PC 教室の PC 更新 (18 校) タブレット PC 導入 (20 校)	教職員用 PC 更新(20 校)	
27	普通教室の PC 整備 (47 校)	普通教室の PC 整備 (20 校)	教職員用 PC 更新(2 校) センターサーバ更新 新教育ネットワーク稼働	教職員用 PC 更新(3 校) センターサーバ更新 新教育ネットワーク稼働
28	PC 教室の PC 更新 (7校)	PC 教室の PC 更新 (1校)	校務支援システム導入	教職員用 PC 更新(11 校) 校務支援システム導入
29		タブレット PC 補充 (3 校)	校内 LAN 整備(5 校) 教職員用 PC 更新(10 校)	校内 LAN 整備(9 校) 教職員用 PC 更新(6 校)
30	タブレット端末(iPad) 整備(47 校) PC 教室の PC 更新 (40 校)	タブレット端末追加 整備(3 校)	校内 LAN 整備(14 校) 教職員用 PC 更新(15 校)	

Ⅱ 学校教育

年度	授業用パソコン整備		校内 LAN 整備・校務用パソコン整備	
	小学校	中学校	小学校	中学校
R1		タブレット端末(iPad)整備(20校) 普通教室無線 LAN 環境の常設化(20校)	校内 LAN 整備(7校) 教職員用 PC 更新(20校) 校長用タブレット端末(iPad)配備	校長用タブレット端末(iPad)配備
R2	GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末(iPad)整備 (47校) Microsoft アカウント配付	GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末(iPad)整備 (20校) Microsoft アカウント配付	教職員用タブレット端末(iPad)整備(47校) 校内 LAN 整備(21校) Wi-Fi 常設化(47校) 教職員用 PC 更新(2校) センターサーバ更新・ネットワーク分離 Microsoft アカウント配付	教職員用タブレット端末(iPad)整備(20校) 校内 LAN 整備(11校) Wi-Fi 常設化(20校) 教職員用 PC 更新(3校) センターサーバ更新・ネットワーク分離 Microsoft アカウント配付
R3	オンライン配信用タブレット端末配備(再利用)	オンライン配信用タブレット端末配備(再利用)	SINET 接続(国実証事業)	SINET 接続(国実証事業) 教職員用 PC 更新(11校)
R4		電子黒板整備(20校)	教職員用 PC 更新(9校)	教職員用 PC 更新(6校) 地域 BWA ルータ整備(20校)

6 国際理解教育

(1) 中学生三大陸国際理解教育推進事業

未来を担う児童生徒に夢と希望をもたせ、広い視野にたって郷土の発展を考え、国際親善・交流を深めている。昭和 55 年から、姉妹都市（アメリカ・ニューポートビーチ市、中学生 6 名派遣）と友好都市（中国・呼和浩特市、中学生 7 名派遣）との間で学校訪問、ホームステイ等を入れながら、相互訪問の形式をとり、実施してきた。

さらに、平成 16 年度から、この 2 つの事業に加えて、もう一つの姉妹都市であるスウェーデンのウッデバラ市への訪問（中学生 6 名派遣）を始めた。

また、平成 18 年度から 3 年間に限って、旧額田町の交流事業として行ってきたマレーシア・クアラルンプール市への訪問（額田中学生 10 名派遣）を継続した。

平成 28 年度から、英語圏を中心とした「中学生三大陸国際理解教育推進業務」に発展させ、英語によるコミュニケーション能力の向上と異文化理解を図ることにした。ニューポートビーチ市とウッデバラ市に加え、平成 29 年度からオーストラリアのウィトルシー市への訪問を始め、平成 30 年度は、ウィトルシー市からの派遣団を受け入れた。令和元年度は、オーストラリアのウィトルシー市をメルボルン市に変更して、派遣団を送った。令和 2 年度以降は、新型コロナウイルスの影響により中止とした。

(2) 外国語指導助手派遣事業

外国語指導助手（A L T）を市内の小中学校へ派遣し、英語教育、国際理解教育の推進に役立てている。平成 2 年夏から市独自で A L T を採用した。平成 25 年度から 20 名に、平成 30 年度から 23 名に、令和元年度から 32 名に増員し、英語教育の一層の充実を図る。

(3) 小学校英語支援員派遣事業

小学校において効果的な英語活動の授業が実施できるように、英語が堪能で小学校英語に理解のある地域の人材を小学校英語支援員として派遣している。平成 22 年度から 18 名に、平成 30 年度には 25 名に増員し、英語活動の授業で A L T や学級担任と協同授業をしたり、教材作りの補助をしたりする。

Ⅱ 学校教育

(4) 帰国・外国人児童生徒教育支援業務

ア 日本語初期指導教室（プレクラス）「希望」

令和元年度より、帰国・来日して間もなく、日本語をほとんど話せない中学生に対して、学校生活を送る上で最低限必要となる日本語と学校生活等のルールを教える日本語初期指導教室（プレクラス）「希望」を、南中学校内に開設した。令和２年度より、入級対象を小学４年生以上とし、室長１名、日本語教育講師２名（ポルトガル語、フィリピン語、各１名）に加え、副室長１名、指導員２名、日本語教育講師２名（ポルトガル語、中国語各１名）を増員した。

イ 日本語教育講師巡回訪問

市内小中学校に在籍する日本語教育が必要な外国籍の児童生徒を中心に、日本語教育講師を派遣し、担当教員と共に、日本語教育及び生活適応相談を行っている。現在、日本語教育講師７名（ポルトガル語４名、中国語１名、フィリピン語２名）が、市内拠点校を巡回訪問している。その他、保護者との個人懇談会などに通訳が必要な場合にも随時対応している。

■ 国籍別児童生徒数

（令和５年５月１日現在）

国 籍	児 童 生 徒 数 (人)	
	小 学 校	中 学 校
ブ ラ ジ ル	275	157
フ ィ リ ピ ン	102	42
中 国	91	29
そ の 他	112	39

7 特別支援教育

特別支援教育は、通常の学級に在籍する発達障がいのある子供への支援部会と特別支援学級に在籍する子供への支援部会がある。そして、それらを統合し、外部機関との連携を図る特別支援教育連携協議会を平成 17 年 8 月に設置した。

その連携協議会は、就学前から、卒業後まで、何らかの支援を必要とする子供たちへの具体的な支援を検討し、福祉、労働、教育、行政の関係機関から代表者を募り、横の連携を図っている。また、校内教育支援委員会を立ち上げ、その運営の責任者として特別支援教育コーディネーターを全小中学校に配置している。関係機関との連携を図るとともに、発達障がい等のある子供への具体的な支援策を検討、実践し、評価している。

特別支援学級の教育を担当する部会は、日常の教育内容を研究する部門と交流及び共同学習を推進する部門と就学、進路指導に関わる部門などを内容としている。

(1) 教育支援

ア 教育支援委員会・教育相談会

教育支援委員会は、医師、教師、発達障がいの専門家などで構成されている。障がいのある児童・生徒や就学対象児の行動観察や面接、医師の診断、教育相談会などを通して、様々な角度から子供にとって必要な教育的支援の内容及び適切な就学先について、総合的に調査・審議を行っている。

イ 「そよかぜ相談室」

新入学児童の就学及び、通常の学級に在籍している子供に関して、不安や悩みを抱えている保護者を対象に、気軽に相談できる窓口「そよかぜ相談室」を開設している。悩みや不安の解消に効果を上げている。

(2) 中学校特別支援学級進路指導

ア 中学校特別支援学級進路指導部会

進路希望状況や進路希望先など様々な情報交換を行い、生徒の適切な進路先を決定する。

イ 施設見学会

生徒・保護者・担当教師が社会就労センター等への見学会に参加し、就労の状況を直接見るにより進路選択の正しい情報を得る。

(3) 子どもと親の集いブロック交流会

昭和 58 年度から開催されてきた「子どもと親の集い運動会」に代わり、平成 15 年度から市内小中学校を 10 数ブロックに分け、ブロック単位の「子どもと親の集いブロック交流会」を実施している。

令和 4 年度は 13 ブロックで、ゲーム大会、レクリエーション、運動会等、様々な内容の交流を行った。

■特別支援学級児童・生徒数

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

	知的障がい	自閉症・情緒障がい	病弱・身体虚弱 (含院内)	弱視	難聴	言語障がい	肢体不自由	計
小学校	306	445	13	2	3	14	17	800
中学校	128	139	6	2	2	1	9	287

8 教職員の研修

(1) 令和5年度初任者研修（校外研修）年間計画

※ 第1回、第17回（開・閉講式）は新規採用事務職員も参加

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
1	4月12日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用事務職員	総合学習センター 多目的ホール	基礎的素養	〔開講式〕 ・講話 ・教育公務員の服務について （不祥事防止） ・危機管理 （熱中症、感染症、アレルギー対策） ・接遇演習（教職員としての1日）
2	5月10日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 多目的ホール 教育図書室（見学） ハートピア上地 （見学）	生徒指導 基礎的素養 学級経営 教科指導	・生徒指導の実践Ⅰ（いじめ対応・防止） ・子供理解の基本Ⅰ（WEBQUの活用） ・学級づくりの基本（保護者対応含） ・授業づくりの基本
3	5月31日	水	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 多目的ホール	基礎的素養 道徳 教科指導 基礎的素養	・子供理解の基本Ⅱ （子供の発達における支援） ・道徳の授業の進め方 ・チーム学習の進め方 ・保健教育の実践、教員のメンタルヘルス等
4	6月14日 6月21日	水 水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	愛知教育大学 附属特別支援学校	基礎的素養	・特別支援教育の実践
5	7月21日 7月27日	木 木	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 小ホール他 ハートピア上地	生徒指導	・生徒指導の実践Ⅱ（長期欠席等） 岡崎の教育支援に関わる組織的な取組 について 支援を要する子供への対応策について
6	7月21日 7月26日 8月4日	金 水 金	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 市内小中学校 他	教科指導	・授業力アップセミナー【基礎編】 ・授業の進め方、教材研究等
7	8月1日	火	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	市内小中学校	基礎的素養 教科指導	・教育研究の方法（論文執筆） ・ICTを活用した授業改善、情報モラル 教育、情報セキュリティ、デジタル教材 づくり
8 9	8月2日 8月3日	水 木	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	岡崎市 少年自然の家	特別活動	【野外活動】 テント設営、トワリング練習、ファイ ヤー実習、クラフト、カヌー指導法、 落ち葉スキー、フィールドアスレチック 等

Ⅱ 学校教育

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
10	8 月 30 日	木	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	市内小中学校 市内各教育施設 他	教科指導	・実践研究発表と研究協議
11	9 月 27 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 多目的ホール	キャリア教育 教科指導	・言語能力の育成（国語を要として） ・授業分析の方法
12	10 月 18 日	水	小学校初任者 中学校初任者	矢北小学校 （研究発表会）	教科指導	・教科学習の進め方（模範授業参観）
13	10 月 25 日	水	小学校初任者 中学校初任者	北中学校 （研究発表会）	教科指導	・教科学習の進め方（模範授業参観）
14	11 月 1 日	水	小学校初任者 中学校初任者	六ツ美北部小学校 （研究発表会）	教科指導	・教科学習の進め方（模範授業参観）
15	1 月 10 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 多目的ホール	教科指導 生徒指導	・STERM 教育の進め方 ・キャリア教育の進め方
16	1 月 17 日	水	小学校初任者 新規採用養護教諭（小）	市内小学校 2 校	教科指導 （代表授業参観）	・小学校 初任者研究授業，授業分析
			中学校初任者 新規採用養護教諭（中）	市内中学校 1 校		・中学校 初任者研修授業，授業分析
17	2 月 14 日	火	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用事務職員	総合学習センター 多目的ホール 研修 1～4	基礎的素養	・1 年間を振り返って（グループ協議） 〔閉講式〕 ・挨拶 ・初任者代表挨拶

Ⅱ 学校教育

(2) 令和5年度中堅教諭等資質向上研修【Ⅰ】(校外研修) 年間計画

月日	曜	対象	時間	会場	領域	内容
5月17日	水	小中学校教諭 養護教諭① 5・10年経験者	15:00	総合学習 センター	共通研修	・開講式 ・講義「中堅教員の役割」 教育の今日的課題 マネジメント 危機管理等
6月から1月 (1日間)		小中学校教諭 養護教諭② 5・10年経験者	終日	異校種 各学校	異校種 体験研修	・異校種の授業に参加 ・研究協議会等に参加 ・生徒指導や教科指導に関する 研修
7月21日 7月26日 7月28日 8月1日 8月2日 8月4日 (いずれか1日)	金 水 金 火 水 金	小中学校教諭 養護教諭③ 5・10年経験者	9:00 13:30	各会場	選択研修	・授業力・教師力アップセミナー での受講(1講座) ※ 5年経験者は【基礎編】 10年経験者は【専門編】
8月30日	水	小中学校教諭 養護教諭④ 5・10年経験者	13:45	教育研究 大会会場	教科指導 研修	・実践研究発表と協議
1月31日	水	小中学校教諭 養護教諭⑤ 5・10年経験者	15:00	総合学習 センター	生徒指導 研修	・生徒指導総括講話 ・閉講式

(3) 授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】

及びブラッシュアップ研修

7月下旬から8月上旬に実施する。令和5年度から、【基礎編】、【専門編】、【推進編】を階層的に位置付け、段階的に授業力・教師力を高められるようにしている。また、ブラッシュアップ研修は、21年目から教員経験年数により決められた研修を受講するようにし、教員の力量向上を図る。なお、対象者を以下の通りとする。

- 【基礎編】 1～10年目、(必修) 初任者研修対象者
(必修) 教員3年目研修対象者、
(必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者(5年経験者)
- 【専門編】 7～20年目
(必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者(10年経験者)
- 【推進編】 12年目～
ブラッシュアップ研修 21年目～
- 研修A 20年経験者、30年経験者、40年経験者
研修B 22年経験者、32年経験者、42年経験者
研修C 24年経験者、34年経験者
研修D 26年経験者、36年経験者
研修E 28年経験者、38年経験者

■基礎編

(令和5年実施内容)

番	研修名	会 場	内 容
1	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール ・研修室1	【国語】＜小中学校＞ ○もう困らない！説明文指導の基礎・基本【小・中選択制】 【書写】 ○あなたもできる！子供が変わる書写指導の基礎・基本 【図書館】 ○ブックトーク、パネルシアターなどの読書指導のアイデア紹介と実習
2	社会	石工団地組合 会議室	○これでバッチリ！見学活動 ◇講義：見学のねらいを見据えた事前指導のポイント ○石工団地へ行こう！ ◇フィールドワーク：石工団地で本物の「人・もの・こと」との出会い ○あなたもできる！～子供が自らねらいに迫る授業～ ◇講義：見学の事後指導のポイントと子供が自ら授業のねらいに迫る指導のコツ ◇グループワーク：参加者が「チーム学習」を体験して学びの深まりを実感
3	音楽	総合学習センター 研修室2	○授業で使う楽器の基本、これでばっちり！演奏法と指導法 ◇講義と実技演習
4	学習情報	羽根小学校 理科室	○もっと使えるGIGA環境 ◇ICT・アプリ活用実習（プログラミングロボット、スクールタクト、デジタル教科書、Myタブレットなど）
5	生徒指導	総合学習センター 小ホール	○専門家が教えます！「発達の特徴が強い子供への支援方法」 ○「新たな一人をつくらない」私にもできる長期欠席未然防止策！
6	理科	総合学習センター 研修室1・2	＜小中学校＞ ○理科授業の流れが完璧に身に付く！ ◇理科授業を進める上での基礎・基本の講義と実習 ○これでバッチリ！！2学期以降の観察・実験ポイント ◇教科書に紹介されている観察や実験の進め方に関する実習 ＜小学校＞ ○理科室、理科準備室で発見！子供の目が輝く実験観察器具 ＜中学校＞ ○子供の関心を高める、子供が問題意識をもつ導入実験と教材
7	図画工作・美術	少年自然の家	○ネイチャークラフト体験！自然素材を生かした題材づくり ◇講義と制作
8	体育・保健体育	岡崎中央総合公園 武道館 ・第1・2会議室	○運動が苦手な子も一気に動き出す！導入の準備運動&補助運動 ◇実践例紹介と実技演習 ○授業で使える！困り感を解消！「器械運動」「ゲーム・ボール運動、球技」「表現運動・ダンス」などの領域別授業テク！ ◇実践例紹介と実技演習
9	家庭	竜美丘会館 4F末広の間	○身に付けた力を生活に生かしたくなる！家庭科の単元の作り方 ○もう困らない！「日本の伝統的な文化の継承」の指導法 ◇ポイントをおさえた専門家による浴衣の着付け～手入まで
10	外国語＜小学校＞	六名小学校 音楽室他	○子供いきいき！ティームティーチングを生かした1時間の授業 ◇1時間の授業の流れが分かる

Ⅱ 学校教育

1 1	技術（【専門編】含む）	常磐中学校 パソコン室	○技術科の単元計画の基本的な作り方 ○授業で使える I C T 機器の活用法 ○実践例紹介「双方向性のあるコンテンツのプログラミング」
1 2	特別支援	総合学習センター 小ホール	○これだけは知っておきたい！発達特性をもつ子供とののかかわり方 ○感覚統合から考える事例対応（生活編） ○明日から子供の見方が変わる！子供の行動の背景に迫るアセスメント（実態把握） ○発達検査などを基にした子供の捉え方と支援・指導への活用
1 3	保健	総合学習センター 小ホール	○相談してみよう！学校保健活動の計画から評価まで ○なにから始める？月経指導・思春期教育 実践校の事例に学ぶ
1 4	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール	○これですっきり!!算数・数学科の授業の疑問を解決 ○教科書指導書朱註編、板書ブックのここに注目 ○子供が主体的に動き出す授業づくり、基礎・基本に関する講義 ○授業をつくってみよう!! ○共通の題材をもとに、参加者が実際に授業づくりを体感 ○ちょっとした工夫で授業が変わる!! ○『アイデア集』『基礎学力調査』を利用した授業実践の紹介
1 5	英語 ＜中学校＞	六名小学校 音楽室他	○子供の活動量を確保した授業展開—教科書を用いて— ○音読や対話の確保の仕方が分かる
1 6	生活	根石小学校 理科室他	○子供の「やりたい」「調べたい」が溢れ出す生活科の授業づくり【基礎編】 ○思いや願いを高める授業のポイント ○2学期以降の授業で活用できる教材・教具の紹介と制作
1 7	特別活動	総合学習センター 研修室 1	○やってみよう！学級会 役割分担など進め方について ○キャリア教育って？こんな風に進めてみよう
1 8	総合	総合学習センター 研修室 1・2	○子供に学びを委ねる総合的な学習の時間！人と関わる中で切実感を高める授業の実践 ○実践発表者の論文をお見せします！論文の基本的な書き方の紹介 ○単元計画を見直そう！他校の1学期実践・単元計画を参考に
1 9	道徳	総合学習センター 小ホール	○道徳の授業が好きになる！～道徳科授業の基礎・基本～ ○模擬授業を体験！課題を自分事として捉える授業展開を考えよう ○模擬授業とグループワーク

■【専門編】

（令和5年度実施内容）

番	研修名	会 場	内 容
1	保健	総合学習センター 多目的ホール	○一緒に考えよう！学校での月経指導と思春期教育 ○産婦人科医と考える子供たちの体の現状とその対応
2	総合	総合学習センター 小ホール	○大学教授による総合学習の今後の展望についての講話 ○自分が授業者ならどうする？ ○授業記録を取りながら、授業の映像を視聴しよう！ ○「授業のポイントはココ！私ならどうする」についてチームごとに考えを伝え合おう！
3	道徳	総合学習センター 研修室 2	○子供が本気で話し合う！考え、議論する「問い」づくり ○思考ツールで、子供の考えを見える化 ○道徳科における思考ツールの活用事例紹介と実習 ○こんな授業もあります！道徳科授業の実践紹介
4	学習情報	福岡中学校 理科室・普通教室	○I C T の活用で実現する一斉授業からの脱却 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の授業づくり ○模擬授業を通じた授業検討
5	特別活動	総合学習センター 研修室 1	○よりよい学級経営ってどんなもの？ケーススタディをもとに ○学級会でもチーム学習やってみよう ○みんなでチャレンジ！学級会 ○こんなことも実践してます～特別活動～
6	国語・書写 ・図書館	総合学習センター 多目的ホール 1・2	【国語】＜小学校＞ ○子供が変わる！説明文教材による授業づくり ○要点？要約？要旨？段階別「言いたいこと」見つけ 【国語】＜中学校＞ ○子供が変わる！説明文教材による授業づくり ○クリティカルリーディングにチャレンジ 【図書館】 ○教科学習に役立つ！資料作成と図書資料活用の実習
7	算数・数学	総合学習センター 小ホール	○知らなきゃ損!!知って得する算数・数学の授業における I C T 活用!! ○算数・数学の授業における I C T ・アプリ等の効果的な使い方の講義と実習
8	理科	自然科学研究機構 基礎生物学研究所	○生物単元で使える！「切っても切ってもプラナリア」実験実習 ○日本の最先端科学を支える施設の見学 ○子供の意欲を引き出す理科の授業づくり（グループワーク）
9	図画工作 ・美術	総合学習センター 研修室 1・2	○やってみたくなる！ワンランクアップ実技指導&題材アイデア ○水彩画の指導方法 ○子供が夢中になる題材づくりのアイデア
1 0	家庭	常磐中学校 被服室	○子供の言葉を引き出す！日本の伝統的な生活の大切さに気づく単元構想 ○自分らしい布選びで達成感！手ぬぐい1枚でできる、教材開発と実習
1 1	英語 ＜中学校＞	総合学習センター 多目的ホール 3	○英語で進める授業の実演 子供を取り残さないひと工夫
1 2	生徒指導	総合学習センター I C T 室	○チーム学校としての生徒指導の在り方についての講義 ○いじめやSNSトラブルにおける生徒指導についての講義と事案検討 ○長期欠席傾向児童生徒への支援の在り方についての講義と事案検討

13	社会	総合学習センター 多目的ホール1・2	○子供の目が輝く授業を一緒に作りませんか？ ◇講義：「社会的な見方・考え方」を働かせるとは？ ◇実習：「チーム」で一つの単元を魅力的にデザイン ○この授業は目からウロコ！ ◇先行実践の視聴：実際の授業映像や授業記録、板書から優れた授業のノウハウを習得 ◇グループワーク：「授業のポイントはここ！私ならこうする」をテーマに討論
14	音楽	総合学習センター 小ホール	○授業や行事で使える！ワンランク上の合唱指導法 ◇光ヶ丘女子高等学校合唱部顧問による、合唱指導の講義と実技講習
15	体育 ・保健体育	岡崎中央総合公園 武道館 ・第1・2会議室	○全員が活躍できる！子供の技能・実態に合わせた教材・教具の工夫 ◇器械運動、ゲーム、球技
16	外国語 ＜小学校＞	総合学習センター 研修室3	○子供わくわく！英語を使う目的・場面・状況設定のひと工夫
17	生活	総合学習センター 研修室1	○子供の「やりたい」「調べたい」が溢れ出す生活科の授業づくり【専門編】 ○愛知教育大学 加納 誠司先生に学ぶ生活科の本質に迫る単元づくり ○こんな授業をやってみよう！実践発表を基にした授業改善に関するグループワーク
18	特別支援	総合学習センター 多目的ホール3	○専門家による発達特性をかかえる子供の理解と個に応じた支援の在り方 ○これでバッチリ！成人以降の子供の将来を見通した進路指導 ◇発達特性をかかえる子供って将来どう生活していくの？

■【推進編】

(令和5年度実施内容)

番	研修名	会 場	内 容
1	保健・衛生 ・食育推進研修	総合学習センター 研修室2	○アレルギー対応に関する実技 ○アレルギー対応などの校内研修についての講義と実習 ○食育への取り組み方・進め方に関する意見交換
2	研究推進研修	総合学習センター 多目的ホール	○研究推進の意義、研究主任の役割・心構えの講話 ○研究理論（目指す子ども像、研究主題、研究仮説、研究の手立て等）の作り方の講話と実習 ○研究組織、研究推進体制の作り方の講話と実習 ○研究推進における不安や悩み、課題等に関する意見交換 ○研究実践事例の紹介
3	生徒指導推進 研修	総合学習センター 小ホール	○生徒指導提要の理解や生徒指導提要を踏まえたシニアリーダーとしての役割の講義 ○いじめ・長期欠席等の未然防止に関する意見交換 ○いじめ・長期欠席等の未然防止策の作成
4	道徳教育推進 研修	総合学習センター 研修室1	○道徳科の授業を指導する際の留意点についての講義と実習 ○新しい授業展開の紹介と実習 ○道徳教育推進についての不安や悩み、課題等に関する意見交換
5	ICT ・プログラミング教育推進研修	総合学習センター 研修室2	○学習指導要領から読み解く、学校に求められる情報教育についての講義 ○教師として知っておきたい著作権についての講義 ○情報活用能力の育成を目指したカリキュラム・マネジメントの実習
6	学年経営推進 研修	総合学習センター 多目的ホール1	○学年主任としての心構え（学校教育目標・学校経営案との関連）の講義 ○学年主任としての実践紹介の講義とチームによる紹介 ○どんな学年経営をしたいか、また、学年経営における不安や悩み、課題等の意見交換 ○2学期からの学年経営計画書の作成 ○学年経営から学校全体の活動への広げるための方策の意見交換
7	日本語教育推進 研修	総合学習センター 小ホール	○日本語教育を必要とする子供たちの現状と課題の講話 ○データバンクとしてのプレクラス「希望」の活用方法の紹介 ○外国籍の保護者にも分かるやさしい文章の作成と各言語への翻訳の方法の実習
8	授業指導研修	総合学習センター 小ホール	○授業改善のリーダーとしての心構えの講話 ○授業づくり指導の視点（実践例より）の講義と実習 ○学習指導上の課題把握と授業改善（具体例より） ○教員チームでの授業改善に関しての講義と計画づくり
9	特別支援教育 推進研修	総合学習センター 多目的ホール1・2	○学校における特別支援教育の推進についての講義と実習 ○校内特別支援教育委員会・校内特別支援委員会の運営についての講義と実習 ○特別支援教育コーディネーターの役割についての講義と実習

■ブラッシュアップ研修

(令和5年度実施内容)

番	研修名	会 場	内 容
A	子どもの発達 や生活の変化を 踏まえた課題	総合学習センター 多目的ホール3	○子どもの発達に関する脳科学と心理学についての講話 ○子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題に関する講義と、それぞれの学校における課題についての意見交換 ○諸課題を予防する生徒指導についての講義と学校現場の生徒指導における課題についての意見交換
B	国の教育政策 や世界の教育 の動向	総合学習センター 多目的ホール3	○中教審答申「『令和の日本型学校』教育の構築を目指して」に関する講義と、自分はどうの方向に特に注力していくべきかについて検討 ○第5期教育振興基本計画に関する講義と、2040年以降を見据えた長いスパンで岡崎の教育はどうあるべきかの意見交換 ○海外のICT事情に関する講義と、岡崎のGIGAスクール構想は今後どういう方向に進むべきかについての協議

Ⅱ 学校教育

C	学習指導要領の改訂の動向等	総合学習センター 多目的ホール2	○学習指導要領の改訂の動向に関する講義 ○持参した学習指導案の見直しと、それを基にした意見交換 ○今後、どのような授業をつくっていききたいかのレポート作成と発表
D	学校における危機管理上の課題	総合学習センター 研修室1	○学校における危機管理上の課題や危機管理のあり方に関する講義 ○どの学校でも起こり得る危機の事例や場面をもとに、危機管理のポイントや対応の仕方についての意見交換
E	I C T 研修	総合学習センター 研修室2	○岡崎市が進める GIGA スクール戦略についての講義 ○GIGA スクール環境を生かした授業のアイデアの紹介、グループ討議 ○電子黒板で「協働的な学び」を支援する授業づくりの実習

(4) 小学校教諭免許状取得研修

小学校教諭免許状取得研修は令和5年度より廃止となった。

なお、学校の管理職においては、中学校教員の資質の向上及び円滑な小中学校の人事交流に資するため、大学の通信課程を活用するなどにより小学校教諭2種免許状を取得できるよう各教員に呼びかけ等を行う。

(5) 現職研修事業

現職研修を推進し教職員の資質の向上に努めることを目的として、各小中学校でさまざまな取組が学校独自の年間計画のもとに行われる。計画とその結果は年度の初めと終わりにそれぞれ市教育委員会に報告される。事業内容には教職員に対する研修や研究発表に係わる活動及び研究成果のまとめ等がある。

(6) 新任教師の集い

次年度の新任教師が集い、1年目の教師が企画・運営する諸活動を通じて4月からの教育活動に生かす。研修内容は教師としての基礎・基本を学ぶための、ひらがな・数字の書き方、板書、集団行動の他、先輩の体験談やフリートークなどがある。

令和3年度に続き、令和4年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策を第一に考え、1日開催とした。

(7) 中堅教諭等資質向上研修

令和3年度より愛知県が主催する研修の大幅な見直しが行われたことに伴い、これまでの「10年経験者研修」を「中堅教諭等資質向上研修」と改めた。

中堅教諭等資質向上研修は在職期間が5年または10年を経過した全教員を対象に、教育公務員特例法第24条に基づき、現職研修の一環として研修を実施し、教員の資質向上と使命感を養うと共に、専門性の向上、得意分野の伸長を図ることを目的として、研修を行う。

(8) 岡崎市教員免許状更新講習

教員免許更新制は、平成21年度から導入された国の制度である。

平成22年度から、岡崎市の教員免許状更新講習受講対象者に、教員として必要な資質能力が保持されるよう、最新の教育について知識や技能を習得させることを目的とし、岡崎市独自の講習を開設していた。令和4年7月1日に教員免許更新制が発展的解消されたことに伴い、岡崎市教員免許状更新講習を廃止とした。

9 教育委員会特別委員会

市の計画に基づく委託事業等を円滑に企画・運営するために、教育委員会特別委員会が設置されている。それぞれの会の委員は各小中学校の校長・教頭・教諭によって組織され、委員の選出に当たっては、他の会の委員との重複を避け、同じ学校の職員に偏ることがないように配慮されている。

■特別委員会

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
月報「岡崎の教育」 編集委員会	・ 6 班編成の取材・編集 ・ 「岡崎の教育」 毎月配付 (PDF データ) ・ 月 1 回の定例編集会議 ・ 年一回市民への回覧 ・ 教育関係諸機関への送付	32 名
教職員の研修検討委員会 「教員研修必携編集」	・ 「教員研修必携」の編集発行 (ダウンロード版を含む) ・ ダウンロードの仕方や使用方法、活用方法の周知	5 名
教職員の研修検討委員会 「新任教師の集い企画・運営」	・ 「新任教師の集い」の企画運営	5 名
教職員の研修検討委員会 「新たな教師の学び」	・ 授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】、ブラッシュアップ研修に向けた準備と運営 ・ 新たな教師の学びに向けた調査研究	7 名
新しい学校デザイン推進委員会 「部活動検討」	・ 教育としての今後の部活動の在り方の検討 ・ 自由度の高い活動時間を生み出す案等の提案	8 名
新しい学校デザイン推進委員会 「教職員の意識調査」	・ 働き方改革を推進する取組の実態把握と最新の動向把握	8 名
特色ある学校づくり推進委員会 「コミュニティ・スクール」	・ コミュニティ・スクール導入に向けた調査研究 ・ コミュニティ・スクールの理解促進	5 名
特色ある学校づくり推進委員会 「未来型の教育」	・ 「未来型の教育」の具体的な事例やポイントの提示 ・ 市内全校が参加できるオンライン授業の企画、運営	7 名
S D G s 推進委員会	・ 各校での S D G s の推進についての研究	7 名
I C T 教育推進委員会	・ 情報活用能力育成モデル授業案の作成 ・ 「電子黒板操作説明動画 (小学校版)」作成	12 名
郷土読本編集委員会	・ 小学校向け「おかざき」3 年 4 年 6 年・中学校向け「岡崎」の改訂	10 名
授業改善委員会 「教育課程実施状況調査」	・ 学びを高める岡崎の子供たちのために (中学校編) 編集 ・ 指導と評価の一体化現状把握	6 名
補助教材検討委員会	・ 公費負担補助教材の検討	5 名
英語が話せる おかざきっ子研究委員会	・ 小学校英語動画 (OK English) の改訂	11 名
部活動地域移行検討委員会	・ 休日における、部活動指導にあたる教員のシフトモデルの考案 ・ 子供や教員の部活動地域移行に関する意識調査の実施	11 名
いのちの教育推進委員会	・ 「いのち」を大切にできる子供の育成に向けた実践研究 ・ 「S O S の出し方」教育等の研究、発信	6 名

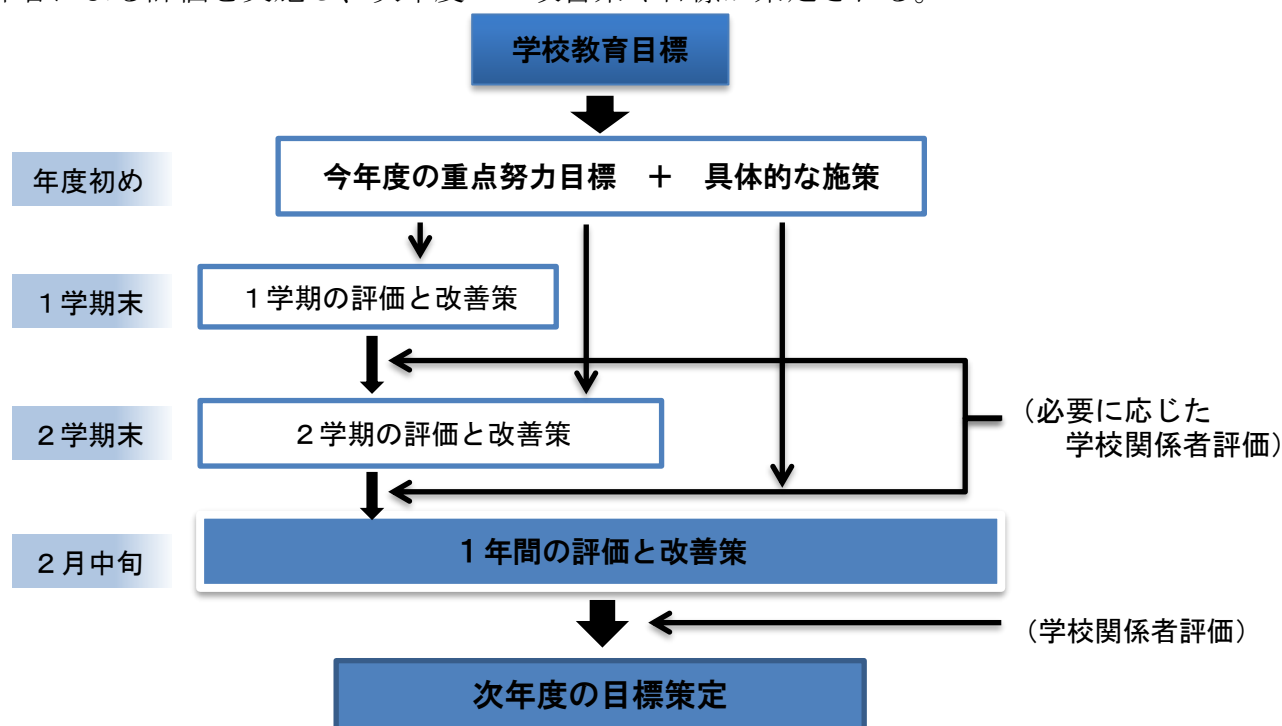
Ⅱ 学校教育

■ その他の関係委員会等

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
教育支援委員会	・ 年長児保護者対象就学説明会 ・ 「そよかぜ相談」による就学相談 ・ 教育支援（就学指導）委員会の開催 ・ 教育相談員による教育相談	23 名
特別支援教育 連携協議会	・ 特別な支援を必要とする子供について、教育、医療、福祉、労働などの関係諸機関の連携を図る会を開催 ・ 「個別の教育支援計画」を軸に連携のあり方を検討	21 名
岡崎市いじめ問題 対策連絡協議会	いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携、その他、いじめの防止等のための対策を推進するために必要な事項に関する情報交換、連絡及び協議	10 名
岡崎市長期欠席等 対策連絡協議会	長期欠席の未然防止と初期対応をはじめとした児童生徒への指導の適正化を図り、将来的な社会的自立を実現するための効果的な対応を検討	19 名
アレルギー対応検討 懇談会	医師・学校関係者で、学校におけるアレルギー対応について必要な事項を検討	10 名
学校事務共同実施 運営委員会	共同学校事務室において事務を円滑に実施するため、学校事務と共同実施の支援、ブロック間の調整のための情報交換及び協議	12 名

10 学校評価(学校経営評価)

岡崎市立の小中学校を対象に、学校評価は実施されている。年度ごとに教育目標を設定し、その成果を評価することで、教育内容の質の向上を図ることを目的としている。各小中学校では、年度初めに、学校教育目標を基本として、重点努力目標が策定される。同時に、目標達成のための具体的な施策が策定され、学校関係者評価委員会に対して説明されるとともに、市教育委員会に報告される。1学期末と2学期末は、それぞれの学期における目標の達成状況について、校長の教員評価(学校経営評価)が行われる。また、学校関係者評価委員会は、授業や学校行事の参観、教職員や児童生徒との対話を行い、中間評価を実施することもある。3学期には、各小中学校長を中心として、全職員が、「教育活動診断票」に基づき保護者や児童・生徒による外部アンケートを実施し、成果の見られた点や反省点を洗い出すとともに、自己評価を実施する。そして、自己評価の結果及び今後の改善方策についてまとめた上で、学校関係者による評価を実施し、次年度への改善策や目標が策定される。



■学校関係者評価委員会

市内 67 校に設置される。委員会は、各小中学校長・学校評議員 5 名以内(学区有識者、社会教育委員代表、民生児童委員代表、PTA の代表等)、担当教諭 1 名、児童生徒の代表(各校 10 名程度)、その他委員長が必要と認める者で構成され、学校の教育活動に対して、地域や保護者だけでなく、子供の声を取り入れることができる組織作りがなされている。

学校評議員は、校長の求めに応じて、学校運営に関し、意見を述べる。

学校関係者評価委員会は、1 年間に 3 回開催される。1 学期は、各小中学校長が、教育方針、目指す子供像、重点努力目標等を学校評議員に説明する。2 学期は、学校の様子などについて、子供と学校評議員を交えて話し合う。3 学期は、学校評議員による学校関係者評価を行う。

11 開かれた学校づくり

(1) 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携

幼稚園等の「遊び」を通して学ぶ、幼児期の教育活動から、教科学習が中心の小学校の教育活動への円滑な移行を目指し、交流や連携（情報の連携・行動の連携）をさらに一層深めることが求められている。

ア 交流・連携推進の目的

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼保小で共通認識し、その視点をもって、子供たちに様々な気付きや思いやりの心を育む。
- ・幼児・児童の発達段階を学習することで、教師の子供理解を高める。
- ・幼小の滑らかなカリキュラムの連携を推進する。
- ・小学校入学当初における生活科を中心とした「スタートカリキュラム」を充実させ、小1プロブレムを乗り越える力を身につけさせ、小学校生活への適応を円滑にする。

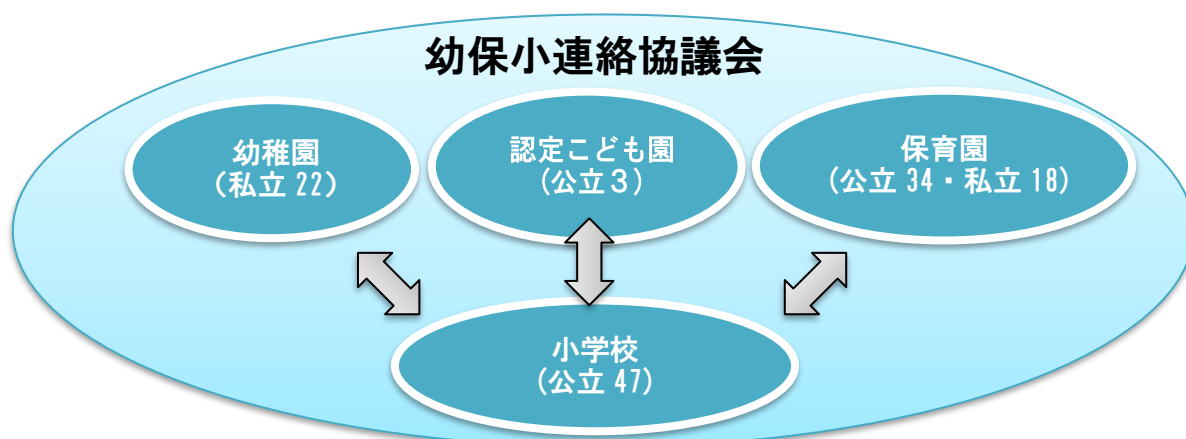
イ 組織的・計画的な取組

岡崎市幼保小連絡協議会を年4回開催する。第3回の拡大会議については、全小学校と、幼稚園・保育園・認定こども園の担当者が参加し、連携活動を推進する。

(2) 岡崎市幼保小連絡協議会

ア 活動の概要

平成17年度、岡崎市教育委員会と岡崎市福祉保健部が中心となり、岡崎市幼保小連絡協議会〈準備会〉を立ち上げ、平成18年度は、それをさらに充実し、正式に発足した。平成21年度からは、会の事務局を岡崎市教育委員会学校指導課とこども部に置き、事業にあたっている。



この協議会は、岡崎市の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校が、それぞれの教育の独自性と連続性を理解し合いながら、交流や連携を図ることにより、子供の生きる力を伸ばし、すこやかな育ちを支えることを目的とする。

イ 主な取組

- (ア) 各幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の交流や連携の推進
- (イ) 各幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の交流や連携の実態把握と分析
- (ウ) 講演会・研修会等の啓発活動
- (エ) 関係諸機関との連携

ウ 組織の構成員

- (ア) 学識経験者
- (イ) 岡崎市小学校長会の代表者
- (ウ) 岡崎市私立保育園の代表者
- (エ) 岡崎市公立園長会の代表者
- (オ) 岡崎市私立保育園長会の代表者
- (カ) 小学校教諭、私立幼稚園教諭、私立保育園保育士、公立園保育教諭または保育士

士

子供たちが豊かな心を育み、健やかに成長するためには、家庭・地域社会との連携もさることながら、学校間の連携（相互交流）も不可欠である。

幼児教育から義務教育の9年間を見通しての幼保小間の連携教育は、一人一人の子供の特性を理解し、発達段階に応じたきめ細かな指導に取り組むことが可能で、その効果も大きい。また、幼保小間の連携は、子供たちの「他を思いやる心」や「自立心」の育成に大いに役立っている。

子供の健全育成に向け、地域や家庭を基盤にした市民総参加による子育てのネットワーク化を図るとともに、幼保小の教師の共通理解のもと、授業参観や行事参観等を通して様々な異年齢交流を展開している。

(3) 中学校区児童生徒健全育成協議会

中学校区児童生徒健全育成協議会は、中学校区のPTAが中心となり、関係諸団体との密接な連携を深め、児童生徒の健全育成を推進するために平成13年度に組織づくりが開始された。小学校、中学校及び関係諸団体と連携を密にして運営することにより、小中一貫した生徒指導と児童生徒及び学区住民の防犯に対する意識高揚を図った。平成15年度には15中学区で組織化された。その後、携帯電話の普及等による問題行動の広域化や変質者被害の多発等を踏まえて、市内全中学校区の校長と地域の代表が集まる情報交換会を2回開催した。平成16年度は、市内の全ての中学校区で組織化を図り、その代表者と校長を集めて、中学校区児童生徒健全育成連合協議会が発足した。平成18年度は、全国で起きた「いじめ自殺」を受け、その対応策を協議した。平成19年度は、「いのちの教育」アクションプランの推進に向けて、子供たちの健全育成に向けた活動を展開した。平成20年度からは、「いのちの教育」アクションプラン推進協議会の地域部会として活動を継続した。平成23年度以降は、各中学校区児童生徒健全育成協議会の充実を図りながら、確かな行動連携を目指した取組を展開している。

12 いじめ・長期欠席対策

(1) 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会、岡崎市長期欠席等対策連絡協議会

岡崎市いじめ問題対策連絡協議会、岡崎市長期欠席等対策連絡協議会を設けて、いじめや長期欠席に関するそれぞれの事業の連携を図り、児童生徒へ一層きめ細やかな支援を行うために、臨床心理士、医療機関、専門機関の代表等の助言を得て健全育成推進事業、長期欠席対策推進事業を推進する。

(2) いじめ・長期欠席相談室事業

臨床心理士の資格を有する者及び子供の発達段階を理解し、子供の実態を把握する力量があり、人格・行動において社会的信望を有し、職務遂行に必要な熱意をもつ社会人を活用し、悩みを抱える児童生徒及びその保護者へのカウンセリング、担任及び関係教職員への指導助言等を行い、児童生徒の支援につなげる。

ア 長期欠席にかかわる「そよかぜ相談室」

【臨床心理士】

- ・原則として、月曜日から金曜日の午前9時から午後6時と土曜日の午前9時から正午の中で、教育相談センターにおいて、相談活動・ケース会議等を行う。
- ・学校からの派遣要請があり、教育委員会が派遣の必要があると認めた場合、学校現場との連携を基にした緊急派遣を行う。(学校や家庭を訪問、教育相談センターでの教育相談や支援)

イ 実績（平成26年度に心理士を2名から3名に増員）

■臨床心理士による相談にかかった人（延べ人数）（令和5年3月末現在）

	本人	保護者	教員等	合計
平成27年度	854人	1,958人	292人	3,104人
平成28年度	850人	1,977人	321人	3,148人
平成29年度	894人	2,009人	320人	3,223人
平成30年度	788人	1,874人	360人	3,022人
令和元年度	807人	1,939人	286人	3,032人
令和2年度	950人	1,816人	333人	3,099人
令和3年度	686人	1,734人	351人	2,771人
令和4年度	635人	1,818人	289人	2,742人

(3) 「キッズ岡崎こころの電話」

ア 概要

昭和 56 年度に始まった全ての市民を対象にした「心の電話おかざき」を、平成 23 年度から「キッズ岡崎こころの電話」とし、小中学校及びその保護者に対象をしばって教育的援助を行う。父母、先生、友達にも相談できない悩みや問題を、電話で話し合うことにより、多感な時期である小中学生やそれを支える保護者が明るい生活を送れるようにする。また、相談内容によっては専門機関、専門家を紹介して相談者の問題解決を助ける。現在 5 名の専門相談員によって対応している。市内小中学校新入生を対象に、電話番号等の入ったシールを配布した。

【電 話】 8 3 - 5 6 6 0

【受付時間】 火曜日～金曜日 正午～午後 7 時 00 分
土曜日 正午～午後 4 時 30 分

【休 日】 日曜日、月曜日、国民の祝日
12 月 28 日～翌年 1 月 4 日

イ 相談件数 (令和 4 年度)

小学生	中学生	保護者	計
1	2	5	8

(4) メンタルサポートクラブ事業

心の支援者を組織し、長期欠席の児童生徒の家庭を訪問し、良き相談者としての立場から側面的に援助する事業である。

(5) スクールカウンセラー

全中学校 20 校(小中連携型配置校 3 校を含む)及び全小学校 47 校(拠点校 10 校、対象校 37 校)にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員の悩み事相談や長期欠席相談に応じる。

(6) 登校支援員

各学校の要請により、長期欠席児童生徒、保護者への支援を行う。また、長期欠席対策主任との連携による校内教育支援センター巡回指導・支援を実施する。

(7) スクールソーシャルワーカー(アドバイザーを含む)

教育相談・支援体制の充実のため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉士等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて、支援を行う。現在、学校勤務経験者を 5 名、社会福祉士を 8 名、アドバイザーを 1 名、合計 14 名を配置している。

Ⅱ 学校教育

(8) 校内フリースクール

何らかの事情で学校や教室に行きづらさを感じていたり、集団生活が苦手不安を抱えたりする生徒が、教室復帰だけでなく、もてる可能性や能力を最大限に伸ばすことで、社会的な自立に向けた力を育む場所である。令和2年度に3校、令和3年度に5校、令和4年度に6校、令和5年度に6校の中学校に段階的に設置し、市内全中学校へ校内フリースクールを開設した。担任と支援員を配置し、生徒への指導・支援を行っている。

13 危機管理対策

平成 13 年 6 月 8 日に起きた大阪教育大学教育学部附属池田小学校における児童等殺傷事件を受け、学校における危機管理体制の確立が急務となった。岡崎市では、防犯ブザーや、防犯ホイッスルを配布するとともに、直ちに岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを作成した。以後、各校はそれに基づいて各校（園）に危機管理マニュアルを作成し、教職員の対応や役割分担の確認を毎年 4 月に行ってきた。

平成 15 年 12 月 18 日には京都府宇治市宇治小学校に不審者が侵入し、小学校 1 年生が負傷する事件が発生した。そこで、市内の不審者被害の多発の現状を踏まえて、岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを改訂すると共に、平成 16 年 1 月には不審者対策の避難訓練研修会を岡崎警察署の全面協力を得て市内の校務主任が全員参加して行われた。この研修会を踏まえて自校の危機管理マニュアルの見直しを図り、防犯教室を実施すると共に、児童生徒一人一人に引き渡しカードを作成し、参観日などの機会に保護者への引渡し訓練を実施した。また、警察、少年愛護センター、市防犯交通安全課などの専門機関や地域住民との連携も進んでいる。そのひとつに、児童生徒の登下校の安全ボランティアを中心とした S S V（スクール・サポート・ボランティア）の拡充がある。平成 16 年度の中学校区児童生徒健全育成連合協議会の立ち上げもあり、その後、学校・家庭・地域の確かな行動連携が加速した。平成 17 年度には、小 1 児童の下校時を狙った痛ましい事件が広島、栃木で発生し、平成 20 年 5 月には、豊田市で女子高生が殺害される事件も発生した。さらに、平成 23 年 3 月 11 日には、東日本大震災が発生した。

危機管理マニュアルや防犯・防災マップの改善を図るとともに、児童生徒が自ら身を守るという安全意識を育てていくことが急務である。

(1) 携帯用警報ブザー（防犯ブザー）の配布

ブザーは岡崎警察署生活安全課が斡旋するものを選定し、平成 13 年 6 月に小中学校に各 1 個、さらに、9 月には小中学校に職員数＋5 個を配布した。

(2) 夜間反射材付き防犯ホイッスル・防犯ブザーの活用

防犯ホイッスルは、交通安全にも役立つように、夜間反射材のついた首下げ式のホイッスルを選定した。首にかける紐は、安全のために少し強く引くと二つに分かれるものを採用した。平成 16 年 2 月に市交通安全課が小学校 1、2 年生に配布した。また、市安全安心課から平成 16 年度に新 1 年生を含め、小学生全員に配布され、その有効活用を図っている。

平成 17 年度には、市内全中学生に防犯ブザーを 5 月中旬に配布して、児童・生徒の安全確保に努めている。平成 18 年度以降毎年 4 月、新小学校 1 年生と、新中学校 1 年生に防犯ホイッスル、防犯ブザーを配布している。平成 27 年度は、小学生全児童に対して防犯ブザーを配布した。

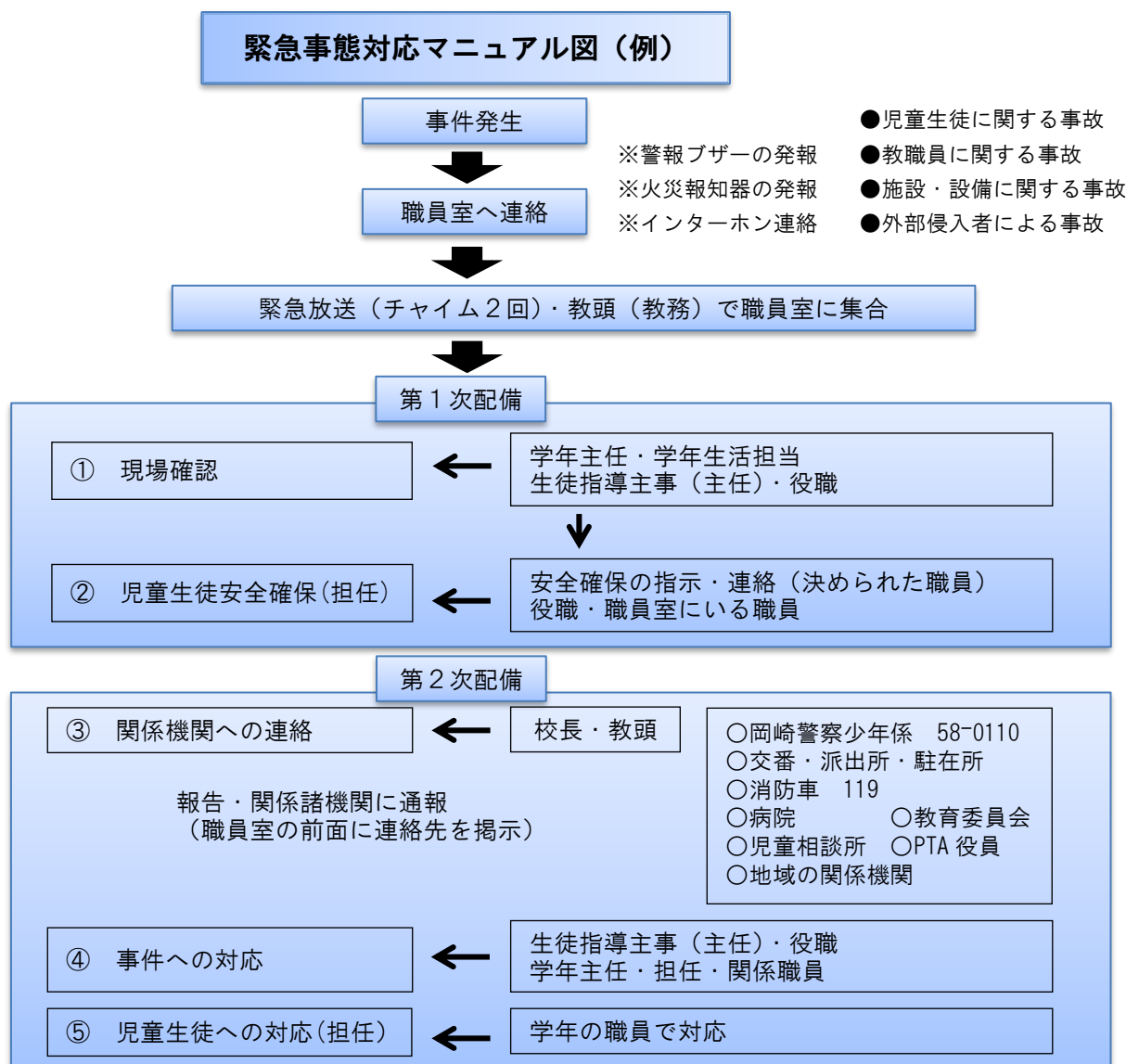
なお、平成 28 年度からは、新小学校 1 年生のみに防犯ブザーの配布を行い、平成 29～令和 2 年度は民間から寄贈された防犯ホイッスルも市内全小学生に配付した。

令和 3～5 年度は以前のとおり、新小学校 1 年生への防犯ブザーの配付を行った。

Ⅱ 学校教育

(3) 危機管理マニュアル作成

岡崎市小中学校危機管理マニュアルは、「日常の安全確保」「緊急時の安全確保」「家庭や地域社会の協力を得て取り組むべき事項」を骨子として事件の予防策と事故発生時の対応が定められ、実際に取り組むことができるように具体的な内容を明記している。毎年4月当初に各学校においてマニュアルを作成し、その内容について、実際に避難訓練や教職員のみによる訓練を行い、教職員に十分周知するようにしている。また、平成19年度から学校情報メールシステムが確立され、市内全小中学校が緊急時の連絡手段として活用している。平成27年度から校外学習に対する安全管理、平成28年度から組体操における安全対策も加えている。



市立小中学校における大規模地震についての対応

1 児童生徒の安全対策

- (1) 地震に対する危機管理マニュアルの作成や通学路の安全マップの作成等を行い、日ごろから地震における対策をしっかりとっておく。
- (2) 「南海トラフ地震に関する情報(臨時)」が発表された場合は、落ち着いて行動し、テレビ・ラジオ等から正確な情報を収集するよう努めるとともに、児童生徒の安全確保を行う。
- (3) 事前に情報がない状態で地震が発生した場合は、危機管理マニュアルに沿って行動し、児童生徒の安全確保に努める。児童生徒の在宅時は、臨時休校や授業再開の時期など、必要に応じて保護者に連絡する。

2 防災教育

児童生徒に対する防災教育は、教育活動の一環として行うものとし、具体的実施内容は、年間教育計画で定めるところによる。

○地震発生時の非常配備体制

ア 事前の地震情報がない状態で地震が発生したとき

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	①震度3の地震が発生した時 ②「臨時情報(調査中)」入手時	管理職を中心に情報の収集・交換
第1非常配備	①震度4の地震が発生した時 ②臨時情報(巨大地震注意)	管理職と必要に応じた教職員若干名の配備(市教委への電話連絡)
第2非常配備	①震度5弱の地震が発生した時 ②臨時情報(巨大地震警戒)	教職員の半数程度の配備
第3非常配備	①震度5強以上の地震が発生した時 ②警戒宣言の発表	全教職員の配備

*上記の場合以外においても、各学校の自主的判断により非常配備につく。

*被害の状況に応じて、校長判断で配備を解く。

*震度5強以上の場合は、全小中学校の避難所が開設されるので、必要に応じて対応する。

イ 南海トラフ地震に関連する情報が出た場合

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	「臨時情報(調査中)」入手時	管理職を中心に情報収集・交換 「巨大地震注意」及び「巨大地震警戒」を注視し、配備について検討する。

14 就学・奨学制度

(1) 就学援助制度

経済的理由によって、就学困難な児童及び生徒に対し学用品、通学用品費、学校給食費、修学旅行費などの費用の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助者数

(令和5年3月現在)

区 分		準要保護	要 保 護	計	備 考
小学校	人員	1,331 人	65 人	1,396 人	小学校全児童数 21,990 人
	対全児童	6.05%	0.30%	6.35%	
中学校	人員	833 人	44 人	877 人	中学校全生徒数 10,987 人
	対全生徒	7.58%	0.40%	7.98%	
計	人員	2,164 人	109 人	2,273 人	32,977 人
	対全児童	6.56%	0.33%	6.89%	

(%は小数点第3位四捨五入)

(2) 特別支援教育就学奨励制度

学校教育法施行令第22条の3に規定する障がいの程度に該当する児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒について、その就学経費の一部を補助することにより保護者の経済的負担の軽減を図る。

就学奨励者数

(令和5年3月実績)

区 分	対象 児童・生徒数	扶助者数※	扶助率
小学校	767 人	568 人	74.05%
中学校	280 人	176 人	62.86%
計	1,047 人	744 人	71.06%

※ 扶助者数は辞退者（就学援助制度によって扶助している者等）と費用の支弁を受けなかった者を除いた数。

(3) 奨学資金制度

経済的な理由によって、修学困難な学生に対し修学に必要な資金として年額40万円を無利子で貸付けを行う。教育の機会均等及び有用な人材の育成に寄与することを目的とする。

ア 対象

大学、短期大学、専修学校（専門課程）に在学する学生

イ 貸付実績

年度	人数	金額
平成29年度	57人	22,800,000円
平成30年度	52人	20,800,000円
令和元年度	40人	16,000,000円
令和2年度	37人	14,800,000円
令和3年度	54人	21,600,000円
令和4年度	57人	22,800,000円

(4) 私立高等学校等授業料補助金概要

私立高等学校等に在籍する者の保護者等、授業料を負担している者のうち、経済的に困難な者の負担の軽減を図るため、予算の範囲内において、授業料の補助を行う。

ア 補助金額

年額12,000円

※ 実質授業料負担額が12,000円未満の場合は、当該授業料額を限度とする。

イ 補助金交付実績

年度	人数	金額
平成29年度	1,846人	21,889,000円
平成30年度	1,897人	22,723,000円
令和元年度	1,869人	22,394,000円
令和2年度	842人	9,952,000円
令和3年度	772人	9,153,000円
令和4年度	695人	8,289,000円

15 全市的行事

(1) 中学校総合体育大会

市内の全中学生を一堂に集めてスポーツの実践や理解の機会を与えることにより、学校間の親睦とスポーツ精神を養う。令和元年度まで、総合開会式は岡崎市中央総合公園・市民球場で行われ、市内全中学校から約1万1千人の生徒と職員が参加した。令和2、3年度は、緊急事態宣言が愛知県に発令されたことを受け、中止となった。その後も総合開会式は実施していないが、令和5年度は、コロナ感染拡大防止対策を大幅に緩和し、入場制限等を行わず、通常に近い形で開催することができた。

競技は全13種目を19の会場で実施している。



〈中学生総合体育大会 総合開会式〉

(2) 中学生の主張コンクール

自分の身の回りの生活や社会に関して、中学生らしい清新で建設的な意見を訴える。自分の主張を述べることを通じて、自分の考えをはっきりさせる能力を高めるとともに、社会の一員としての自覚を高めることを目的として実施されてきた。毎年、夏季休業中に市内各中学校の代表者21人が発表し、市内中学校の生徒及び保護者、一般の方も聴衆者として参加してきた。令和3年度からは、会場に一堂が介しての主張コンクールではなく、各学校において主張作文に取り組み、学級や学年、全校の場で発表する場を設定する形で取り組んでいる。自分の主張を分かりやすく書く力とともに、話す聞く力も高めていく。

(3) 岡崎市小中学校書き初め展

優れた書写の作品を鑑賞し、書写技能を高めることができるようにすること、日常の書写指導の成果を表すことを目的として実施される。各学校から代表者の作品が出品され、岡崎市美術館に展示している。平成30年度から2日間開催となっている。毎年、6000人近くの来場者がある。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催中止となった。令和3、4年度は、感染対策を施し、人数制限を行う中で開催した。令和5年度も、岡崎市美術館で開催予定である。

(4) 岡崎のハーモニー

市内全小中学校の代表児童生徒が参加して、日頃の練習の成果を発表し合う。岡崎市民会館あおいホールを会場とし、その年のテーマをもとにステージ案を構想し、合唱、オーケストラ、吹奏楽等、多彩な音楽を演奏する。

令和4年度は、社会の動向を注視しながら、子供たちが「共に歌うことの価値」を実感し、音楽に感動することができるよう、演奏時間の短縮、出演児童生徒数の制限等、感染症対策を工夫し、有観客で「第50回」を開催した。

令和5年度は、東西南北の4ブロック編成に回帰する。出演する子どもと関わる教員が音楽のもつ力とすばらしさを改めて実感すると共に、多くの皆様に愛され支持される「岡崎のハーモニー」として創造していく。

＜プログラム＞

- ・「岡崎讃歌」
- ・「夢 ふくらませ」
- ・東ブロック
- ・南ブロック
- ・北ブロック
- ・西ブロック
- ・吹奏楽ステージ
- ・エンディング 合同合唱とオーケストラによる「夢 受け継いで」



〈岡崎のハーモニー〉

(5) 理科作品展

岡崎市の児童生徒の理科への興味・関心を高め科学する心を育てるために、優秀な理科研究物や創意工夫作品を集め展示する。児童生徒の出品作品は、冊子「理科の研究」としてまとめられる。平成11年度から優れた作品に対して木村資生科学賞が、平成18年度から自然科学研究機構から未来の科学者賞が授与されている。また、自然科学研究機構研究員による「自然科学研究機構コーナー」などを設置している。

令和2年度は、Webによる写真での公開し、令和3年度は、総合学習センターの多目的ホールにて、作品展を実施した。令和4年度からは、再び岡崎中央総合公園武道館に移して開催している。

(6) 技術・家庭科作品展

昭和49年から続いている技術・家庭科作品展。岡崎市内の児童生徒のものづくり意欲の向上と市民の理解を深めるために、小学校の家庭科の授業やクラブ活動、中学校の技術・家庭科の授業や部活動等で製作した作品を展示する。

令和2年度は、市内小学校約800点、中学校約1200点の作品を、12月18日から年度末まで、Webによる写真での公開とした。令和3年度は、総合学習センターの多目的ホールにて、作品展を実施した。令和4年度は、中央総合公園にて、おかざきっ子展、理科作品展とともに同日開催した。令和5年度も同様の形で開催予定である。

Ⅱ 学校教育

(7) 生徒市議会

昭和 48 年に生徒模擬市議会としてスタートし、昭和 58 年に生徒市議会へと名前を変えた生徒市議会は、岡崎市内の全中学校の代表が市政に対するさまざまな問題について質問・提案を行う今年度で 49 回目を迎える行事である。企画・運営は市内全中学校の生徒会で組織する生徒会連絡協議会が行う。それぞれの学校が独自に市政を学習する機会を通して、質問・提案を作成し、答弁は岡崎市各部局の部長により行われる。中学生が岡崎を見つめ考えることを通して、ふるさとを愛する心を育み、将来の有権者として市政を学習するよい機会となっている。同時に、市内全中学校の生徒会が協力して企画・運営をし、情報交換をするなど、学校間の交流をする絶好の機会にもなっている。

令和 2、3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となった。令和 4 年度は、3 年ぶりに開催され、市内全 20 中学校が市政に対してさまざまな見地から提案や質問を行った。

(8) 小中学生イングリッシュ・フェスティバル

自らの考えを英語で発表できる場を提供することにより、小中学生の生きた英語力の養成を目的に実施される。学習した英語を使い発表することで自信をつけると同時に、他の発表者のスピーチを聞くことにより英語学習の意義が再認識できる。平成 15 年度から、岡崎市せきれいホールで夏季休業中に開催された。平成 20 年度から、小学生も参加して開催された。発表されたスピーチの内容は「岡崎市小中学生イングリッシュ・フェスティバル作品集」として 1 冊の本にまとめられ、市内の小中学生の「読み物教材」としても活用される。平成 23 年度からは岡崎市総合学習センター大ホールで開催している。発表内容は、スキット・スピーチである。令和 2 年度以降は、当面の間中止となっている。

(9) 造形おかざきっ子展

児童生徒がより多くの作品に接し、創造する喜びと意欲をいっそう高めるための野外展も、本年度で第 60 回展を迎えようとしている。

令和元年度から展示会場を岡崎中央総合公園内とし、認定こども園・小中学校（附属 3 校を含む）の全児童生徒の作品を一堂に展示している。令和 2、3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、Web 上での開催とした。

令和 5 年度（第 60 回展）のテーマは、昨年度同様「おかざきの町 アートあつまれ！！」とし、岡崎に関連した人、もの、ことなどからイメージを広げ、作品づくりをすることとした。家族や友達と一緒に、作品を直接鑑賞できる野外展のよさを再確認できる機会としたい。また、60 回展では造形作家を招聘し、ワークショップを開催する予定である。



〈造形おかざきっ子展〉

(10) おかざきッズ プログラミング・フェスタ

令和の時代にふさわしい新しい学びの場を岡崎の子供たちに提供し、未来に向かって自己実現できる子供の育成を支援するという目的のもと、子供たちのプログラミングに対する興味や技能を高められるように、令和元年度より実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、岡崎市総合学習センターを会場として行った。各ブースでは、授業での活動よりも一歩進んだプログラミング体験に取り組むことで、プログラミングに対する興味・関心を一層高める機会となった。また、企業等にも依頼して講師や教材を提供いただいたことで、普段は体験できないようなプログラミング活動も紹介することができた。

令和5年度も、総合学習センターにて実施する。引き続き、企業等に協力を依頼し、最先端のプログラミングを体験できる場として開催予定である。

16 教育関係表彰

教育文化賞

岡崎市の教育文化振興に寄与した、個人又は団体の優れた業績及び現に続けている研究・活動を顕彰する。選考は、本人・個人からの申請又は関係機関の推薦を受け、学識経験者・市小中学校長会役員代表・竜城ライオンズクラブ代表・市教育委員会代表から組織された選考委員会により選考される。平成 30 年度の応募状況は個人の部が 10 点、団体の部が 25 点あり、その中から個人の部で 1 点と団体の部で 2 点が表彰された。

なお、教育文化賞はこれまでに多くの個人・団体を顕彰してきたが、平成の終わりとともにその役割を果たしたと捉え、平成 30 年度をもって休止することとした。

17 総合学習センター

岡崎市総合学習センターは教育に関する調査研究、教育関係職員の研修及び教育に関する資料の収集を行うことにより、本市における教育の充実及び振興を図るとともに、市民の生涯学習の場として、ホール、体育室などの施設がある。

また、教育相談センター分室「ハートピア上地」を設置している。

所在地	岡崎市上地三丁目 12 番地 1（電話：54-1115）		
開設	平成 23 年 8 月		
建築年度	昭和 57 年度（平成 22 年度・27 年度に研修棟の一部改修）		
敷地面積	15,822.92 m ² （県有地を県から無償貸与）		
構造規模	延床面積	4,922.23 m ² （県から無償譲渡）	
	研修棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	
	多目的ホール棟	鉄骨造平家建	
	体育館棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平家建	
駐車場	約 270 台		
利用時間	午前 9 時～午後 9 時		
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		

■生涯学習部門

- ・多目的ホール（多目的ホール棟：定員 410 人）
- ・小ホール（研修棟 2 階：定員 120 人）
- ・体育室（体育館棟：アリーナ面積 701.76 m²）

※バスケットボール・バレーボール 1 面、
バドミントン 3 面、卓球 12 面



【利用状況（稼働率）】

	旧 大ホール	多目的 ホール	小ホール	体育室	平均
平成 30 年度	15.0%	—	26.3%	63.1%	34.8%
令和元年度	14.3%	—	24.0%	52.4%	30.2%
令和 2 年度	—	—	9.8%	—	3.3%
令和 3 年度	—	68.2%	62.1%	73.2%	67.8%
令和 4 年度	—	58.1%	44.6%	63.8%	55.5%

小ホールのみ

4 月から 6 月利用

Ⅱ 学校教育

■教育研究部門（教育研究所）

(1) 施設内容

ア 研修棟 2 階

研修室 1（42 人） 研修室 2（72 人） 研修室 3（30 人） 研修室 4（30 人）
研修準備室（8 人）

イ 研修棟 3 階

I C T 室（36 人） 研修室 5（36 人）
リサーチセンター
教育図書室（相談室・視聴覚資料室を含む）
教育研究所事務室

(2) 業務内容

ア 教員研修

中核市移行に伴う各種研修（小中初任者研修、新規採用養護教諭研修、中堅教諭等資質向上研修、新任校長・教頭・教務主任研修など）、現職研修部、特別委員会、自主研究サークルなどの研究団体及び個人の研修・研究活動の拠点

イ 教育研究

教育に関わる専門的・技術的な事項及び教育情報の有効利用・提供方法などの調査研究

ウ 教育アドバイザーによる支援活動

主に若手教員に対しては授業づくりや学級づくりについて、管理職に対しては学校運営に関わる問題に対して随時、指導・助言を行う。その他に、各種研修会において講師として指導にあたる。

エ 教育情報の収集・提供

各研究団体及び個人がそれぞれ保存・管理している研究活動の成果の共有化を図り、有効に活用するための体制を整える。

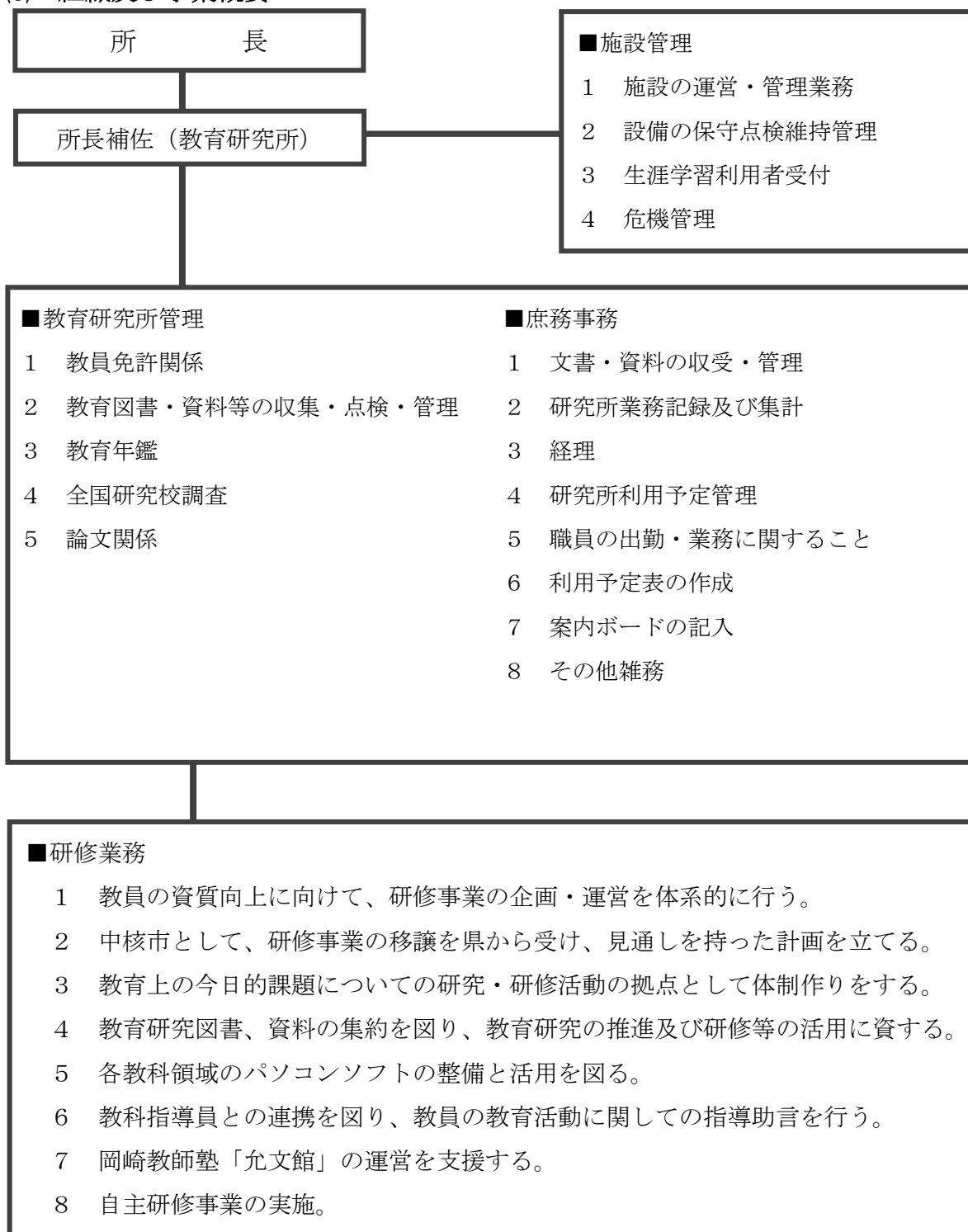
(3) 会場利用状況（令和 4 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1,146	1,258	1,600	1,400	1,237	1,072	872	918	721	1,453	1,162	1,006	13,845

(4) 教育資料利用状況（令和 4 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	262	367	313	407	286	234	222	164	221	168	174	134	2,952

(5) 組織及び事業概要



18 教育相談センター

教育研究所の相談部門と長期欠席児童生徒のための校外フリースクールであるハートピア岡崎が合併して、平成 22 年 1 月 4 日に開所した。

「そよかぜ相談室」では、子供の健やかな成長を願って、教育に関する相談に応じ、共に考えながら問題の解決を図っている。相談の対象は、岡崎市在住で来年度小学校へ入学する子供・保護者と、岡崎市内の公立小中学校の児童生徒・保護者・教職員である。

「ハートピア岡崎」では、通所が可能な児童生徒に対して、将来の社会的自立を見据えて支援を行っている。また、通所ができない児童生徒には、家庭訪問や電話による相談の対応も行い、人と対面することに抵抗を感じる児童生徒には、手紙やメール等による相談活動を行っている。平成 27 年 9 月には、これまでのハートピア岡崎を「ハートピア竜美」とし、新たに「ハートピア上地」を開所した。

所在地	岡崎市竜美北二丁目 6 番地 1	教育相談センター	電話	71-3201
		ハートピア竜美	電話	71-3207
	岡崎市上地三丁目 12 番地 1	ハートピア上地	電話	58-4831
電話予約 受付時間	月曜日～金曜日 午前 9 時 30 分から午後 5 時 土曜日 午前 9 時 30 分から午後 12 時			
休館日	日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）			

(1) 業務内容

■「そよかぜ相談室」

ア 長期欠席に関する相談

- ・ 長期欠席傾向、長期欠席の児童生徒の家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 長期欠席傾向、長期欠席の児童生徒の指導や登校支援に悩む教師からの相談
- ・ ハートピア岡崎への通所や登校支援員による支援に関する相談

イ 就学に関する相談

- ・ 就学先の選択に関して悩む保護者からの相談
- ・ 在籍する子供の就学先に関する学校からの相談

※ その他、特別に教育支援の必要な子供に関する保護者・教師からの相談

ウ 特別支援教育に関する相談

- ・ 家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 児童生徒の指導に悩む教師からの相談

■「ハートピア岡崎（竜美・上地）」

ア 通所指導

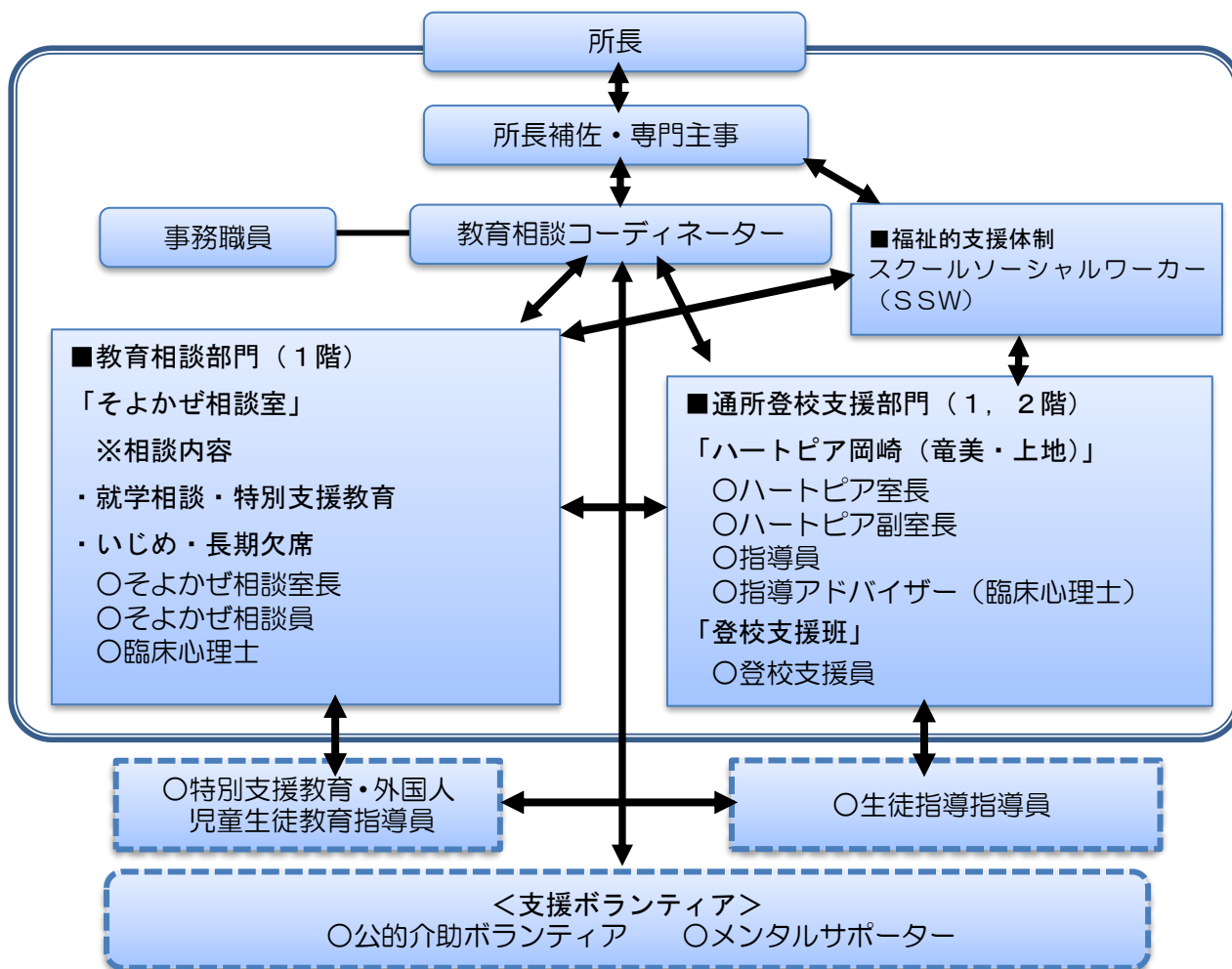
- ・ 社会的自立支援や学校復帰支援
- ・ カウンセリング

イ 登校相談支援活動

- ・ 学校を休みがちな児童生徒に対する相談と支援
- ・ 学校現場との連携を基にした登校支援活動



(2) 組織



(3) 教育相談の状況（令和4年度）

月	相談・支援状況										ハートピア利用状況			
	ハートピア指導員		臨床心理士		そよかぜ相談員		登校支援員		SSW		登録生徒	通所数	面談	見学
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数				
4	124	139	175	240	49	75	13	43	395	904	4	17	4	1
5	169	186	182	241	65	123	71	197	427	732	6	63	2	4
6	341	361	209	271	80	162	105	254	495	880	9	84	3	8
7	189	197	203	266	63	118	67	166	522	765	10	68	1	0
8	27	28	144	196	31	64	40	68	460	706	12	16	0	0
9	233	248	183	236	26	46	88	217	634	1019	16	135	3	4
10	179	191	182	228	18	33	78	193	640	1001	17	217	2	1
11	219	235	190	248	31	40	72	184	585	991	18	184	1	0
12	188	204	160	214	33	39	72	204	533	972	19	158	1	4
1	225	231	176	213	15	17	57	134	557	846	19	118	0	0
2	237	265	141	176	14	17	60	176	711	1187	25	247	6	0
3	137	141	166	213	14	19	57	166	612	1025	25	166	0	0
合計	2,268	2,426	2,111	2,742	439	753	780	2,002	6,571	11,028		1,473	23	22

Ⅱ 学校教育

19 学校給食

(1) 学校給食センター施設概要

センター名	開設年月日	敷地面積	建物面積
北 部	平成 19 年 4 月 1 日	11,691 m ²	5,391 m ²
東 部	平成 27 年 9 月 1 日	12,282 m ²	6,537 m ²
西 部	昭和 53 年 9 月 1 日	6,339 m ²	2,490 m ²
南 部	昭和 57 年 4 月 1 日	4,604 m ²	2,021 m ²

(2) 学校給食センター関係職員

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

	市		県	協 会							合計
	所長	所長代理	栄養教諭	事務局長	事務員	栄養士	汽かん員	業務職員Ⅰ	業務職員Ⅱ	用務員	
北部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	1	2	80	3	92
東部センター	1	1	3	1	12	2	1	1	105	4	131
西部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	1	2	58	3	70
南部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	3	1	1	1	52	2	63
計	1	1	12	1	19	5	4	6	295	12	356

※理事長は含まず。

(3) 年度別実施状況

年度	給 食 回 数			年 間 給 食 数			
	※こども園	小学校	中学校	※こども園	小学校	中学校	合 計
29	190	190	189	77,436	4,261,344	2,070,116	6,408,896
30	191	191	190	77,126	4,342,315	2,052,139	6,471,580
1	173	173	172	74,281	3,938,920	1,905,357	5,918,558
2	164	164	164	73,142	3,842,941	1,812,652	5,728,735
3	68	190	190	32,094	4,288,289	2,068,117	6,388,500
4	0	190	190	0	4,297,280	2,116,458	6,413,738

※令和元年度 3 月及び令和 2 年度 4～5 月は、新型コロナウイルス感染症により学校休業のため、実施回数等が減少している。

※こども園は令和 3 年 7 月で終了

(4) 年度別 1 日当りの給食数

年度	※こども園	小学校	中学校	合計	年度	※こども園	小学校	中学校	合計
29	493	23,665	11,976	36,134	2	462	24,019	11,946	36,427
30	426	24,012	11,850	36,288	3	486	23,857	12,090	36,433
1	453	24,067	11,963	36,483	4	0	23,314	12,460	35,774

(5) センター別給食実施状況（１日当たり）

（令和５年５月１日現在）

センター名	区分	こども園	小学校	中学校	その他	合計
東 部	校 数	0	19	7	2	28
	学級数	0	256	114	18	388
	食 数	0	6,643	3,960	510	11,113
北 部	校 数	0	13	6	1	20
	学級数	0	215	98	2	315
	食 数	0	6,057	3,268	50	9,375
西 部	校 数	0	8	3	1	12
	学級数	0	183	73	1	257
	食 数	0	5,620	2,532	43	8,195
南 部	校 数	0	7	4	1	12
	学級数	0	163	68	1	232
	食 数	0	4,824	2,233	34	7,091
合 計	校 数	0	47	20	5	72
	学級数	0	817	353	22	1,192
	食 数	0	23,144	11,993	637	35,774

(6) リクエストランチ

児童生徒が自ら選んだ献立を実施することにより、学校給食に対する興味・関心を持ち、望ましい食習慣の実践への意欲の高揚を図っている。募集対象校は１年で１９校あり、各学校は、給食実施献立の中から料理を組み合わせ、１食分の献立を応募する。採用された献立はリクエストランチとして、次年度の献立に反映させている。

令和４年度のリクエストでは主食はごはんやパン、中華めんなどが挙げられ、食缶のおかずは、豚汁、コーンスープ、焼きそば等が多くみられた。フライバットのおかずは揚げ物が多くチキンナゲット、ハムとチーズのはさみ揚げ、いかフライ等、保冷バットやタッパーのおかずはキャベツのゆかり和えや小学校１年生の国語の教科書に登場するげんきサラダ等に人気が集まった。

(7) 令和５年４月分の学校給食費の無償化

進級・進学等で教育費負担が集中しがちな年度初めにおける保護者の経済的負担を軽減させるため市立小中学校の児童生徒を対象に令和５年４月分、４２３、３３７食の学校給食を無償で提供した。この無償化に伴う歳入影響額は９７、０５２千円となっている。

(8) 食育授業の実施

児童生徒の食に関する指導及び管理を目的として、希望する小中学校に対し食育授業を実施している。令和４年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、小学校３８校、２２２クラス、中学校１７校、９１クラスに対し、特別活動や家庭科等の時間を通じて、「食べ物のはたらき」や「朝食の大切さ」、「バランスの良い食事」等の授業を行い、児童生徒の食に関する総合的な思考力・判断力を養うことができた。

◀ M E M O ▶

Ⅲ 生涯学習

第 1 生涯学習

第 2 社会教育施設等

第 3 文化財

第 4 社会体育

第1 生涯学習

1 生涯学習事業

(1) 生涯学習市職員出前講座

市職員が講師として、市民で構成される団体が主催する集会等に出向き、市政の説明や職員の持つ専門的な知識・技術を提供することにより市民に多様な学習機会を提供するとともに、市民の市政に対する理解と協力を求め、市民と行政とが一体となってまちづくりへの参加意識の高揚を図ることを目的とする。

(令和4年度実績)

講座名称		出席回数	参加人員
まちづくり	男女共同参画及び性の多様性の尊重について	1	20
	地消地産について	2	48
	都市計画道路について	1	27
	景観の見方・楽しみ方	1	24
	岡崎の歴史まちづくりについて	1	42
	狭あい道路について	1	19
	空き家適正管理講座 ～迷惑空き家にならないために～	1	6
	空き家対策について	1	8
	小計 8	9	194
市民生活 ・環境・ 自然	市民税のしくみ	1	15
	動物の愛護管理	2	47
	家計にやさしい省エネ生活	3	48
	カーボンニュートラルと岡崎さくら電力	1	167
	環境美化について	1	28
	資源のゆくえ	1	18
	資源とごみの出し方① ーごみの分別再確認ー	4	31
	おかざきの森について (小学生向け)	1	12
	わたしのくらしと下水道	5	546
	みんなで考える雨水対策	1	20
	小計 10	20	932

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

講座名称		出席回数	参加人員
福祉 ・ 健康	終活について ～スゴロクで第二の人生を考えよう～	2	120
	成年後見制度を知っていますか	1	17
	高齢者在宅福祉サービスについて	5	122
	高齢者虐待の防止	1	50
	「認知症サポーター」養成講座	1	7
	認知症予防遊びりテーション（高齢者向け）	6	145
	健康長寿を目指そう（高齢者向け）	12	305
	100歳までしっかり食べよう～低栄養を予防しよう～	7	139
	毎日せいかつ体操	10	214
	介護保険制度について	2	31
	上手な医者のかかり方（1）～受診編～	2	33
	上手な医者のかかり方（2）～救急編～	1	16
	上手な医者のかかり方（3）～お薬編～	1	12
	子どもの救急	5	157
	食中毒予防について	5	92
	食中毒予防について（啓発ソング）	1	34
	食品の安全・安心について	2	74
	「食育」って何だろう？	2	78
	健康づくりと栄養・食生活	4	194
	健康づくりと栄養・食生活～乳幼児～	1	90
	歯と口の健康づくり	2	73
	たばこについて知ろう	1	162
	はやね・はやおき・あさごはん～子ども向け～	4	380
	子どもたちに知ってほしい生活習慣病予防（小中学生対象）	1	150
	働き盛りのかたのメタボ予防（概ね20～60歳代対象）	1	31
	コロナ禍だからこそ健康づくり	4	105
	生と性の健康教育	13	3,192
	災害時のメンタルヘルス	2	73
	こころの病気について知ろう	4	217
	みんなが誰でもゲートキーパー	2	49
	気がついてよりそい つながるいのち（児童・生徒・学生向け）	2	301
	デートDVについて	2	322

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

講座名称		出席回数	参加人員
福祉 ・ 健康	あなたに知ってほしい「子どもの虐待」	2	48
	入学準備に必要な心構え	3	330
	岡崎市民病院の役割とかかりつけ医について	3	41
	がん基礎知識 もしもがんになったら…	1	20
	認知症予防運動コグニサイズ	8	149
	のどをきたえて誤嚥知らず	7	142
	寝たきり予防はお口から	10	325
	心臓病を予防するコツ	1	30
	感染対策の基本	4	67
	糖尿病を予防して「びんびんころり」	2	60
	糖尿病と言われたら	2	55
	救急対処の方法	6	135
	一緒に考えよう！人生最後の過ごし方	3	67
	心臓病について	1	10
	小計 46	162	8,464
交流 ・ 地域	親善都市・ゆかりのまちについて	2	62
	岡崎市の観光	3	83
	小計 2	5	145
教育・文化	岡崎市の公共交通について	2	23
	公共施設の老朽化対策について	2	31
	男女共同参画及び性の多様性の尊重について	1	10
	地消地産について	2	28
	ほ場整備とは	2	34
	岡崎市の林業について	1	17
	屋外広告物のルールについて	4	115
	景観の見方・楽しみ方	1	205
	空き家対策について	4	129
	区画整理について	2	62
	みんなで進めるまちづくり	4	41
	監査委員とは	2	53
	小計 12	27	748

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

講 座 名 称		出席回数	参加人員
防災 ・ 安全	防犯講座	9	269
	消費者トラブル未然防止講座	6	150
	消費者トラブル未然防止講座～見守り編～	4	125
	交通安全教室	10	395
	備えよう！巨大地震	16	1,059
	逃げ遅れゼロへ！風水害 マタイムラインを作成しよう！	16	619
	防災・減災講座 ～いのちを守るために～	28	2,151
	避難者に配慮した避難所の運営～運営方針と感染症対策～	13	676
	防災ゲームで災害イメージを！	10	350
	起震車の試乗	49	3,428
	初期消火訓練	4	144
	振り込め詐欺・悪質商法撃退講座	5	77
	感染症等を考慮した避難所の開設	1	92
	小計 13	171	9,535
合 計		394	20,018

2 家庭教育事業

(1) 家庭教育推進地区事業

(令和4年度実績)

家庭教育推進地区（2学区、2年間）を選定し、地域での家庭教育推進事業の実施を委託した。委託事業では、親子あるいは三世代のふれあい活動、家庭教育の必要性を認識する地域ぐるみの実践活動が実施されている。

学区	事業名	事業の規模
形埜学区	家庭教育講演会	学校、学区民、PTA 80人
	学校保健委員会 AED講習会	学校、PTA 50人
	運動会	学区全体 300人
	PTA奉仕作業	学校、PTA 200人
	学区盆踊り大会	学区全体 100人
	学芸会	学校、PTA 100人
	グランドゴルフ大会	学校、学区民 100人
	安全マップの作成・発行	学校、学区に配布 500部
夏山学区	ササユリ調査・栽培	学区内12か所 年2回
	乙川水質調査	学校
	生活習慣アンケート	学校、各家庭 40家庭
	交通安全運動	地域防犯、・非行防止 月2日各10人 登校指導（毎日） 10人
	学校保健委員会	学校、PTA 40人
	AED講習会	学校、PTA 40人
	音楽鑑賞会	学校、PTA 40人
	読み聞かせ	学校、学区民（読みよみたい） 30人
	運動会	学校、PTA、学区民 80人
	学区環境美化活動	学校、PTA、学区民（寿会） 40人
夏山学区	学芸会	学校、PTA、学区民 80人
	田んぼ、農園活動	学校、PTA、学区民（寿会） 40人
	夢山活動	学校、PTA、学区民 50人
	スポーツ活動	学校、PTA、学区民（スポ振） 40人
	機関誌の発行	学区全体 200部
	安全安心マップ発行	学校、PTA 40部
	生活習慣チェックカード	学校、各家庭 20人
夏山学区	交通安全運動	学校、PTA、学区見守り隊 50人

(2) わいわい子育て講座

岡崎子育てネットワーカーの会と共催で、市民センター6館において子育て講座（各1講座3回）を開催している。

（令和4年度実績）

場所	回数	日 時	講師名（所属）	演 題	参加人数
岩津市民センター	第1回	9月6日(火) 午前10時30分～11時45分	望月 はまよ NPO KOTA ポピンズ	赤ちゃんミュージカル	保護者 16 幼児 18 合計 34
	第2回	10月11日(火) 午前10時30分～11時45分	霜田 美津子 岡崎子どもの本研究会	絵本とわらべ歌で 楽しい子育て	保護者 14 幼児 16 合計 30
	第3回	11月1日(火) 午前10時30分～11時45分	三上 正 マジシャン	福（ピエロ）と三上のマジック	保護者 14 幼児 16 合計 30
大平市民センター	第1回	9月14日(水) 午前10時30分～11時45分	市川 水青 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者 26 幼児 33 合計 59
	第2回	10月12日(水) 午前10時30分～11時45分	青山 尚子 音楽教室講師	歌って遊ぼう	保護者 19 幼児 22 合計 41
	第3回	11月16日(水) 午前10時30分～11時45分	柴田 浪子 4婆シスターズ・岡崎マジックメンバー	楽しいマジック	保護者 20 幼児 26 合計 46
中央市民センター	第1回	9月2日(金) 午前10時30分～11時45分	志村 貴子 子育てネットワーカー	親子ふれあい遊び	保護者 10 幼児 12 合計 22
	第2回	10月7日(金) 午前10時30分～11時45分	葉山 栄子 名古屋学芸大学非常勤講師	子どもの発達について	保護者 10 幼児 11 合計 21
	第3回	11月4日(金) 午前10時30分～11時45分	伊藤 典子 人形劇団ひよっこ	人形劇を楽しもう	保護者 10 幼児 12 合計 22
南部市民センター分館	第1回	9月8日(木) 午前10時30分～11時45分	望月 貴子 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者 18 幼児 20 合計 38
	第2回	10月13日(木) 午前10時30分～11時45分	白井 直美 元岡崎市教育アドバイザー	子育ては親育ち	保護者 19 幼児 21 合計 40
	第3回	11月10日(木) 午前10時30分～11時45分	川野 佳代 マリンバ奏者	マリンバミニコンサート	保護者 14 幼児 16 合計 30
六ツ美市民センター	第1回	9月15日(木) 午前10時30分～11時45分	東 りつ子 ナゴヤ音楽教育研究会	親子でわらべ歌	保護者 7 幼児 9 合計 16
	第2回	10月20日(木) 午前10時30分～11時45分	平岩 ふみよ 竹の子幼稚園園長	いまのままで十分	保護者 11 幼児 13 合計 24
	第3回	11月17日(木) 午前10時30分～11時45分	尹 千織 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者 11 幼児 14 合計 25
矢作市民センター	第1回	9月9日(金) 午前10時30分～11時45分	安藤 千枝 劇団チャチャチャ	親子で楽しむ劇団 チャチャチャ	保護者 18 幼児 18 合計 36
	第2回	10月14日(金) 午前10時30分～11時45分	深津 智子 アンガーマネジメントコンサルタント	イライラしない子育て	保護者 15 幼児 15 合計 30
	第3回	11月11日(金) 午前10時30分～11時45分	松尾 佳子 子ども音楽舎れんげとよつば音楽講師	わらべうたとリトミック	保護者 15 幼児 14 合計 29

第2 社会教育施設等

1 市民センター

本市における生涯学習拠点施設として、8つの市民センターが設置されている。

市民センターでは、学びのきっかけとなる教養・趣味等の入門講座である「定期講座」が実施されている。さらに、市民自らが団体をつくり、講師を招いて行う「自主講座」も多く実施されている。また、南部（分館）を除く7つの市民センターに設置されている地域図書室では、図書の貸出及び返却ができるほか、時季に応じた企画展示も行っており、市民が気軽に学ぶことができる生涯学習の地域拠点となっている。

(1) 施設概要

名称	所在地	敷地面積	延床面積	電話番号	開設年月日
中央	上六名三丁目3番地7	2,636 m ²	1,176 m ²	55-8066	平成3年4月23日
南部	羽根町字貴登野15番地 岡崎市シビックセンター内	5,657 m ²	7,891 m ²	51-1579	平成14年4月22日
南部 (分館)	羽根西新町5番地3	3,815 m ²	1,182 m ²	53-7831	昭和56年4月20日
大平	大平町字皿田6番地	3,984 m ²	1,135 m ²	22-0162	昭和55年4月28日
東部	山綱町字天神2番地9	3,341 m ²	1,181 m ²	48-2922	昭和54年4月16日
岩津	岩津町字檀ノ上26番地2	4,705 m ²	1,142 m ²	45-2512	昭和52年4月25日
矢作	宇頭町字小薮80番地1	5,162 m ²	1,121 m ²	31-3202	昭和53年4月24日
六ツ美	下青野町字天神64番地	1,531 m ²	1,110 m ²	43-2510	昭和51年4月26日

2 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、社会教育と学校教育における視聴覚・情報教育の推進を目的に昭和29年設立された。それから令和の今日まで、教材センターとして、また研修センターとして、中心的教育施設であることが求められ、その役割を果たしてきた。現在、教材・教具（機材）の貸出しを中心に、映像・情報に関する様々な教育サービスの提供を行っており、幼稚園、保育園、小中学校、庁内各部署をはじめ、青少年団体、高齢者団体、法人事業所等幅広く積極的に利用されている。

教材については、16ミリフィルムからDVDまで約5千3百点の作品を収蔵し、社会教育・学校教育合わせて年間約15万2千人に視聴されている。

教具（機材）については、プロジェクター、ビデオカメラ、スクリーン、DVDプレーヤー等、様々な視聴覚機器を保有し、それらを独自に保有することが難しい公共・民間各種団体を対象に貸出を行っている。貸出数は、年間2～3千点にのぼる。

研修センターとしては、「小中学校ビデオ教室」「情報モラル出前講座」などの各種研修・講座を、年間を通じて行っている。うち「小中学校ビデオ教室」は、映像制作を通じて子どもたちのコミュニケーション能力や表現力の育成を図るユニークな事業である。制作作品は国内の映像作品コンクールや視聴覚ライブラリー実施のふるさと岡崎メディアコンクールで毎年入賞・入選しており、岡崎市の視聴覚・情報教育の輝かしい成果となっている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市菅生町1丁目3番地1（岡崎市役所西庁舎南棟2階） 電話 23-6789 FAX 23-6794
業務時間	午前9時～午後5時15分（土曜日は、午後零時30分まで）
休業日	日曜日、国民の祝日、年末年始（12月28日～1月4日）

(2) 主な事業

ア ふるさと岡崎メディアコンクール

生涯学習・学校教育・児童生徒の3部門でビデオ・デジタルコンテンツ教材を募集している。優良賞以上の作品は教材として貸出し、又は配信に供することで学校教育及び生涯学習における活用を行っている。

イ 小中学校ビデオ教室

映像作品制作講習会として小中学生を対象に年2回実施している。1日のうちに、コンテ立案、撮影、編集、鑑賞の一連のプロセスを経験することで、映像制作の方法を身に付けるとともに、コミュニケーション能力や表現力の育成を図る。

ウ ビデオ編集サポート

平成16年1月から、ライブラリー所有のノンリニア編集機を用いて、市民を対象に動画や音声編集の支援を随時実施している。

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

エ 親子映画会

例年7～8月に、市内市民センターと額田センターで出前映画会を行っている。
昔ながらの16ミリフィルム映画の視聴を通じて、子供たちの感性を育み、親子のふれあいを深める場を提供するとともに、家庭教育の推進に努めている。

(3) 貸出教材視聴者数

年度	区 分	視聴者数 合計（人）	割合	内 訳（人）		
				DVD	VHS	16ミリ・その他
30	学校教育	96,599	68.9%	57,275	39,280	44
	社会教育	43,585	31.1%	36,899	1,466	5,220
	計	140,184	100.0%	94,174	40,746	5,264
1	学校教育	104,534	76.6%	102,056	2,478	0
	社会教育	31,938	23.4%	22,429	951	8,558
	計	136,472	100.0%	124,485	3,429	8,558
2	学校教育	55,264	71.9%	47,701	7,535	28
	社会教育	21,564	28.1%	19,553	259	1,752
	計	76,828	100.0%	67,254	7,794	1,780
3	学校教育	34,457	81.1%	31,661	1,064	1,732
	社会教育	8,017	18.9%	7,681	126	210
	計	42,474	100.0%	39,342	1,190	1,942
4	学校教育	137,545	90.0%	136,999	28	518
	社会教育	15,261	10.0%	12,771	468	2,022
	計	152,806	100.0%	149,770	496	2,540

(4) 貸出教具（機材）点数

年度	区 分	貸出点数 合計（点）	割合	内 訳（点）		
				プロジェクター	プレーヤー	その他
30	学校教育	388	15.1%	93	4	291
	社会教育	2,174	84.9%	490	185	1,499
	計	2,562	100.0%	583	189	1,790
1	学校教育	439	17.6%	73	8	358
	社会教育	2,054	82.4%	462	162	1,430
	計	2,493	100.0%	535	170	1,788
2	学校教育	480	27.0%	72	3	405
	社会教育	1,301	73.0%	292	89	920
	計	1,781	100.0%	364	92	1,325
3	学校教育	513	21.7%	42	1	470
	社会教育	1,854	78.3%	353	74	1,429
	計	2,367	100.0%	395	75	1,899
4	学校教育	551	18.3%	44	2	505
	社会教育	2,455	81.7%	498	83	1,874
	計	3,006	100.0%	542	85	2,379

(5) 親子映画会参加者数

年度	参加者数 (人)
29	877
30	698
1	822
4	294



〈16 ミリフィルム映写機〉

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大
防止対策により中止

令和4年度は募集人数を会場定員の半分としたうえで実施

(2) 教材・教具（機材）保有状況

(令和5年4月1日現在)

教 材	保有数	機 材	保有数
購入映像作品 (DVD)	1,178	プロジェクター	20
購入映像作品 (VHS)	1,838	〃 (教材提示装置付)	1
寄贈映像作品 (DVD)	198	ビデオカメラ	26
寄贈映像作品 (VHS)	473	DVDプレーヤー	8
寄贈 (CD-ROM)	59	VTR (VHS+DVD再生機 含む)	3
自作映像作品	289	ワイヤレスアンプ	9
自作デジタルコンテンツ	35	ワイヤレス・有線マイク	8
16 ミリ映画 (資料映画含)	895	パソコン (Mac Book)	1
スライド (組)	13	ビデオ編集システム	1
録音教材	97	ノンリニア編集機 (ビデオ編集 用ノートPC)	15
コンパクトディスク	204	デジタルハイビジョン 配信システム	1



〈所蔵するDVD教材〉

レコードプレーヤー	1
16 ミリフィルム映写機	8
モニターテレビ	10
スライド映写機	2
OHP	2
テープレコーダー (ラジカセ)	2
暗 幕	11
スクリーン	14
フィルム巻取機	1
フィルム接合機	1
フィルム検査機	1

3 図書館交流プラザ 愛称:Libra(りぶら)

「岡崎市図書館交流プラザ」は、図書館を核とした「楽・習・交流」を育む魅力ある生涯学習拠点の形成をメインテーマに、市民の知的・文化的ニーズへの対応による自己実現と自主的な活動及び岡崎らしさの発信により、多様な交流機会を創出することを目的として、平成20年11月1日に開館した。

約100万冊の収蔵能力を持つ中央図書館を始め生涯学習・市民活動・国際交流・男女共同参画の各センター機能を統合した市民活動総合支援センター、ホール、スタジオ、ジャズコレクション展示室、歴史資料展示室など、従来の図書館という枠を超えて幅広い分野にまたがり、知的交流を楽しむ施設となっている。

また、施設の設計や運営計画の検討に当たっては、平成16・17年度の2年間にわたる設計段階における市民検討ワークショップやその後のサポーター支援会議に寄せられた、市民の願いが生かされている。

開館後も、ワークショップ等に参加した市民が中心となって、りぶらサポータークラブを設立し、市民主導の生涯学習活動を支えるサポーターとして活躍している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西4丁目71番地	
事業年度	平成16年度 基本設計 平成17年度 実施設計 平成18～19年度 本体工事 平成19～20年度 外構工事	
開館日	平成20年11月1日(土)	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	約18,000㎡(屋内駐車場除く)	
主要施設	中央図書館、市民活動総合支援センター(市民活動センター、国際交流センター)、岡崎むかし館(歴史資料展示室)、内田修ジャズコレクション展示室、ホール(可動席最大292席)、スタジオ(大1、中2、小3計6室)会議室6室、和室、創作室、調理室	
駐車場	約450台	
利用時間	午前9時～午後9時	
休館日	水曜日(祝日に当たる場合は開館) 年末年始(12月29日～1月3日)	

(2) 生涯学習

生涯学習活動支援のため、情報提供・相談人材育成などを行う

- ア 生涯学習相談
- イ 生涯学習情報の収集・提供
- ウ 生涯学習成果の発表・交流
- エ 生涯学習関係講座

(3) 市民活動

自主的な市民活動を応援し、団体の交流促進と市民活動の活性化を進める

- ア 市民活動に関する相談
- イ 市民活動情報発信
- ウ 活動場所や印刷機器の利用提供
- エ ボランティア活動の相談

(4) 国際交流

外国人と日本人の相互国際理解を促進するセミナー・講座・ボランティア事業を開催することにより、外国人と日本人との市民交流を推進する

- ア 言語スタッフによる生活・手続き等の各種市民相談
- イ 多言語情報の提供
- ウ 国際理解セミナーの開催
- エ ボランティア事業補助

(5) 男女共同参画

男女共同参画推進のため、意識啓発・交流・相談・活動支援などを行う

- ア 弁護士による女性のための法律相談
- イ 相談員による配偶者等からの暴力に関する相談及び女性相談
- ウ 男女共同参画関係講座
- エ 女性活躍推進関係講座
- オ 男女共同参画意識啓発

4 中央図書館

中央図書館は、戦災で焼失してから移転を重ね、昭和46年に明大寺町に設置された。以来30年以上にわたり市民に親しまれてきたが、時代の新しいニーズに対応するため、康生地区の再活性化拠点として建設された生涯学習複合施設「岡崎市図書館交流プラザ」の核として、平成20年11月移転リニューアルした。施設の大規模化、ＩＣタグによる自動貸出や自動出納書庫の導入のほか、ブックスタートの実施、ティーンズコーナー設置、ビジネス支援などサービス向上に努めている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西4丁目71番地（岡崎市図書館交流プラザ内）
電話	23-3111
構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造3階建
延床面積	7,895㎡（建物全体約18,000㎡、屋内駐車場除く）
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	水曜日（祝日に当たる場合は開館）、特別整理休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	1階 レファレンスライブラリー 地域資料・参考図書・分類別一般図書、専門雑誌コーナー、レファレンスカウンター、閲覧席（190席）、インターネット席（14席）、データベース席（6席）、持込パソコン利用席（18席）、研究個室（5席）、グループ室（1室）
	2階 ポピュラーライブラリー テーマ別一般図書、視聴覚資料・視聴覚ブース、点字図書・録音資料、新聞雑誌コーナー、ティーンズコーナー、ティーンズルーム、外国語資料コーナー、グループ室（2室）、対面朗読室（2室）、閲覧席（430席）
	2階 子ども図書室 児童書、絵本、紙芝居、閲覧席（80席）、インターネット席（3席）、おはなしのへや、授乳室



(2) 蔵書状況

(令和5年3月31日現在)

区分		令和3年度末合計	受入		除籍	増減	更正	令和4年度末合計
			購入	寄贈等				
一般書	一般書	547,181	10,176	1,122	23,154	-9,541	2,315	537,640
	大活字	3,242	76	16	38	92	38	3,334
	洋書	5,941	51	19	107	-36	1	5,905
	小計	556,364	10,303	1,157	23,299	-9,485	2,354	546,879
児童書	児童書	60,431	2,068	296	4,196	-1,637	195	58,794
	絵本	35,407	1,253	184	1,911	-622	-148	34,785
	紙芝居	2,368	36	0	83	-57	-10	2,311
	小計	98,206	3,357	480	6,190	-2,316	37	95,890
ティーンズ資料		9,199	874	15	497	578	186	9,777
参考図書		30,401	359	33	32	-1,809	-2,169	28,592
郷土資料		87,462	97	771	8	883	23	88,345
視覚障がい用	点字	1,575	16	4	1	19	0	1,594
	録音図書	6,056	24	38	789	-734	-7	5,322
	小計	7,631	40	42	790	-715	-7	6,916
視聴覚資料	ビデオテープ	3,899	0	0	1	-1	0	3,898
	DVD	6,079	70	9	26	54	1	6,133
	CD	9,152	83	180	16	254	7	9,406
	CD-ROM	40	0	0	0	0	0	40
	AV他	0	0	0	0	0	0	0
	小計	19,170	153	189	43	307	8	19,477
中央図書館 合計		808,433	15,183	2,687	30,859	-12,557	432	795,876
児童読書活動支援		50,514	2,793	15	2,303	625	120	51,139
地域図書室		132,467	6,426	214	6,639	-174	-175	132,293

(3) 貸出状況

ア 貸出人数

(令和4年度実績)

月	中央図書館 開館日数	一般(団体、郵送貸出含む)	児童読書活動支援	児童	計	地域図書室	合計
4	26	22,448	43	5,030	27,521	11,197	38,718
5	28	24,258	154	5,048	29,460	11,294	40,754
6	25	22,572	99	4,963	27,634	11,767	39,401
7	27	24,775	84	7,055	31,914	12,870	44,784
8	26	23,599	42	6,788	30,429	12,361	42,790
9	26	23,605	124	5,281	29,010	11,802	40,812

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

10	27	24,179	132	5,236	29,547	11,507	41,054
11	26	22,027	126	4,717	26,870	11,162	38,032
12	24	20,779	121	4,646	25,546	10,588	36,134
1	19	20,235	104	4,363	24,702	10,386	35,088
2	24	21,629	3	4,607	26,239	11,232	37,471
3	26	21,937	0	4,859	26,796	12,155	38,951
計	304	272,043	1,032	62,593	335,668	138,321	473,989

イ 貸出冊数

(令和4年度実績)

月	入館者数	一般書	児童書 (児童読書活動支援含む)	計	地域図書室	合計
4	66,435	79,472	44,406	123,878	42,063	165,941
5	76,584	84,406	54,184	138,590	42,358	180,948
6	72,760	75,838	50,072	125,910	43,694	169,604
7	88,625	83,589	61,238	144,827	48,535	193,362
8	86,089	80,523	53,591	134,114	46,853	180,967
9	74,308	79,849	53,674	133,523	43,229	176,752
10	77,378	81,569	55,646	137,215	42,342	179,557
11	72,936	72,506	50,460	122,966	41,982	164,948
12	61,134	72,891	48,939	121,830	41,022	162,852
1	61,968	70,796	43,210	114,006	39,672	153,678
2	70,511	73,228	38,406	111,634	41,943	153,577
3	67,718	73,751	38,131	111,882	46,507	158,389
計	876,446	928,418	591,957	1,520,375	520,200	2,040,575

※ 団体貸出を含む。

(4) 地域図書室

南部・大平・東部・岩津・矢作・六ツ美・中央の各市民センター、岡崎げんき館

(5) 物流システムによる図書館、地域図書室の連携

図書館及び地域図書室で借りた図書資料は、いずれの施設窓口でも返却できる。また、図書資料の貸出予約をする際には、利用者は受け取る施設窓口を指定することができる。

(6) 児童読書活動支援

児童の読書活動の推進を目的とし、朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援するため、市内小学校等を対象に平成25年度から実施している。

学校規模に応じて資料数を定め、2か月に1回の定期配送を行う。また、各校の申込みに応じて教科・単元の資料を配送している。

(7) 額田図書館

額田図書館は、額田町立図書館として昭和 52 年 3 月に開館した。平成 7 年 3 月に増築し、開架室、閲覧室、子ども図書室、新聞・雑誌コーナー等を備えた施設となった。平成 18 年 1 月、岡崎市と額田町の合併により岡崎市立額田図書館に名称変更し、同年 10 月には中央図書館とシステム統合をした。平成 27 年 10 月から本館に続いてブックスタートの定期開催を行う。平成 30 年 2 月、額田支所周辺施設整備基本計画によって、額田支所や額田会館などの機能を集約した複合施設である額田センター（こもれびかん）内へ移設するにともない、施設規模は縮小となった。書架や閲覧机は地元産材の木材を使用している。地域に根ざした図書館サービスの提供を行っている。

ア 施設概要

所在地	岡崎市樫山町字山ノ神 21 番地 1（岡崎市額田センター内）
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建・一部木造平屋建
延床面積	216 m ² （建物全体 1,976 m ² ）
開館時間	午前 9 時～午後 7 時
休館日	月曜日（祝日に当たる場合は開館し、翌日以後の最初の休日でない日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
施設内容	一般図書、児童図書、地域資料、参考図書、新聞雑誌コーナー、おはなしコーナー、閲覧席（一般 15 席、児童 6 席）

イ 蔵書状況

（令和 5 年 3 月 31 日現在）

区分		令和 3 年 度末合計	受入		除籍	増減	更正	令和 4 年 度末合計
			購入	寄贈等				
一般書	一般書	13,890	760	47	242	440	-125	14,330
	大活字	103	0	0	0	0	0	103
	洋書	0	0	0	0	0	0	0
	小計	13,993	760	47	242	440	-125	14,433
児童書	児童書	4,324	170	10	79	26	-75	4,350
	絵本	4,091	173	4	29	149	1	4,240
	紙芝居	533	7	0	1	6	0	539
	小計	8,948	350	14	109	181	-74	9,129
ティーンズ資料		0	0	0	0	0	0	0
参考図書		217	0	2	0	2	0	219
郷土資料		853	0	52	0	53	1	906
合計		24,011	1,110	115	351	676	-198	24,687

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

ウ 貸出状況

■ 貸出人数

(令和4年度実績)

月	開館日数	一般（団体貸出含む）	児童	計
4	26	738	179	917
5	26	709	172	881
6	26	711	153	864
7	27	827	274	1,101
8	26	770	277	1,047
9	26	731	162	893
10	26	748	172	920
11	26	759	137	896
12	24	722	176	898
1	24	715	148	863
2	24	762	140	902
3	27	814	185	999
計	308	9,006	2,175	11,181

■ 貸出冊数

(令和4年度実績)

月	一般書	児童書	計
4	2,213	2,052	4,265
5	2,160	1,751	3,911
6	2,087	1,889	3,976
7	2,244	2,766	5,010
8	2,214	2,479	4,693
9	2,100	1,973	4,073
10	2,046	2,105	4,151
11	2,022	1,938	3,960
12	2,003	1,970	3,973
1	1,945	1,919	3,864
2	1,991	1,984	3,975
3	2,233	2,137	4,370
計	25,258	24,963	50,221

(8) 図書館開催講座等

図書館では、館内で活動するボランティアの育成を図るとともに、市民の文化・教養を深める手助けをし、さらに読書意欲の向上を促すために各種講座等を開催している。

ア 中央図書館

(令和4年度実績)

名 称	内 容	日数	開催時期
古文書翻刻ボランティア	館内地域資料の古写本について、利用者の利便性向上を図るため翻刻を行う。	10	毎月第3月曜日 (4、5月中止)
ストーリーテリングにおいてよ！ボランティア養成講座	絵本を使わずおはなしを語るストーリーテリングについて、実践する上での基本的な事項について学ぶ。	3	5、6月
ブックスタートボランティア養成講座	ブックスタートボランティアとして活動するための基本的な事項について学ぶ。	3	6、7月
読み聞かせボランティア養成講座	中央図書館子ども図書室でのおはなし会を行う上で必要となる読み聞かせの基本的な事項について学ぶ。	5	10、11月
おはなし会	ボランティアにより絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。年3回(春・夏・冬)テーマのおはなし会実施 午前10時50分から11時10分／ 11時20分から11時40分(火・木曜日) 午後2時30分から3時(土曜日)	112	毎週火曜日 木曜日 土曜日 (6月中旬から再開)
おはなしと紙しばいの会	図書館スタッフによるおはなし会。年3回(春・夏・冬)テーマのおはなし会実施 午後4時から4時30分	79	毎週月曜日 木曜日 (6月中旬から再開)
ストーリーテリングにおいてよ！	絵本を使わずにお話語る、ボランティアによるおはなし会。(夏・冬)テーマのおはなし会実施 午後3時30分から4時	2	8、12月 第4土曜日
ずかんをつかってやさいのたねをしらべてみよう	特別展示『守ろう！生物多様性』に関連した、図鑑を使ったワークショップ	1	6月
子ども図書館司書体験	図書館司書となって、図書館の仕事を体験する。	5	4、7、8月
夏休み読書・自由研究相談	読書や自由研究調べの相談に応じる。	4	7、8月
第20回岡崎図書館まつり	おはなし会や講演会、マンドリンコンサートなど、様々なイベントを行う。	3	7月

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

正しく知ろう！乳がんのこと	特別展示『ピンクリボン運動』連携講座で、市民病院の乳腺外科医師、診療放射線技師による講話	1	10月
プロジェクターを使ったおはなし会	子ども図書室を暗くしてスクリーンに絵本を大きく映して読み聞かせをする。	2	7、12月
手話と声のクリスマスのおはなし会	クリスマスをテーマとした、ネイティブ・サイナー（手話を母語とするかた）と職員による手話と声のおはなし会	1	12月
ティーンズビブリオバトル in りぶら	高校生のバトラーたちが紹介する図書の中から観客が読んでみたいと思った一冊を選び、「チャンプ本」を決める書評合戦	1	12月
岡崎むかし館 季節のおはなし会	図書館職員によるおはなし会。岡崎むかし館でいつもと違う雰囲気の中で季節のイベントにあわせた読み聞かせをする。	5	7、10、12、 1、2月 (5月中止)
法律セミナー 「トラブルに備えよう！交通事故と法律のはなし」	弁護士による法律解説と有料データベース「D1-Law.com」の活用セミナー	1	10月
講演会「桶狭間合戦前後の松平氏と今川氏-古文書からみた両者の立場-」	静岡市文化財保護審議会委員及び大河ドラマ「どうする家康」古文書考証を担当される 大石泰史氏による講演会	1	1月

イ 額田図書館

(令和4年度実績)

名 称	内 容	日数	開催時期
おはなし会	絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。 時間は午前10時30分から11時（毎月第2土曜日、第3木曜日）	19	毎月第2土曜日 第3木曜 （6月中旬から再開）

5 美術館

岡崎市美術館は、美術文化の振興を目的として昭和47年8月に開館した。以来、市民の美術・文化活動の発表・鑑賞の場として、年間約120の美術団体等に利用されている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市明大寺町字茶園11番地3（電話 51-4280）		
構造	本館：鉄筋コンクリート造2階建（延床面積 1,802.53㎡） 東館：鉄筋コンクリート造3階建（延床面積 2,580.29㎡）		
施設内容	本館	1階	展示室2・収蔵庫・事務室・ロビー・常設展示室・荷解室等
		2階	展示室2・収蔵庫2・ロビー・荷解室等
	東館	1階	展示室2・ロビー・デッサンスペース・休憩スペース・控室等
		2階	岡崎アートヴィレッジ（アトライブラリー・ラーニングスペース A.B・岡崎アーティストアーカイブ等）
		3階	資料室等
開館時間	午前10時～午後6時 （入場時間は午後5時30分まで）		
休館日	月曜日、年末年始（12月28日～1月3日）		

(2) 令和4年度展示室利用状況

	利用状況							計	展示 延日数 (日)	入場者 延人数 (人)	各催事 1日平均 入場者数 (人)
	市 等 主 催	総 合	絵 画	書 道	写 真	工 芸	そ の 他				
令和4年4月	0	2	4	0	1	1	1	9	47.0	6,789	144.4
5月	1	0	1	1	2	1	1	7	40.0	6,248	156.2
6月	0	4	5	1	2	1	2	15	79.0	7,161	90.6
7月	0	0	3	3	1	0	0	7	33.0	4,100	124.2
8月	0	1	1	2	0	0	0	4	20.0	3,811	190.6
9月	1	2	4	0	3	0	2	12	65.0	6,256	96.2
10月	1	0	4	1	1	0	1	8	45.5	8,416	185.0
11月	0	0	9	3	2	1	0	15	78.0	8,462	108.5
12月	0	4	0	0	4	0	0	8	40.0	3,606	90.2
令和5年1月	1	1	1	0	3	0	0	6	26.5	9,530	359.6
2月	0	2	2	2	0	2	0	8	41.5	4,799	115.6
3月	0	3	4	4	2	2	1	16	76.5	7,840	102.5
計	4	19	38	17	21	8	8	115	592.0	77,018	130.1

6 美術博物館

岡崎中央総合公園の一角に位置する美術博物館は、平成8年7月6日の開館以来、美術をはじめ歴史・民俗など幅広いテーマを視野に入れた展覧会を年間5本程度開催している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市高隆寺町字峠1番地 岡崎中央総合公園内（電話 28-5000）	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	6,468 m ²	
施設内容	地下1階	特別収蔵庫、収蔵庫1、収蔵庫2、くん蒸室、工作室、スタジオ、作業室
	1階	展示室、セミナールーム、学芸員室、会議室
	2階	レストラン、ミュージアムショップ
開館時間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）	
休館日	月曜日（祝日に該当する場合は、その翌日以降の最初の休日でない日） 年末年始（12月28日～1月3日）	

(3) 令和4年度展覧会

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均
「名取春仙 役者を描く」	4月9日～5月15日	32日	2,599人	81人
「北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック ーアール・デコのガラス モダン・エレガンスの美」	6月4日～8月28日	74日	10,289人	139人
合 計		106日	12,888人	122人

※ 8月29日以降は改修工事のため休館。

7 少年自然の家

少年が、自然の中での集団生活（宿泊を伴うものを含む）、集団活動等を通して、情操や社会性を豊かにするとともに心身を鍛錬し、健全な少年の育成を図ることを目的とする。

(1) 施設概要

所在地 岡崎市須淵町字屋名平 44 番地 1 （電話 47-2357）

施設 敷地面積 211,200.26 m²

名 称	構 造 等	延床面積	収容人数
管 理 等	鉄筋コンクリート造 2 階建	990 m ²	
宿 泊 棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,087 m ²	208 人
体 育 館	鉄骨造 2 階建	649 m ²	250 人
創 作 棟	鉄筋コンクリート造木造平屋建	273 m ²	96 人
毛 布 小 屋	軽量鉄骨造 2 階建て	65 m ²	
天 体 観 測 所	鉄筋コンクリート造 2 階建	56 m ²	
丸 太 小 屋	8 棟	187 m ²	100 人
管 理 小 屋	1 棟	36 m ²	10 人
炊 事 場	3 か所	83 m ²	
そ の 他 建 物	倉庫、トイレ等	226 m ²	
キ ャ ン プ 場	2 か所		250 人
炊 飯 場	3 か所	83 m ²	
雨天ファイヤー場	1 か所		60 人
落 葉 ス キ ー 場	2 コース		
遊 戯 施 設	10 基		
カ ヌ ー 場	15 艇		
そ の 他	オリエンテーリングコース（28 ポイント）、ハイキングコース、広場、旗掲揚塔、火文字塔、遊歩道、避雷針等		

(4) 宿泊施設利用状況

（令和 5 年 3 月 31 日現在）

	29 年度		30 年度		31 年度		2 年度		3 年度		4 年度	
	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数
小 学 校	47	12,034	47	11,970	47	12,099	39	3,394	48	4,249	47	7,819
中 学 校	2	224	0	0	0	0	1	31	3	93	2	226
少年団体	23	1,382	16	1,091	20	1,222	10	365	9	427	12	497
一 般	13	631	23	1,226	19	1,223	15	363	19	697	36	2,057
合 計	85	14,271	86	14,287	86	14,544	65	4,153	79	5,466	97	10,599

8 少年愛護センター

青少年の健全育成の推進と非行防止のための活動を行う。

※令和4年10月から少年愛護部門として岡崎市子ども・若者総合相談センターと併合

(1) 施設概要

岡崎市十王町二丁目9番地（福社会館内） 電話 64-6665

※令和4年9月まで 岡崎市上六名三丁目3番地4（六名会館内）

(2) 指導員 計 194 人 (令和5年4月現在)

小学校教員	48人	中学校教員	21人	高等学校等教員	18人
地域指導員	80人	警察少年係	10人	少年補導職員	7人
児童相談センター	1人	社会教育課職員	6人	子ども・若者総合相談センター職員	3人

(3) 街頭補導

街頭補導は、ぐ犯少年・不良行為少年の早期発見・指導をし、少年非行の早期防止を目的とする。また少年の愛護善導を行う。

ア センター補導 月～金：1日1回（午前または午後）

夜間補導（随時）、市内中心部・繁華街等巡回

イ 学区補導 月1回（午後）、20中学校区

各小中学校指導教員と地域指導員が集まり情報交換と併せて実施
(令和4年度結果)

		小学生	中学生	高校生	その他	有職	無職	合計
行 為	家出	0	0	0	0	0	0	0
	怠学・怠業	0	0	0	0	0	0	0
	喫煙	0	0	0	0	3	0	3
	飲酒	0	0	0	0	0	0	0
	はいかい	75	117	151	2	0	3	348
	危険行為	0	0	0	0	0	0	0
	不良交友	0	0	0	0	0	0	0
	その他	188	356	187	14	3	0	748
	刑罰法令に触れる行為	0	0	0	0	0	0	0
	合計	263	473	338	16	6	3	1,099

(4) 少年相談

少年非行や問題行動について、面談又は電話による相談業務を行う。

令和4年度実績

面接相談	28件	計 42件
電話相談	14件	

9 子ども・若者総合相談センター

子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う。

※令和4年10月に若者サポートセンターの機能を拡充、少年愛護部門を併合し設置。

(1) 施設概要

岡崎市十王町二丁目9番地（福祉会館内） 電話 64-6665

分室：岡崎市上六名三丁目3番地4（六名会館内）

(2) 相談員 計6人

(3) 主な取り組み

ア 一般相談

社会生活を営む上での困難を抱えている子ども・若者（39歳以下）に関する悩みについて、本人や家族から相談を受け、支援先となる窓口や制度を案内するなど解決策を提案する。

イ 専門相談

一般相談において継続的な相談が必要と認められた方に対し予約制で実施。豊富な知識や経験を有する相談員がカウンセリングを行い、支援計画を作成した上で、継続的に助言や指導を行う。

ウ アウトリーチ

センターへの来所が困難と認められた方に対し、相談員が自宅等へ訪問し相談に応じたり、関係機関等へ同行したりする。

エ 初期支援（居場所づくり）

社会に出ることを難しいと感じている若者への初期支援として、生活習慣や社会生活の基本を身につけるためのセミナーを開催する。

【少年愛護部門】※令和4年9月まで少年愛護センター

街頭補導において、センター職員、地域指導員、小中高等学校等の教員などが市内中心部や各学区を巡回し、少年への声掛けや必要に応じて現場指導等を行う。また、センター職員が市内中学校の校内フリースクールへの訪問を行い、義務教育期間中からの早期対応を行う。

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

(令和4年度実績)

■ 相談の状況 ※令和4年4月～9月の若者サポートセンター分を含む

延べ相談件数 (件)	実人数 (人)	うち新規相談 (人)
2,445	710	179

■ 新規相談の内訳

【性別】

男性	女性	その他
114	63	2

【相談者】

本人	親族	関係機関 等
56	116	7

【相談内容】(重複項目あり)

就学 不登校	就労	ひき こもり	家庭 環境	暴力 DV	L G B T	依存症	その他
64	88	46	31	9	1	4	2

第3 文化財

1 文化財保護

市内に点在する歴史上・学術上の価値の高い文化財の適切な保護・保存と文化財の持つ意義と大切さを啓発するとともに、常に十分な調査研究を行う。

(1) 文化財保護の主要事務・事業

- ア 文化財の保存・管理の指導助言
- イ 文化財の調査・研究及び指定

(2) 文化財移動教室

郷土の歴史や文化財を、広く市民に理解していただくため、バスを利用した移動教室を開催している。建造物や史跡などの分野ごとにコースを設け、岡崎市文化財保護審議会委員が講師となり、市内を中心とした文化財を巡る。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

(3) 親子文化財教室

小中学生の親子を対象に、毎年夏休みに郷土の歴史や文化財を学ぶ機会を設けている。近年は、考古学をテーマに岡崎城跡や古代の遺跡・古墳を巡るコースを開催している。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

(4) 岡崎ゲンジボタル増殖事業

国指定天然記念物「岡崎ゲンジボタル発生地」、及び岡崎市指定天然記念物「ゲンジボタル」についてその発生地である矢作川水系、乙川、山綱川、鉢地川、男川等の河川敷の環境浄化活動並びにホタルの保護・増殖事業を、地元の岡崎ゲンジボタル河合保存会（河合中学校生徒協力）と生田蛸保存会（美合小学校児童協力）、鳥川ホタル保存会に委託して実施

Ⅲ 生涯学習

第 3 文化財

(5) 指定文化財及び登録文化財

ア 指定文化財数

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

種 別	国 指 定	県 指 定	市 指 定	計
建 造 物	13	2	16	31
絵 画	6	8	57	71
彫 刻	3	10	47	60
工 芸 品	3	11	40	54
書 跡・典 籍・古 文 書	1	1	21	23
考 古 資 料	0	2	2	4
歴 史 資 料	0	0	4	4
無 形 民 俗 文 化 財	0	2	6	8
有 形 民 俗 文 化 財	0	2	7	9
史 跡	3	3	24	30
天 然 記 念 物	1	6	27	34
計	30	47	251	328

イ 国登録文化財数

建造物 20 件

ウ 新たに指定・登録された文化財

指 定	名 称	所 有 者
県指定有形文化財（彫刻） 令和 4 年 7 月 29 日指定	木造東照大権現（徳川家康）坐像	宗教法人大樹寺



木造東照大権現（徳川家康）坐像（写真：愛知県提供）

(6) 指定文化財保存事業に対する補助

- ア 国指定文化財滝山東照宮本殿ほか2棟保存修理事業
- イ 国指定文化財絹本墨画淡彩如意輪観音図保存修理事業
- ウ 国指定文化財木造観音菩薩・梵天・帝釈天立像保存活用施設整備事業
- エ 県指定文化財絹本著色山越阿弥陀如来像保存修理事業
- オ 市指定文化財須賀神社祭礼山車及び祭りばやし太鼓保存修理事業
- カ 無形民俗文化財保存育成活動事業
- キ 国指定文化財防災設備等保守点検事業
- ク 県指定文化財瀧山寺鬼祭り伝承・活用等（映像記録作成）事業

(7) 文化財看板の設置・修繕

- ア 西大平藩陣屋跡木看板の修繕
- イ 文化財説明看板（大樹寺、松平八代墓、滝山東照宮、伊賀八幡宮、日吉山王社、信光明寺）の修繕

(8) 旧本多忠次邸管理運営事業

施設の管理運営・展示

(9) 六ツ美歴史民俗資料室管理運営事業

資料室の管理運営・展示

(10) 埋蔵文化財調査事業

市内遺跡の発掘・試掘調査

(11) 岡崎城跡整備業務

- ア 岡崎城跡整備委員会の開催
- イ 南切通し発掘調査・復旧工事
- ウ 石垣測量
- エ 石垣変位計測

(12) 文化財保存活用地域計画の推進

文化庁長官に認定された岡崎市文化財保存活用地域計画を推進

(13) 旧額田郡公会堂及物産陳列所の保存・修理

「旧額田郡公会堂及物産陳列所保存活用計画」に基づき、保存修理に向けて事業の調整、文化庁との協議等を実施

(14) 旧本宿村役場の復原・活用

東部地域の歴史文化を紹介する資料館として開館

2 旧本多忠次邸

旧本多忠次邸は、旧岡崎藩主本多家（本多忠勝系）の末裔にあたる本多忠次（1896-1999）が昭和7年（1932）に東京・世田谷に建てた住宅と壁泉の一部を移築復原したものである。2階建ての建物は、屋根にフランス瓦を葺き、1階の西側には車寄せをつけた玄関、南側中央には三連アーチのアーケード・テラス、東端には2階までの半円形のボウ・ウインドウを配置している。内部は日本間と洋間を共存させた住宅形式となっており、当時流行したステンドグラスやモザイクタイルの装飾、照明器具や家具などをオリジナルのままに設置している。また、前庭では、日本のスパニッシュ建築様式には欠かせないといわれる壁泉を見ることができる。

岡崎市では、建築や意匠等に価値がある旧本多忠次邸を保存し、その活用を通じて、文化財の保護についての関心や理解を深めることを目的として一般に公開している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市欠町字足延 40 番地 1（電話 23-5015）
利用時間	午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 展示替期間
用途	建物展示、館内での常設・企画・季節展示や講座の開催等、有料貸ギャラリー
入場料	通常無料、企画展示は有料の場合あり
開館日数	307 日
入場者数	10,587 人



(2) 令和4年度開催の展示

・企画展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
光の中のラリックーVerre et Floreー	6 月 29 日～8 月 21 日	47 日	2,319 人
あいちの“折り紙”たてもの展 in 旧本多忠次邸	10 月 18 日～10 月 23 日	6 日	241 人

・季節展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
旧本多忠次邸のひなまつり「春～桃の節句を祝う」 with 岡崎ガラス工房葵	2 月 7 日～3 月 12 日	30 日	2,147 人

・貸ギャラリー展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
石けん彫刻の世界 田村知美個展	6 月 25 日～6 月 26 日	2 日	169 人
街なかアーツ展覧会	2 月 28 日～3 月 19 日	18 日	1,092 人
Studio Tomo and Chihiro 生け花と絵画展「花の便り」	3 月 25 日～3 月 26 日	2 日	38 人

(3) 令和 4 年度開催の講座

開催日	講座名	講師	参加人数
10 月 15 日、23 日	ワークショップ「ペーパークラフトで旧本 多忠次邸をつくろう」と建物見学ツアー	笥清澄、村瀬 良太	26 人

その他、商工労政課主催による地元高校生及び専門学校生が制作した映像作品（プロジェクトマップ）発表会の会場として協力することで、歴史的建造物の活用を図った。

第4 社会体育

1 体育振興

(1) スポーツ推進委員

ア 人数 119 人

イ 選出母体

各小学校区（原則人口 9,000 人以上 3 名、人口 9,000 人未満 2 名）

ウ スポーツ推進委員連絡協議会事業

（令和 4 年度実績）

期 日	事 業 内 容	会 場	参 考
4 月 6 日	総 会	岡崎市福祉会館	全員
4 月 8 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
6 月 19 日	全体研修会	花園体育センター	全員
6 月 20 日	学区交歓ファミリーバドミントン大会審判講習会及び監督会議	岡崎市体育館	理事・事業部・研修部
6 月 30 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
7 月 3 日	学区交歓ファミリーバドミントン大会	岡崎市体育館	理事・事業部
7 月 29 日	障がい者スポーツ研修会（座学）	岡崎市福祉会館	全員
8 月 6 日	障がい者スポーツ研修会（実技）	岡崎中央総合公園	全員
9 月 3 日	愛知県スポーツ推進委員研修会	稲永スポーツセンター	希望者
10 月 5 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
10 月 8 日	岡崎スポーツフェスティバル 2022（DAY1）	岡崎中央総合公園	全員
10 月 9 日	岡崎スポーツフェスティバル 2022（DAY2）	龍北総合運動場	
10 月 16 日	中央第二ブロック研修会	連尺小学校	担当理事・研修部
10 月 29 日	西三河地区スポーツ推進委員実技研修会	高浜市地域交流施設	希望者
11 月 13 日	常磐ブロック研修会	常磐東小学校	担当理事・研修部
11 月 24 日	学区交歓ソフトミニバレーボール大会監督会議	岡崎市福祉会館	理事・事業部
11 月 27 日	おかざきマラソン	岡崎中央総合公園及び周辺道路	
11 月 28 日	学区交歓ソフトミニバレーボール大会審判講習会	岡崎市体育館	理事・事業部
12 月 4 日	学区交歓ソフトミニバレーボール大会	岡崎中央総合公園	理事・事業部
12 月 13 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
1 月 15 日	岡崎市民駅伝競走大会	市内一円	
2 月 3 日	東海四県スポーツ推進委員研究大会	中総武道館	希望者
2 月 25 日	岡崎市スポーツ推進委員研修会	岡崎市体育館	全員
3 月 7 日	理事会	岡崎市役所分館	理事

(2) スポーツ大会等開催事業

期日	行 事 名	会 場	参加者数
4 月	第 59 回岡崎市民春季総合ソフトボール大会	岡崎中央総合公園 運動広場他	1,528
	第 56 回岡崎市民軟式野球選抜選手オールスター大会	岡崎市民球場	120
	令和 4 年度春季岡崎市民射撃大会	藤川射撃場	23
	第 51 回岡崎市アーチェリー大会	岡崎中央総合公園 アーチェリー場	43
	令和 4 年度岡崎市民テニス大会	岡崎中央総合公園テニスコート	486
	第 50 回岡崎市民ボウリング大会	サンボウル・グランドボウル	63
	第 24 回岡崎市民グラウンド・ゴルフ大会	岡崎中央総合公園 多目的広場	394
	第 68 回岡崎市民総合バレーボール大会（高校・一般）	岡崎市体育館他	216
	第 52 回グライダー市民体験飛行の会	グライダー練習場	14
	第 59 回岡崎市民弓道大会（近所の部）	岡崎中央総合公園 弓道場	216
5 月	第 20 回岡崎市民オリエンテーリング大会	岡崎中央総合公園第 1 錬成道場 S・G	130
	第 68 回岡崎市民総合バレーボール大会ソフトバレーの部	岡崎中央総合公園 体育館	120
	令和 4 年度春の市民ラグビー祭り	岡崎中央総合公園 多目的広場	350
	第 39 回岡崎市民ゲートボール大会	六名公園運動場	104
6 月	第 49 回岡崎馬術大会	羽根乗馬場	12
	第 57 回岡崎市民サッカー大会（小学生～一般）	龍北総合運動場 サッカー場他	315
7 月	令和 4 年度夏季岡崎市民総合卓球大会	岡崎市体育館・岡崎中央総合公園武道館	668
8 月	第 20 回 Let's インディアカ大会	岡崎中央総合公園 武道館	50
	第 43 回岡崎市民バスケットボール選手権大会	岡崎中央総合公園 体育館	279
9 月	第 54 回岡崎市民陸上競技選手権大会	龍北総合運動場 陸上競技場	607
	第 75 回岡崎市民水泳大会	愛産大三河高等学校 室内プール	140
	第 17 回岡崎市サイクリング大会	おかざき世界子ども美術博物館 S・G	121
	第 7 回岡崎市民マレットゴルフ大会	豊田市柳川瀬公園マレットゴルフ場	56
	第 42 回岡崎市小中学生すもう選手権大会	岡崎中央総合公園 相撲場	34
	第 63 回岡崎市総合剣道大会	岡崎中央総合公園 武道館	308
	令和 4 年度少林寺拳法岡崎大会	六ツ美体育館	110
10 月	第 52 回岡崎市民バドミントン選手権大会ダブルスの部	岡崎市体育館	126
	第 59 回岡崎市総合ソフトテニス大会	岡崎中央総合公園 テニスコート	254
	第 38 回岡崎市総合ハンドボール選手権大会	岡崎市体育館	378
	第 20 回健康ウオーク 21 岡崎大会	吹矢橋公園スタート・ゴール	95
	第 57 回岡崎市空手道大会	岡崎中央総合公園 武道館	192
	第 51 回岡崎市カヌー大会	カヌー練習場	43
	第 2 回岡崎ミニテニス市民交歓会	岡崎市体育館	71
11 月	第 107 回岡崎市ママさんバレーボール大会	岡崎市体育館	380
12 月	第 42 回岡崎市民柔道大会	岡崎中央総合公園 第 1・2 錬成道場	148
	第 5 回岡崎市民スポーツウェルネス吹矢大会	岡崎中央総合公園 武道館	76
	第 40 回岡崎市居合道大会	岡崎中央総合公園 第 1 錬成道場	54
	第 24 回岡崎市民綱引き大会	岡崎市体育館	250
	第 47 回岡崎なぎなた選手権大会	岡崎中央総合公園 第 1 錬成道場	49
	第 38 回合気道演武大会	岡崎中央総合公園 第 2 錬成道場	82
2 月	第 6 回岡崎市フルコンタクト空手道選手権大会	岡崎中央総合公園 第 1・2 錬成道場	67
	第 63 回岡崎市民スキー大会	志賀高原一ノ瀬ダイヤモンドスキー場	16
	青少年育成ボクシング講習会	乙川河川敷右岸特設リング	中止
合 計			8,788

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(4) 学校体育施設スポーツ開放事業

ア 学校体育施設利用状況

(令和4年度)

開放時間数	学 校 名	備 考
420 時間	梅園根石男川美合緑丘 羽根岡崎六名三島竜美丘 連尺広幡井田愛宕福岡 竜谷藤川山常磐本宿生平 秦梨常磐東磐恵田奥殿 細川岩津大樹寺大門矢作東 矢作北矢作西南矢作南六美中部六美北部 六美南部城西南上地小豆坂北野 六美西部豊富夏山宮崎形埜 下山	小学校 46 校
	甲山美川南竜海葵 城北福岡東海常磐岩津 矢作六ツ美矢作北新香山 北六美北額田翔南	中学校 19 校
300 時間	河合	中学校 1 校
	常磐南	小学校 1 校
45 時間	岡崎 岡崎北 岡崎西	県立高校 3 校
	岡崎盲 岡崎聾	県立学校 2 校

イ 学校運動場（夜間照明設備）

(令和4年度)

学 校 名	開設年月日	内 容
連尺小学校	(照明 S 55. 8. 17)	7,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 204Lx
大樹寺小学校	H14. 4. 1 (移設)	3,500 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 373Lx
矢作北中学校	(照明 S 59. 4. 1)	6,200 m ² ◎軟式野球 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 60 灯平均 555Lx
根石小学校	(照明 S 59. 7. 25)	4,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 330Lx
竜美丘小学校	(照明 S 59. 7. 26)	4,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 281Lx
城南小学校	(照明 S 59. 7. 27)	4,700 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 291Lx
梅園小学校	(照明 S 59. 7. 29)	4,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 348Lx
羽根小学校	(照明 S 60. 4. 1)	4,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 344Lx
大門小学校	(照明 S 60. 8. 6)	6,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 363Lx
小豆坂小学校	(照明 S 60. 8. 8)	6,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 293Lx
岡崎小学校	(照明 S 60. 8. 9)	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 276Lx
上地小学校	(照明 S 61. 9. 27)	5,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 307Lx
緑丘小学校	(照明 S 61. 9. 28)	5,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 200Lx
井田小学校	(照明 S 62. 9. 4)	5,300 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 218Lx
細川小学校	(照明 H 1. 4. 1)	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 200Lx
本宿小学校	(照明 H 2. 4. 14)	4,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 319Lx
三島小学校	(照明 H 2. 10. 7)	5,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 147Lx
六ツ美中部小学校	(照明 H 3. 9. 29)	5,130 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 171Lx
男川小学校	(照明 H 4. 9. 26)	5,454 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 177Lx
豊富小学校	(照明 S 53. 3. 29)	7,035 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 48 灯平均 402Lx

2 公益財団法人岡崎市スポーツ協会

(1) スポーツ協会加盟団体

(令和5年3月31日現在)

団 体 名	人数	団 体 名	人数
岡崎弓道会	115	岡崎飛行クラブ	31
岡崎市サイクリング協会	38	岡崎市居合道連盟	30
岡崎水泳協会	51	岡崎市アーチェリー協会	19
岡崎市相撲連盟	31	岡崎合気道連盟	100
岡崎卓球協会	1,093	岡崎バドミントン協会	659
岡崎ソフトテニス協会	383	岡崎なぎなた連盟	22
岡崎軟式野球協会	1,060	少林寺拳法岡崎連合会	119
岡崎バスケットボール協会	1,878	岡崎市ゲートボール協会	95
岡崎市バレーボール協会	1,198	岡崎市グラウンド・ゴルフ協会	338
岡崎陸上競技協会	412	岡崎市綱引連盟	106
岡崎市剣道連盟	935	岡崎市インディアカ協会	116
岡崎射撃協会	55	岡崎オリエンテーリング協会	28
岡崎市ボクシング協会	20	岡崎市ウォーキング協会	72
岡崎市柔道会	54	岡崎市マレットゴルフ協会	51
岡崎乗馬会	11	岡崎市フルコンタクト空手道連盟	227
岡崎市スキー協会	95	岡崎市スポーツウエルネス吹矢協会	93
岡崎ソフトボール協会	1,038	岡崎ミニテニス協会	62
岡崎ハンドボール協会	465	準加盟スポーツ団体	
岡崎テニス協会	766	岡崎婦人スポーツ教室	329
岡崎市空手道連盟	420	六名公園ラジオ体操会	30
岡崎サッカー協会	790	混合ソフトミニバレーボール愛好会	240
岡崎市カヌー協会	71	岡崎アクションスポーツアソシエーション (O.A.S.A)	11
岡崎市ボウリング連盟	70	岡崎パドルテニスクラブ	19
岡崎ラグビーフットボール協会	272	合 計 (46 団体)	14,118

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(2) スポーツ教室開設状況

(令和4年度)

種 目	対 象	参加人員 (延人数)		期 間	回 数	活動時間
相撲	小・中学生	13(416)	人	4～11月	32回	150分
ソフトテニス	一般女性	63(1827)	人	4～11月	27回	240分
〃	シニア(50歳以上)	79(4503)	人	4～11月	59回	120分
〃	小学生	44(880)	人	4～11月	20回	120分
〃	中学生	125(3000)	人	4～11月	24回	120分
陸上	小学生	126(2268)	人	4～3月	17回	90分
テニス	一般	317(22190)	人	4～3月	70回	90分
なぎなた	一般	30(2970)	人	4～3月	56回	120分
ハンドボール	小中学生	70(1680)	人	4～3月	25回	180分
サッカー	小学生	120(5280)	人	4～3月	41回	120分
柔道	小学生～一般	30(1470)	人	4～3月	41回	120分
〃	初心者(園児～一般)	20(40)	人	7月	1回	180分
インディアカ	一般	13(65)	人	10～11月	5回	105分
スキー	小4～中3	1月(31) 3月(18)	人	12～3月	11回	65分
バレーボール	一般女性	100(3300)	人	4～3月	26回	180分
ウォーキング	一般	67(1273)	人	3～11月	20回	180分
バドミントン	小中学生	40(800)	人	4～12月	20回	120分
〃	一般	110(4400)	人	4～12月	40回	120分
婦人スポーツ(バスケ・卓球・エアロダンス・水泳・テニス・ボウリング・ゴルフ)	家庭婦人	334(10020)	人	4～2月	30回	60～120分
オリエンテーリング	一般	15	人	6月	1回	180分
弓道	一般	30(450)	人	6～7月	15回	120分
合計(21教室)		1,795人(66,896人)				

(2) スポーツ少年団活動状況 (令和5年3月31日現在)

区 分	対 象	団員数	指導者数	うち有資格者数
岡崎こども体育教室	小1～小6	72	11	6
岡崎子供バスケットボール	小4～小6	71	6	2
岡崎乗馬	小3～高2	16	2	2
剣心会	小1～中3	14	2	2
岡崎なぎなた	小1～高3	11	4	4
少年空手道市体育館	年長～高3	34	4	3
岡崎子ども女子体操	年少～小4女	24	2	2
岡崎子供バレーボール教室	小1～小6	32	7	5
岡崎ラグビー	年少～中3	35	3	2
岡崎市ソフトボール	小1～小6	18	5	3
福岡ラグビーフットボール	年少～小6	22	4	4
福岡サッカー	小4～小6	23	2	2
福岡剣道	小2～小6	6	3	3
福岡バレーボール	小3～小6女	17	3	3
福岡バスケットボール	小2～小6	65	5	3
福岡バドミントン	小3～小6	31	2	2
矢作バレーボール	小2～小6	54	10	9
岡崎西少年サッカー	年長～小6	120	15	2
岡崎ハッピー乗馬	年少～高2	6	2	2
岡崎ボウリング	小1～中3	12	4	3
生和会（空手道）	年少～高3	12	4	2
岡崎少年野球教室（軟式野球）	小1～小6	14	3	2
美川クラブ（軟式野球）	小1～小5	13	6	3
矢南アローズ（軟式野球）	小1～小5	20	3	2
矢作バンビーズ（軟式野球）	年長～小6	11	5	2
岡崎南少年野球クラブ（軟式野球）	小1～小6	56	6	6
六ッ美JVC（バレーボール）	小1～中3	11	7	6
六南クラブ（バレーボール）	小1～小6女	18	3	3
岡崎ジュニアバドミントンクラブ	年長～小3	52	4	3
額田アトムズ（軟式野球）	小3～小6	35	2	2
三河スターズ（軟式野球）	小1～小6	15	3	3
岡崎北バドミントンクラブ	小3～小6	13	2	2
上地クラブ（バレーボール）	小1～小6	17	5	2
岡崎市組討道	3歳～高3	164	11	11
岡崎竜の子JVC	小1～中3男	6	2	2
岡崎JVC	小1～小5女	18	6	4
常磐JVC	小学生女子	1	3	3
松涛館流空手道教室	年中～中3	22	4	2
少年空手道大樹寺	年長～中3	36	16	8
龍城会少年空手道六名城南	年長～中3	15	2	2
少年空手道矢作	小1～高3	5	2	2
花園こども空手教室	年少～高3	38	5	2
少年空手道六ッ美	年長～高3	22	2	2
美川バレーボール	小学生女子	16	4	2
Bondsクラブ	小3～小6	22	8	4
羽根バレーボールクラブ	小2～小6女	18	4	2
少年空手道美合	年長～中3	16	2	2
幼児体育教室	年少・年長	73	5	5
子ども体育トレーニング	年中・小3	114	1	1
LinkJVC	年中～小6	21	7	2
合 計（49団体）		1,577	233	158

Ⅲ 生涯學習
第4 社会体育

《 M E M O 》

IV 資料

第1 教育委員会関係

第2 学校関係

第3 体育施設

第1 教育委員会関係

1 歴代教育委員会委員

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
石 川 亮	S 27. 11. 1				地方教育委員会制度の改正により S 31. 9. 30 退任
足 立 一 平	S 27. 11. 1				〃
本 間 淳 治	S 27. 11. 1				〃
河 合 正 男	S 27. 11. 1				〃
浅 沼 か つ	S 27. 11. 1				〃
石 川 小一郎	S 31. 10. 1	S 33. 10. 1	S 37. 10. 1	S 41. 10. 1	S 45. 9. 30 退任
稲 垣 利 作	S 31. 10. 1				S 33. 9. 5 退任
服 部 貞 弘	S 31. 10. 1				S 35. 9. 30 退任
佐々木 静 江	S 31. 10. 1	S 32. 10. 1	S 36. 10. 1	S 40. 10. 1	S 44. 9. 30 退任
三ツ井 源四郎	S 33. 6. 23	S 34. 10. 1			S 38. 9. 30 退任
内 藤 潮 邦	S 35. 10. 1	S 39. 10. 1	S 43. 10. 1		S 47. 9. 30 退任
志 貴 彦 人	S 38. 10. 1	S 42. 10. 1			S 46. 9. 30 退任
永 屋 満	S 44. 10. 1	S 48. 10. 1			S 52. 9. 30 退任
内 田 克 治	S 45. 10. 1	S 49. 10. 1			S 53. 9. 30 退任
石 川 厳 夫	S 46. 10. 1	S 50. 10. 1			S 54. 9. 30 退任
松野尾 潮 音	S 47. 10. 1	S 51. 10. 1			S 55. 9. 30 退任
中 西 か づ	S 52. 10. 1				S 56. 9. 30 退任
稲 葉 浅 吉	S 53. 10. 1				S 57. 9. 30 退任
岩 瀬 敬 司	S 54. 10. 1				S 58. 9. 30 退任
天 野 一 太	S 55. 11. 17				S 59. 11. 16 退任
矢 田 香 子	S 56. 10. 1	S 60. 10. 1			H 1. 9. 30 退任
糟 谷 正 孝	S 57. 10. 1	S 61. 10. 1			H 2. 9. 30 退任
後 藤 朋 美	S 58. 10. 1				S 62. 9. 30 退任
深 田 三太夫	S 59. 11. 17	S 63. 11. 17			H 4. 11. 16 退任
前 川 修	S 62. 10. 1				H 3. 9. 30 退任
内 藤 美智子	H 1. 10. 1	H 5. 10. 1			H 9. 9. 30 退任
太 田 清 美	H 2. 10. 1	H 6. 10. 1			H 10. 9. 30 退任

Ⅳ 資 料
第1 教育委員会関係

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
築 瀬 正 邦	H 3 . 10 . 1				H 7 . 9 . 30 退任
杉 山 光	H 4 . 11 . 17	H 8 . 11 . 17			H12 . 11 . 16 退任
杉 浦 壽 康	H 7 . 10 . 1	H11 . 10 . 1			H15 . 9 . 30 退任
仲 井 さ ち	H 9 . 10 . 1	H13 . 10 . 1			H17 . 9 . 30 退任
鈴 木 聰 一	H10 . 10 . 1	H14 . 10 . 1			H18 . 9 . 30 退任
寺 部 暁	H12 . 11 . 17	H16 . 11 . 17			H20 . 11 . 16 退任
大 原 憲 一	H15 . 10 . 1	H19 . 10 . 1			H23 . 9 . 30 退任
畔 柳 美奈子	H17 . 10 . 1	H21 . 10 . 1			H25 . 9 . 30 退任
平 野 有 行	H18 . 10 . 1				H22 . 9 . 30 退任
櫻 井 敬 子	H20 . 11 . 17	H24 . 11 . 17			H28 . 11 . 16 退任
土 屋 武 志	H22 . 10 . 1	H26 . 10 . 1			H30 . 9 . 30 退任
小 出 義 信	H23 . 10 . 1	R 1 . 10 . 1			
福 應 謙 一	H25 . 10 . 1	H29 . 10 . 1			R 3 . 9 . 30 退任
岡 田 京 子	H28 . 11 . 17	R 2 . 11 . 17			
上 原 三 十 三	H30 . 10 . 1	R 4 . 10 . 1			
千 野 智 子	R 3 . 10 . 1				

※ 教育長を除く。

IV 資 料

第1 教育委員会関係

2 歴代教育委員会委員長

氏名	就任	退任	氏名	就任	退任
足 立 一 平	S 27. 11. 1	S 29. 10. 31	深 田 三 太 夫	S 61. 10. 1	S 62. 9. 30
本 間 淳 治	S 29. 11. 1	S 31. 9. 30	矢 田 香 子	S 62. 10. 1	S 63. 9. 30
稲 垣 利 作	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	糟 谷 正 孝	S 63. 10. 1	H 1. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 32. 10. 1	S 33. 9. 30	前 川 修	H 1. 10. 1	H 2. 9. 30
服 部 貞 弘	S 33. 10. 1	S 34. 9. 30	深 田 三 太 夫	H 2. 10. 1	H 3. 9. 30
三ツ井 源 四 郎	S 34. 10. 1	S 35. 9. 30	太 田 清 美	H 3. 10. 1	H 4. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 35. 10. 1	S 36. 9. 30	築 瀬 正 邦	H 4. 10. 1	H 5. 9. 30
内 藤 潮 邦	S 36. 10. 1	S 37. 9. 30	杉 山 光	H 5. 10. 1	H 6. 9. 30
三ツ井 源 四 郎	S 37. 10. 1	S 38. 9. 30	築 瀬 正 邦	H 6. 10. 1	H 7. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 38. 10. 1	S 39. 9. 30	太 田 清 美	H 7. 10. 1	H 8. 9. 30
内 藤 潮 邦	S 39. 10. 1	S 40. 9. 30	杉 山 光	H 8. 10. 1	H 8. 11. 16
石 川 小 一 郎	S 40. 10. 1	S 41. 9. 30	杉 山 光	H 8. 11. 17	H 9. 11. 16
志 貴 彦 人	S 41. 10. 1	S 42. 9. 30	杉 浦 壽 康	H 9. 11. 17	H 10. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 42. 10. 1	S 43. 9. 30	仲 井 さ ち	H 10. 11. 17	H 11. 11. 16
石 川 小 一 郎	S 43. 10. 1	S 44. 9. 30	杉 山 光	H 11. 11. 17	H 12. 11. 16
志 貴 彦 人	S 44. 10. 1	S 45. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 12. 11. 17	H 13. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 45. 10. 1	S 46. 9. 30	杉 浦 壽 康	H 13. 11. 17	H 14. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 46. 10. 1	S 47. 9. 30	仲 井 さ ち	H 14. 11. 17	H 15. 11. 16
内 田 克 治	S 47. 10. 1	S 48. 9. 30	寺 部 暁	H 15. 11. 17	H 16. 11. 16
石 川 巖 夫	S 48. 10. 1	S 49. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 16. 11. 17	H 17. 11. 16
松野尾 潮 音	S 49. 10. 1	S 50. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 17. 11. 17	H 18. 9. 30
内 田 克 治	S 50. 10. 1	S 51. 9. 30	大 原 憲 一	H 18. 10. 5	H 19. 9. 30
石 川 巖 夫	S 51. 10. 1	S 52. 9. 30	寺 部 暁	H 19. 10. 1	H 20. 9. 30
松野尾 潮 音	S 52. 10. 1	S 53. 9. 30	畔 柳 美 奈 子	H 20. 10. 1	H 21. 9. 30
石 川 巖 夫	S 53. 10. 1	S 54. 9. 30	平 野 有 行	H 21. 10. 1	H 22. 9. 30
稲 葉 浅 吉	S 54. 10. 1	S 55. 9. 30	大 原 憲 一	H 22. 10. 1	H 23. 9. 30
岩 瀬 敬 司	S 55. 10. 1	S 56. 9. 30	櫻 井 敬 子	H 23. 10. 3	H 24. 9. 30
稲 葉 浅 吉	S 56. 10. 1	S 57. 9. 30	畔 柳 美 奈 子	H 24. 10. 1	H 25. 9. 30
天 野 一 太	S 57. 10. 1	S 58. 9. 30	土 屋 武 志	H 25. 10. 1	H 26. 9. 30
矢 田 香 子	S 58. 10. 1	S 59. 9. 30	小 出 義 信	H 26. 10. 1	H 27. 9. 30
糟 谷 正 孝	S 59. 10. 1	S 60. 9. 30	福 應 謙 一	H 27. 10. 1	H 28. 3. 31
後 藤 朋 美	S 60. 10. 1	S 61. 9. 30			

※ 平成 28 年 4 月 1 日から新教育委員会制度への移行により委員長職を廃止

3 歴代教育長

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
桑 子 好 次	S 27. 11. 1				S 31. 9. 30 退任
羽 田 洋	S 31. 10. 1	S 35. 10. 1	S 39. 10. 1	S 43. 10. 1	S 47. 9. 30 退任
鈴 村 正 弘	S 47. 10. 1	S 51. 10. 1	S 55. 11. 21		S 55. 9. 30 退任 S 55. 11. 17 教育委員会委員就任 S 57. 3. 31 退任
横 井 滋	S 57. 4. 1	S 59. 11. 17			S 63. 3. 31 退任
伊 豫 田 壽 夫	S 63. 4. 9	S 63. 11. 17	H 4. 11. 17	H 8. 11. 17	S 63. 4. 1 教育委員会委員就任 H 12. 11. 16 退任
藤 井 孝 弘	H 12. 11. 17	H 16. 11. 17			H 12. 11. 17 教育委員会委員就任 H 19. 3. 31 退任
江 村 力	H 19. 4. 2	H 20. 11. 17			H 19. 4. 1 教育委員会委員就任 H 24. 11. 16 退任
高 橋 淳	H 24. 11. 17				H 24. 11. 17 教育委員会委員就任 H 28. 3. 31 退任
	H 28. 4. 1				H 28. 4. 1 新教育委員会制度移行 H 30. 3. 31 退任
安 藤 直 哉	H 30. 4. 1	H 31. 4. 1	R 4. 4. 1		

Ⅳ 資 料

第1 教育委員会関係

◀ M E M O ▶

第2 学校関係

1 市内学校数

区分	国立法人	県立	市立	私立	計
大 学	0	0	0	4	4
短期大学	0	0	0	3	3
高等学校	0	7	0	4	11
中 学 校	1	0	20	0	21
小 学 校	1	0	47	0	48
幼 稚 園	0	0	0	22	22
盲 学 校	0	1	0	0	1
聾 学 校	0	1	0	0	1
特別支援学校	1	2	0	0	3
計	3	11	67	34	115

2 進路別卒業生数の推移(中学校)

区分	総数	高等学校	専修学校 (高等課程)	専修学校 (一般課程)	就職 その他	高等学校 進学率
平成 17 年 3 月卒業	3,542	3,416	3	5	118	96.4%
〃 18 〃	3,590	3,477	18	13	82	96.9%
〃 19 〃	3,586	3,495	0	3	88	97.5%
〃 20 〃	3,632	3,538	2	1	91	97.4%
〃 21 〃	3,722	3,634	1	4	83	97.6%
〃 22 〃	3,672	3,578	0	1	93	97.4%
〃 23 〃	3,614	3,544	2	3	65	98.1%
〃 24 〃	3,652	3,566	0	3	83	97.6%
〃 25 〃	3,639	3,560	0	1	78	97.9%
〃 26 〃	3,766	3,705	0	2	59	98.4%
〃 27 〃	3,680	3,617	1	2	60	98.4%
〃 28 〃	3,753	3,707	2	3	41	98.8%
〃 29 〃	3,675	3,630	1	1	43	98.8%
〃 30 〃	3,698	3,655	3	2	38	98.8%
令和元 〃	3,548	3,500	4	4	40	98.9%
〃 2 〃	3,554	3,512	4	0	38	98.8%
〃 3 〃	3,508	3,446	11	1	50	98.2%
〃 4 〃	3,664	3,618	7	0	39	98.7%
〃 5 〃	3,607	3,565	10	2	30	98.8%

3 児童・生徒定期健康診断

区 分	性 別	男										
	小・中別	小 学 校							中 学 校			
	年 齢	6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計
受 検 者 数		1,809	1,834	1,858	1,901	1,892	1,971	11,265	1,809	1,834	1,858	1,901
裸 眼 視 力	1.0 未満 0.7 以上	173	180	152	155	148	143	951	194	170	178	542
	0.7 未満 0.3 以上	83	124	169	201	203	208	988	212	221	181	614
	0.3 未 満	13	29	55	61	71	62	291	96	119	126	341
眼	アレルギー性結膜炎	33	40	62	48	43	59	285	26	25	22	73
	結 膜 炎	16	12	21	8	31	19	107	28	48	30	106
	他 の 眼 疾 患	28	27	36	43	36	31	201	50	36	36	122
耳	難 聴 の 疑 い	42	31	20	4	26	6	129	25	20	26	71
	中 耳 炎	2	1	2	3	2	0	10	5	0	1	6
	他 の 耳 疾 患	36	138	29	36	102	27	368	108	19	16	143
鼻・ 咽 喉	副 鼻 腔 炎	6	14	2	1	12	4	39	2	2	2	6
	扁 桃 肥 大	3	6	2	2	4	1	18	0	1	0	1
	鼻炎（アレルギー含）	97	237	99	120	262	95	910	180	35	48	263
	他の鼻・咽喉疾患	0	12	1	4	6	3	26	1	0	1	2
歯	う 歯 の な い 者	1,252	1,114	1,029	987	1,116	1,319	6,817	1,492	1,399	1,343	4,234
	処 置 完 了 者	160	251	331	392	311	258	1,703	279	252	286	817
	未処置歯保有者	245	264	272	286	247	176	1,490	131	137	166	434
	他 の 口 腔 疾 患	51	72	84	122	139	130	598	151	117	12	389
尿	蛋 白 陽 性	1	3	3	3	3	11	24	32	53	56	141
	潜 血 陽 性	3	1	4	2	0	3	13	7	6	1	14
	糖 尿 病	1	1	0	2	3	4	11	2	3	5	10
そ の 他	肥 満 傾 向	14	23	32	59	53	47	228	43	43	44	130
	脊 柱 側 わ ん	9	10	7	12	16	22	76	37	41	43	121
	その他の脊柱異常	2	1	1	2	1	3	10	5	3	5	13
	四 肢 の 異 常	7	3	8	6	12	24	60	19	23	23	65
	アトピー性皮膚炎	21	21	25	36	32	26	161	56	61	51	168
	他 の 皮 膚 疾 患	34	27	23	26	33	21	164	20	18	22	60
	心 臓 疾 患	17	6	15	17	11	13	79	36	26	27	89
	ぜ ん 息	39	41	18	40	32	32	202	25	29	32	86
	腎 臓 疾 患	2	0	0	2	1	1	6	6	7	8	21
	糖 尿 病	1	0	0	1	0	1	3	0	3	1	4
	貧血（中1・中2の一部は血液検査実施）	1	0	2	2	2	4	11	74	11	0	85

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

(令和4年度)

女											性 別	区 分
小 学 校							中 学 校				小・中別	
6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計	年 齢	
1,820	1,673	1,744	1,816	1,864	1,834	10,751	1,760	1,766	1,698	5,224	受 検 者 数	
200	163	161	165	163	141	951	171	173	131	475	1.0 未満 0.7 以上	裸 眼 視 力
75	102	153	219	210	205	988	204	183	155	542	0.7 未満 0.3 以上	
14	36	43	68	68	70	291	93	86	62	241	0.3 未 満	
28	20	21	34	26	32	285	13	12	10	35	アレルギー性結膜炎	眼
6	12	15	12	8	8	107	13	20	16	49	結 膜 炎	
33	33	34	29	37	22	201	37	24	19	80	他 の 眼 疾 患	
45	32	18	3	25	3	129	15	16	15	46	難 聴 の 疑 い	耳
3	1	0	0	2	1	17	3	1	0	4	中 耳 炎	
47	125	18	18	89	12	309	65	12	10	87	他 の 耳 疾 患	
1	6	4	2	3	3	19	4	0	0	4	副 鼻 腔 炎	鼻・ 咽 喉
6	6	2	3	0	2	19	0	0	0	0	扁 桃 肥 大	
55	111	54	48	127	49	444	85	23	25	133	鼻炎（アレルギー含）	
1	12	1	1	4	1	20	3	0	1	4	他の鼻・咽喉疾患	歯
1,219	1,029	996	994	1,192	1,287	6,717	1,293	1,239	1,098	3,630	う 歯 の な い 者	
168	227	310	332	251	229	1,517	275	299	357	931	処 置 完 了 者	
257	245	223	252	202	123	1,302	142	126	148	416	未処置歯保有者	
61	62	56	90	92	71	432	97	89	67	253	他 の 口 腔 疾 患	尿
7	6	5	11	17	23	69	32	25	20	77	蛋 白 陽 性	
8	11	5	13	12	26	75	32	40	37	109	潜 血 陽 性	
0	3	2	2	2	2	11	1	6	3	10	糖 陽 性	そ の 他
11	13	24	36	35	34	153	13	29	13	55	肥 満 傾 向	
8	10	8	23	24	19	92	56	47	40	143	脊 柱 側 わ ん	
0	2	4	0	2	1	9	1	0	1	2	その他の脊柱異常	
9	3	4	5	6	6	33	10	10	10	30	四 肢 の 異 常	
24	28	30	26	30	28	166	41	58	53	152	アトピー性皮膚炎	
31	25	21	18	22	16	133	22	13	13	48	他 の 皮 膚 疾 患	
14	11	8	15	7	9	64	27	33	30	90	心 臓 疾 患	
32	24	14	27	16	11	124	23	20	15	58	ぜ ん 息	
0	1	2	0	2	1	6	0	3	3	6	腎 臓 疾 患	
0	0	3	3	0	1	7	1	3	2	6	糖 尿 病	
1	1	0	0	6	2	10	116	43	22	181	貧 血	

4 学校事故

(日本スポーツ振興センター統計情報) 令和4年度)

(1) 場所別事故発生件数

区分	学 校 内									学校外	合計
	校 舎 内					校 舎 外					
	教室	体育館	廊下	昇降口 階段	他	運動場 校庭	体育遊 戯施設	プール	他		
小学校	131	183	36	42	24	346	0	8	9	81	860
中学校	25	218	12	12	12	219	0	7	5	107	617
合計	156	401	48	54	36	565	0	15	14	188	1,477

(2) 場合別事故発生件数

区 分	各 教 科	特 別 活 動	学 校 行 事	課 外 指 導	休 憩 時 間	通 学 中	そ の 他	合 計
小学校	238	88	16	117	339	62	0	860
中学校	225	40	53	232	41	26	0	617
合 計	463	128	69	349	380	88	0	1,477

(3) 月所別事故報告件数

区 分	小 学 校			中 学 校		
	発 生	継 続	計	発 生	継 続	計
4 月	103	71	174	42	62	104
5 月	30	35	65	14	14	28
6 月	75	61	136	53	80	133
7 月	80	51	131	62	42	104
8 月	99	67	166	67	64	131
9 月	8	3	11	23	29	52
10 月	43	57	100	70	92	162
11 月	55	27	82	53	48	101
12 月	112	56	168	66	60	126
1 月	66	31	97	59	50	109
2 月	96	60	156	60	90	150
3 月	93	67	160	48	42	90
計	860	586	1446	617	673	1,290

(4) 傷害別事故発生件数

区 分		挫創	骨折	捻挫	挫傷・打撲	その他	計
小学校	件数	76	268	94	300	122	860
	割合	8.84%	31.16%	10.93%	34.88%	14.19%	100.00%
中学校	件数	25	245	93	168	86	617
	割合	4.05%	39.71%	15.07%	27.23%	13.94%	100.00%
合 計	件数	101	513	187	468	208	1,477
	割合	6.84%	34.73%	12.66%	31.69%	14.08%	100.00%

(5) 体育的活動時の種目別事故発生件数

区 分	水 泳	体 操	器 械 操	陸 上	ド ッ ジ ボ ー ル	サ ッ カ ー	テ ニ ス	ソ フ ト ボ ー ル	野 球	ハ ン ド ボ ー ル	バ レ ー ボ ー ル	バスケットボール	卓 球	柔 道	剣 道	他	合 計
小学校	7	0	76	42	12	26	1	23	0	0	22	58	0	0	0	17	317
中学校	7	0	40	79	5	40	17	12	18	22	43	95	3	12	6	22	439
合 計	14	0	116	121	17	66	18	35	18	22	65	153	3	12	6	39	756

(6) 学校医

区 分	人 員	区 分	人 員	区 分	人 員
内 科 医	51 人	耳 鼻 科 医	14 人	薬 剤 師	55 人
眼 科 医	16 人	歯 科 医	70 人		

5 学校保健

児童・生徒の平均体位

(令和4年度)

区 分	年 齢	性 別	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			岡 崎 市	(令 和 3 年 度) 愛 知 県	(令 和 3 年 度) 全 国	岡 崎 市	(令 和 3 年 度) 愛 知 県	(令 和 3 年 度) 全 国
小 学 校	6	男	116.3	116.8	116.7	21.3	21.5	21.7
		女	115.4	115.0	115.8	21.0	20.7	21.2
	7	男	122.5	122.2	122.6	24.2	24.2	24.5
		女	121.2	121.2	121.8	23.5	23.4	23.9
	8	男	127.8	128.0	128.3	27.2	27.3	27.7
		女	127.5	127.1	127.6	26.6	26.4	27.0
	9	男	133.6	133.3	133.8	30.7	30.8	31.3
		女	133.4	133.2	134.1	30.0	29.7	30.6
	10	男	138.7	139.3	139.3	34.5	34.8	35.1
		女	140.7	140.5	140.9	34.7	34.3	35.0
中 学 校	11	男	144.6	144.9	145.9	38.2	38.6	39.6
		女	146.5	146.9	147.3	39.3	38.8	39.8
	12	男	153.1	153.0	153.6	44.7	44.3	45.2
		女	151.6	151.7	152.1	43.0	43.9	44.4
	13	男	160.3	160.3	160.6	50.4	49.6	50.0
		女	154.5	154.5	155.0	47.0	47.0	47.6
	14	男	164.9	165.0	165.7	54.1	54.0	54.7
		女	156.2	156.3	156.5	49.8	49.5	50.0

6 学校施設

(1) 令和4年度主要工事（実績）

区分	学 校 名	内 容
小学校	岡崎小学校	校舎大規模改修
	緑丘小学校ほか1校	校舎増築
	男川小学校ほか5校	教室改修
	福岡小学校ほか2校	校舎等外部改修
	竜美丘小学校	校舎屋根改修
	大門小学校	便所改修
	六名小学校	給水・消火設備改修
	緑丘小学校ほか1校	公共下水道切替
	三島小学校ほか4校	防犯カメラ設置
	男川小学校ほか14校	屋内運動場便所洋便器設置
	根石小学校ほか8校	職員便所洋便器設置
中学校	南中学校ほか1校	校舎等外部改修
	矢作北中学校ほか1校	便所改修
	額田中学校	公共下水道切替
	河合中学校ほか1校	屋内運動場便所洋便器設置
	美川中学校ほか14校	校舎便所洋便器設置

(2) 令和5年度主要工事（予定）

区分	学 校 名	内 容
小学校	岡崎小学校ほか1校	校舎等大規模改修
	大門小学校ほか1校	教室改修
	秦梨小学校ほか1校	校舎等外部改修
	上地小学校	便所改修
	緑丘小学校	給排水・消火設備改修
	本宿小学校ほか2校	受変電設備改修
	緑丘小学校	公共下水道切替
	梅園小学校ほか15校	防犯カメラ設置
	梅園小学校ほか37校	LED照明取替
中学校	甲山中学校	校舎大規模改修
	岩津中学校	校舎等外部改修
	城北中学校ほか1校	便所改修
	甲山中学校ほか19校	LED照明取替

IV 資 料

第 2 学校関係

7 市立小学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
1	梅 園	M2. 9	22-3566 (3567)	稲熊町字 4 丁目 68 番地 1	444-0071	近藤 文彦	733	15
2	根 石	M5. 5	22-3646 (3647)	欠町字石ヶ崎 1 番地 2	444-0011	山元 嘉与	617	24
3	男 川	M6. 4	22-1159 (1285)	大平町字中道 17 番地	444-0007	中西 勉	578	31
4	美 合	M26. 1	51-1020 (1019)	岡町字南石原 30 番地	444-0005	鈴木 正統	261	12
5	緑 丘	S50. 4	51-5693 (5506)	美合町字沢渡 12 番地	444-0802	紀平 高之	666	16
6	羽 根	S10. 5	51-1795 (1667)	羽根町字池脇 24 番地 2	444-0813	岡 秀之	700	35
7	岡 崎	M6. 7	51-1252 (1315)	針崎町字フロ 1 番地	444-0827	鈴木 勝久	766	27
8	六 名	S11. 4	51-3536 (3537)	六名三丁目 2 番地 1	444-0856	太田 幹也	924	19
9	三 島	M6. 3	51-0568 (0569)	明大寺町字池上 1 番地	444-0864	柴田 知子	481	12
10	竜 美 丘	S51. 4	52-1275 (1285)	竜美台一丁目 1 番地	444-0873	岩瀬 竜弥	703	28
11	連 尺	M4. 2	22-6574 (6575)	城北町 4 番地	444-0064	伊豫田 守	410	16
12	広 幡	M7. 4	21-0610 (0717)	広幡町 11 番地 1	444-0066	清松 治子	552	43
13	井 田	S26. 4	22-2146 (2197)	井田町字茨坪 4 番地 3	444-0077	牧野 守	1120	33
14	愛 宕	S31. 4	22-4419 (4090)	伊賀町字愛宕山 1 番地	444-0075	細井 鶴貴	163	15
15	福 岡	M6. 9	51-9040 (9082)	福岡町字西市仲 3 番地	444-0825	磯村 彰久	629	25
16	竜 谷	M25. 4	53-3865 (3129)	竜泉寺町字松本 34 番地 4	444-3524	中垣 明道	123	2
17	藤 川	M5. 4	48-2029 (2334)	藤川町字西町北 44 番地	444-3523	塚谷 保	301	16
18	山 中	M13. 9	48-2201 (2430)	舞木町字天神越 1 番地	444-3511	保田 眞美	227	11
19	本 宿	M25. 10	48-2504 (3154)	本宿町字三本松入 14 番地 1	444-3505	中立 香	286	3
20	生 平	M38. 4	47-2547 (2172)	生平町字鷺場 25 番地 1	444-3334	尾崎 智佳	49	5
21	秦 梨	M6. 4	47-2548 (2196)	秦梨町字世土田 2 番地	444-3343	山本 伸	44	2
22	常 磐 南	M6. 4	46-2005 (2048)	田口町字岩本 12 番地 4	444-3172	林 幸康	173	4
23	常 磐 東	M25. 10	46-2108 (2049)	米河内町字惣作 32 番地	444-3467	河合由起子	45	2
24	常 磐	M6. 3	46-2003 (4033)	滝町字入ノ谷 3 番地 4	444-3173	富田 好己	205	3
25	恵 田	M7. 4	45-2225 (2124)	恵田町字三月ヶ入 71 番地 1	444-2107	内山彩由実	40	2
26	奥 殿	M5. 9	45-2207 (2349)	奥殿町字仲西 73 番地 2	444-2108	長坂麻奈美	82	3
27	細 川	M4. 4	45-2701 (2713)	細川町字石田 45 番地	444-2149	石川 恒彦	726	35
28	岩 津	M6. 2	45-2007 (2036)	岩津町字申堂 24 番地 2	444-2144	長坂 博子	526	18
29	大 樹 寺	M6. 12	22-1419 (6366)	鴨田町字広元 31 番地	444-2121	坂元 干城	555	32
30	大 門	S51. 4	23-8709 (8704)	大門四丁目 4 番地 1	444-2135	石原 真吾	789	28
31	矢 作 東	T4. 4	31-3233 (2610)	矢作町字切戸 28 番地	444-0943	矢田 雅彦	659	20
32	矢 作 北	M6. 7	31-4574 (4579)	橋目町字西遠山 9 番地 2	444-0908	竹平 真仁	770	35
33	矢 作 西	T13. 4	31-3283 (8179)	宇頭町字長合 40 番地	444-0905	清水 良隆	295	14
34	矢 作 南	M5. 12	31-2723 (2863)	大和町字西島 13 番地	444-0931	稲垣 祐嗣	790	25
35	六ツ美中部	M41. 3	43-2260 (5490)	下青野町字井戸尻 71 番地	444-0244	神谷 敦仁	254	2

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
7,038	1,269	11,400	22,930	28	14	25×5	25×3	35.5	1	2	0		①	梅 園
6,100	1,295	12,554	30,202	26	16	25×5	25×2	32.5	1	1	1		①	根 石
4,792	785	10,739	21,426	27	10	25×5	25×2	35.5	1	2	1		①	男 川
4,568	742	8,025	16,076	15	13	25×5	25×2	18.0	1	1	0		①	美 合
6,288	790	9,411	26,915	27	19	25×5	25×2	33.5	1	2	0		①	緑 丘
5,831	735	16,088	23,752	27	13	25×5	25×2	37.0	1	2	0		1	羽 根
7,703	790	11,626	26,278	39	21	25×5	25×2	36.5	1	2	0		(1)	岡 崎
6,647	1,279	9,746	22,054	33	12	25×5	25×3	42.0	1、①	1、①	0		1	六 名
5,046	742	8,115	29,055	19	9	25×5	25×2	25.5	1	1	0		1	三 島
6,551	790	11,244	29,947	31	16	25×5	25×2	38.5	1	2	0		1①	竜 美 丘
5,275	1,262	16,082	25,980	20	13	25×5	25×2	25.0	1	1	0		①	連 尺
5,745	745	12,024	22,726	27	11	25×5	25×2	35.5	1	2	0		①	広 幡
6,929	1,269	21,389	44,672	40	12	25×7	25×3	49.0	1、①	2	0		①	井 田
3,998	1,263	11,678	25,920	11	12	25×5	25×2	14.5	1	1	0		1	愛 宕
5,708	832	16,277	31,791	27	7	25×5	25×2	35.5	1	1	1		1	福 岡
3,259	790	12,435	36,952	8	10	25×5	25×2	11.0	1	1	0		1①	竜 谷
4,391	789	5,380	12,312	15	16	25×5	25×2	19.0	1	1	0		1	藤 川
3,741	545	8,631	12,564	13	10	25×5	25×1	18.5	1	①	0		1	山 中
5,664	790	10,820	40,611	14	24	25×5	25×2	20.0	1	①	0		(1)	本 宿
2,303	589	8,004	17,400	9	7	25×3	25×1	12.0	1	1	0		①	生 平
2,009	623	5,201	10,644	8	7	25×3	25×1	10.0	1	1	0		(1)	秦 梨
2,356	626	8,814	22,476	10	5	25×3	25×1	13.0	1	1	0		①	常 磐 南
2,341	634	8,502	26,568	7	7	25×3	25×2	10.0	1	1	0		①	常 磐 東
4,003	790	14,155	33,026	10	13	25×5	25×2	13.0	1	1	0		①	常 磐
2,533	626	10,117	19,498	7	7	25×3	25×1	10.0	1	1	0		①	恵 田
2,546	832	8,484	20,651	8	8	25×5	25×2	11.0	1	1	0		1	奥 殿
6,763	790	10,573	23,100	28	16	25×5	25×2	35.5	1	2	0		(1)	細 川
4,667	795	8,351	22,085	22	10	25×5	25×2	27.5	1	1	1		①	岩 津
6,461	1,332	8,120	20,147	24	17	25×5	25×2	35.0	1	1	1		①	大 樹 寺
5,935	790	10,996	23,471	32	12	25×5	25×2	38.5	1	2	0		1	大 門
5,577	748	10,189	18,857	27	10	25×5	25×2	34.0	1	1	0		1	矢 作 東
6,271	865	11,605	23,468	32	16	25×5	25×2	40.5	1	2	0		1	矢 作 北
4,357	790	8,783	19,375	15	8	25×5	25×2	20.5	1	1	1		1	矢 作 西
6,160	790	7,950	17,761	31	15	25×5	25×2	37.0	1	2	1		1	矢 作 南
3,743	790	9,749	18,955	13	9	25×5	25×2	15.5	1	1	1		1	六ツ美中部

IV 資 料

第 2 学校関係

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
36	六ツ美北部	M41.4	52-2257 (2268)	土井町字炭焼 2 番地	444-0204	深津 伸夫	692	19
37	六ツ美南部	M41.3	43-2105 (1370)	中島町字下井ノ上 9 番地 1	444-0226	清水 孝治	625	19
38	城 南	S52.4	52-2913 (2423)	城南町一丁目 11 番地	444-0835	二村 久	405	34
39	上 地	S58.4	53-0501 (0506)	上地三丁目 31 番地	444-0823	浅井 貞人	699	35
40	小 豆 坂	S59.4	54-1651 (1652)	戸崎町字藤狭 13 番地 5	444-0841	犬塚 健一	516	26
41	北 野	S60.4	31-1112 (1113)	北野町字山下 1 番地 1	444-0951	本郷 一毅	528	14
42	六ツ美西部	H9.4	71-2971 (2973)	赤渋町字道本 33 番地	444-0241	寺島 真澄	707	26
43	豊 富	M7.3	82-3073 (3713)	檉山町字西之沢 3 番地	444-3622	加藤 環	196	7
44	夏 山	M7.8	82-3015 (3649)	夏山町字細田 7 番地 1	444-3621	川本 祐二	22	0
45	宮 崎	M6.	83-2260 (2270)	石原町字古城 9 番地	444-3601	佐橋 康仁	18	1
46	形 埜	M6.9	84-2002 (2003)	桜形町字中嶋 13 番地	444-3435	清水佐知子	44	4
47	下 山	M5.8	84-2204 (2209)	保久町字市場 16 番地	444-3442	鈴木紀予子	14	3
		(47 校)					20708	801

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
6,722	748	11,183	22,553	25	15	25×5	25×2	32.0	1	1	0		(1)	六ツ美北部
5,435	790	10,892	19,798	23	9	25×5	25×2	28.5	1	1	0		①	六ツ美南部
6,101	790	12,739	25,783	20	18	25×5	25×2	28.0	1	1	0		(1)	城 南
5,992	832	10,856	24,901	30	10	25×5	25×2	38.0	1	2	0		1	上 地
5,644	833	8,492	22,289	21	13	25×5	25×2	29.5	1	1	0		①	小 豆 坂
5,752	834	10,131	19,543	21	16	25×5	25×2	27.0	1	1	0		1	北 野
6,312	1,252	12,504	21,698	28	15	25×5	25×2	36.5	1	2	0		(1)	六ツ美西部
3,687	1,159	10,722	22,311	9	10	25×6	25×2	12.5	1	1	0		(1)	豊 富
1,841	684	4,746	11,096	4	10	25×3	なし	7.0	1	①	0		(1)	夏 山
1,815	986	5,961	12,051	4	9	25×4	25×1	8.0	1	1	0		①	宮 崎
1,820		9,351	17,854	8	7	25×5	25×2	11.0	1	1	0		(1)	形 埜
1,612	1,137	6,466	15,887	5	8	25×4	25×1	8.0	1	1	0		①	下 山
226,032	39,957	487,300	1,075,409	928	565			1191.5	47.0②	58.0④	8	0	18②10	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を 0.5 人と計算

運動場及び校地面積は、借用地を含む

8 市立中学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	生 徒 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
1	甲 山	S22. 4	22-2664 (2665)	中町字北野東 20 番地 1	444-0015	加藤 嘉一	744	21
2	美 川	S22. 4	21-1898 (4688)	丸山町字ハサマ 4 番地 1	444-0006	安藤 眞樹	545	26
3	南	S22. 4	51-4664 (4665)	戸崎町字野畔 8 番地 1	444-0840	加藤 有悟	418	17
4	竜 海	S22. 4	51-4538 (4539)	明大寺町字栗林 48 番地 1	444-0864	児玉 洋行	1043	25
5	葵	S22. 4	21-0171 (0172)	伊賀新町 31 番地 1	444-0078	柴田 昌一	704	20
6	城 北	S36. 4	21-8103 (8104)	城北町 3 番地 1	444-0064	山本 則夫	470	17
7	福 岡	S22. 4	51-9057 (9099)	福岡町字井杭 3 番地	444-0825	森 竜師	419	7
8	東 海	S22. 4	48-2821 (2822)	山綱町字中柴 51 番地	444-3513	長谷川勝一	441	6
9	河 合	S22. 4	47-2012 (2023)	茅原沢町字上平 7 番地	444-3335	寺澤 益実	53	2
10	常 磐	S22. 4	46-2028 (2054)	滝町字山籠 109 番地	444-3173	近藤 善紀	249	7
11	岩 津	S22. 4	45-2022 (2595)	東蔵前二丁目 36 番地	444-2145	小野 隆義	407	14
12	矢 作	S22. 4	31-3808 (3809)	暮戸町字蓮代 18 番地	444-0941	山内 貴弘	677	16
13	六 ツ 美	S22. 4	43-2071 (2398)	下青野町字井戸尻 72 番地	444-0244	伊澤 勉	478	11
14	矢 作 北	S56. 4	31-3611 (3612)	東大友町字筆屋 43 番地 1	444-0903	荒河 昌吾	884	13
15	新 香 山	S59. 4	45-2026 (7803)	桑原町字大沢 20 番地 86	444-2141	小田 哲也	477	12
16	竜 南	S61. 4	54-4400 (4401)	緑丘二丁目 17 番地	444-0806	平 任代	561	14
17	北	S63. 4	22-8740 (8739)	上里一丁目 10 番地	444-2136	板倉 眞介	627	17
18	六 ツ 美 北	H4. 4	54-2431 (2432)	井内町字六反 2 番地	444-0203	天野 孝志	761	19
19	額 田	S47. 4	82-3160 (3283)	檜山町字原新田 88 番地	444-3622	夏目 弘之	172	7
20	翔 南	H25. 4	71-1122 (1188)	針崎町字春咲 1 番地 2	444-0827	寺坂 信久	711	15
		(20 校)					10841	286

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (Ⅹコース) 標準	県費負担職員				市費職員			校 名
				普通教室	特別教室		校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	寮監等	
7,544	2,264	15,103	37,634	26	21	25×7	49.0	2	2	0		1①		甲 山
6,740	2,416	13,107	25,885	20	25	25×6	35.0	1	2	0		1		美 川
8,009	2,133	13,600	26,523	17	28	25×7	31.0	1	1	0	(1)	1		南
8,946	2,937	17,968	44,794	32	21	25×6	58.0	2	2	0		①		竜 海
6,678	2,296	23,033	52,852	23	17	50×8	40.0	1	2	0		1		葵
6,423	2,595	15,799	26,913	16	22	25×7	28.5	1	1	0	(1)	1		城 北
6,325	2,585	19,043	32,136	14	17	25×7	26.0	1	1	1	(1)	1		福 岡
7,027	2,739	15,535	29,562	14	28	25×7	27.5	1	1	1		1		東 海
2,364	728	8,322	15,937	5	8	25×4	12.0	1	1	0		①		河 合
4,421	2,631	9,601	17,450	13	8	25×5	22.0	1	1	0		1		常 磐
5,188	2,585	18,740	30,117	16	15	25×7	29.0	1	1	1	(1)	1		岩 津
7,435	2,465	20,831	34,766	23	19	25×7	41.5	1	2	0		①		矢 作
7,183	1,651	15,770	28,839	15	23	25×7	26.0	1	1	0	(1)	①		六 ツ 美
7,579	1,516	16,592	28,051	28	21	25×7	49.5	2	2	1		①		矢 作 北
6,309	2,204	18,727	35,649	18	19	25×7	31.5	1	1	0	(1)	1		新 香 山
6,735	2,250	16,779	29,001	20	23	25×7	33.0	1	1	0	(1)	①		竜 南
7,408	2,258	16,276	30,507	22	21	25×7	38.0	1	2	0		1		北
8,471	2,284	18,096	30,242	26	19	25×7	48.0	1	2	0		①		六 ツ 美 北
5,769	3,795	20,479	53,031	9	24	25×7	19.0	1	1	0		①	2(7)	額 田
8,028	2,418	17,026	31,584	25	17	25×7	43.5	1	2	0		①		翔 南
13,4582	46,750	330,427	641,473	382	396		688.0	23.0	29.0	4	(7)	11⑩	2(7)	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を 0.5 人と計算

運動場及び校地面積は、借用地を含む

IV 資料

第 2 学校関係

9 児童生徒数一覽

区分	番号	学 校 名	1年						2年						3年					
			男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級
小	1	梅 園	49	3	42	2	96	3	49	3	68		120	4	66	2	55	1	124	4
	2	根 石	45	2	49		96	4	39	2	53		94	3	51	1	54	3	109	3
	3	男 川	66	1	49		116	4	52	4	44	1	101	3	49	4	42	2	97	3
	4	美 合	19	1	12		32	2	17	1	26	1	45	2	18	1	26	2	47	2
	5	緑 丘	57	2	57	1	117	4	59	3	64	1	127	4	57	2	51	2	112	4
	6	羽 根	61	3	66	2	132	4	61	6	61	2	130	4	49	8	58		115	4
	7	岡 崎	56	4	66		126	4	65	3	63	1	132	4	47	2	67	2	118	4
	8	六 名	66	2	76		144	5	77	1	78		156	5	75	4	75	1	155	5
	9	三 島	32	1	32		65	3	47	1	40		88	3	45	4	45	2	96	3
	10	竜 美 丘	43	3	61	1	108	4	55	1	62	1	119	4	73	3	54	3	133	4
	11	連 尺	36	1	31		68	3	37	2	36	2	77	3	34	2	34	1	71	2
	12	広 幡	41	5	49		95	3	58	5	46	2	111	3	37	9	44	4	94	3
	13	井 田	90	5	100		195	6	77	1	104		182	6	84	6	84	2	176	5
	14	愛 宕	14	2	14	3	33	1	11	3	16		30	1	8	1	17		26	1
	15	福 岡	47	3	38	1	89	3	52	3	63	1	119	4	45	3	49	2	99	3
	16	竜 谷	12		6		18	1	9		11		20	1	4		11		15	1
	17	藤 川	16	4	27		47	2	33	5	27		65	2	16	2	23		41	2
	18	山 中	18		20		38	2	14	1	24		39	2	18	3	11	1	33	1
	19	本 宿	20		26		46	2	15	1	26	1	43	2	34		19		53	2
	20	生 平	3		2		5	1	4	1	7		12	1	5	2	3		10	1
	21	泰 梨	2		1		3	1	1		3		4		4		6		10	1
	22	常 磐 南	13	1	11		25	1	12	1	11		24	1	14		17		31	1
	23	常 磐 東			7	1	8	1	3		5		8	1	3	1	4		8	1
	24	常 磐	19	1	17		37	2	11		17	1	29	1	14		18		32	1
	25	恵 田	3	1	3		7	1	1		2		3	1	6	1	2		9	1
	26	奥 殿	7		6	1	14	1	6		7		13	1	6	1	7		14	1
校	27	細 川	43	3	51	2	99	3	53	4	48		105	3	71	6	58	1	136	4
	28	岩 津	39	2	44	2	87	3	40	4	27	1	72	2	43	1	46	1	91	3
	29	大 樹 寺	41	2	38		81	3	54	6	56	1	117	4	53	2	38	3	96	3
	30	大 門	63	2	67	3	135	5	68	6	80		154	5	72	1	56	3	132	4
	31	矢 作 東	47		71	2	120	4	58	2	51		111	4	52		50	2	104	3
	32	矢 作 北	53	7	62	1	123	4	80	3	70	3	156	5	57	9	63	4	133	4
	33	矢 作 西	22	1	25		48	2	24	3	21		48	2	21	2	25	1	49	2
	34	矢 作 南	55	2	72	1	130	5	65	4	69	2	140	4	61	4	62	1	128	4
	35	六ツ美中部	18		15		33	2	27	1	32	1	61	2	19		10		29	1
	36	六ツ美北部	58	1	53	1	113	4	49	4	53		106	3	63	1	55		119	4
	37	六ツ美南部	56	4	50		110	4	56	2	56	1	115	4	44	2	45	3	94	3
	38	城 南	32	3	28		63	2	35	2	30	3	70	2	36	4	26	2	68	2
	39	上 地	51	6	63		120	4	62	4	58		124	4	68	7	56	1	132	4
	40	小 豆 坂	41	6	37	2	86	3	33	4	25	2	64	2	48	2	36		86	3
	41	北 野	45	2	33		80	3	44		62		106	3	46	3	33	2	84	3
	42	六ツ美西部	52		52	6	110	4	61	3	52	3	119	4	73	3	63	2	141	4
	43	豊 富	13	1	16		30	1	19	2	14		35	1	16		15		31	1
	44	夏 山	2		3		5	1			3		3	1	2		3		5	1
	45	宮 崎	1		3		4	1	3		1		4	1	2	1	1		4	1
	46	形 埜	3		5		8	1	1	1	5		7	1	4		5		9	1
	47	下 山	1		1		2	1	2		1		3		1				1	1
		計	1,571	87	1,657	32	3,347	128	1,699	103	1,778	31	3,611	123	1,714	110	1,622	54	3,500	119
中	1	甲 山	106	6	124	1	237	7	120	7	124		251	7	141	3	129	4	277	7
	2	美 川	88	7	86	3	184	5	104	6	79	2	191	5	95	3	93	5	196	5
	3	南	80	3	73	1	157	5	60	6	71	3	140	4	72	3	62	1	138	4
	4	竜 海	187	4	193	1	385	11	170	10	177	1	358	9	151	7	165	2	325	8
	5	葵	128	3	111	2	244	7	125	5	105	3	238	6	131	3	104	4	242	6
	6	城 北	86	3	84	4	177	5	70	1	76	2	149	4	79	4	75	3	161	4
	7	福 岡	63		69	1	133	4	79	4	62		145	4	78	2	68		148	4
	8	東 海	72	1	64	1	138	4	85	2	62		149	4	86	1	72	1	160	4
	9	河 合	9	1	10	1	21	1	11		11		22	1	6		6		12	1
	10	常 磐	49		28		77	3	37	3	51		91	3	50	3	34	1	88	3
	11	岩 津	73	4	60	2	139	4	74	2	62	2	140	4	75	3	63	1	142	4
	12	矢 作	105	2	118	3	228	7	125	6	127		258	7	107	3	95	2	207	6
	13	六 ツ 美	95	2	71		168	5	86	2	70	2	160	4	71	4	85	1	161	4
	14	矢 作 北	148	6	135		289	9	168	4	153		325	9	133	1	147	2	283	7
	15	新 香 山	80	2	78		160	5	70	4	97		171	5	83	3	69	3	158	4
	16	竜 南	110	4	85	1	200	6	103	4	67		174	5	103	1	93	4	201	5
	17	北	105	4	110		219	7	115	5	90	1	211	6	93	4	114	3	214	6
	18	六 ツ 美 北	118	3	131		252	8	136	3	114	2	255	7	139	9	123	2	273	7
	19	額 田	32	2	27	2	63	2	30		32		62	2	29	1	22		54	2
	20	翔 南	126	5	133		264	8	127	2	123		252	7	101	5	101	3	210	6
		計	1,860	62	1,790	23	3,735	113	1,895	76	1,753	18	3,742	103	1,823	63	1,720	44	3,650	97
小・中 計																				

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

(令和5年度5月1日現在)

4年						5年						6年						特別支援		合計			
男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	(計)	級	男	女	計	級
60	1	66		127	4	67	1	61	1	130	4	76	1	74		151	4	15	5	378	370	748	28
46	3	64	4	117	4	54	2	56	3	115	4	50	4	56		110	3	24	6	299	342	641	27
40	4	47	2	93	3	55	3	38	2	98	3	48	5	48	3	104	3	31	8	331	278	609	27
21	3	22	1	47	2	30		19	1	50	2	27	1	24		52	2	12	3	139	134	273	15
56	1	50	1	108	4	54	1	47	1	103	3	56	1	58		115	3	16	5	349	333	682	27
57	3	51		111	4	71	6	63		140	4	49	1	53	4	107	3	35	5	375	360	735	28
81	6	64		151	5	84	5	64	2	155	5	56	2	53		111	3	27	5	411	382	793	30
75	3	80		158	5	79	2	89	1	171	5	68	2	86	3	159	4	19	4	454	489	943	33
42	3	39		84	3	40		50		90	3	33	1	36		70	2	12	3	249	244	493	20
55	2	58	1	116	4	54	6	54	3	117	4	64	2	70	2	138	4	28	7	361	370	731	31
34	1	29	1	65	2	32	1	26	2	61	2	37	3	44		84	3	16	5	220	206	426	20
41	6	45	1	93	3	44	3	56	5	108	3	49	2	42	1	94	3	43	9	300	295	595	27
106	4	94	4	208	6	88	6	102	1	197	6	104	4	87		195	5	33	6	575	578	1,153	40
16		12		28	1	9	3	10	2	24	1	21	1	15		37	1	15	5	89	89	178	11
36	3	60	3	102	3	57	1	58	2	118	4	71	1	53	2	127	4	25	6	322	332	654	27
18		8	1	27	1	9		10		19	1	14	1	11		26	1	2	2	67	58	125	8
33	2	21	2	58	2	27		20		47	2	35		23	1	59	2	16	3	173	144	317	15
23		14		37	2	16	5	15		36	1	30	1	24		55	2	11	3	129	109	238	13
22		22		44	2	30		19		49	2	22	1	31		54	2	3	2	145	144	289	14
6		1		7	1	4	1	6	1	12	1	5		3		8	1	5	3	31	23	54	9
5		7		12	1	3		1		4	1	7	2	4		13	1	2	2	24	22	46	7
14	1	11		26	1	20		19		39	2	15		16	1	32	1	4	3	91	86	177	10
4		1		5	1	6		4		10	1	4		4		8	1	2	1	21	26	47	7
14	1	16		31	1	27		13		40	2	24		15		39	1	3	2	111	97	208	10
5		3		8	1	6		3		9	1	3		3		6	1	2	1	26	16	42	7
5		8		13	1	7	1	8		16	1	9		6		15	1	3	2	42	43	85	8
64	5	62	2	133	4	68	3	61	2	134	4	55	6	92	1	154	4	35	6	381	380	761	28
45	3	43		91	3	43	1	58	1	103	3	49	2	49		100	3	18	5	272	272	544	22
65	6	43		114	4	42	3	38	1	84	3	45	5	42	3	95	3	32	7	324	263	587	27
60	1	72	2	135	4	68	2	52	1	123	4	57	4	74	3	138	4	28	6	404	413	817	32
58	3	50	1	112	4	56	2	59	3	120	4	53	3	54	2	112	3	20	5	334	345	679	27
68	1	71	1	141	4	70	3	54		127	4	51	2	71	1	125	4	35	7	404	401	805	32
25	3	25	1	54	2	21	2	27		50	2	29	1	30		60	2	14	3	154	155	309	15
62	4	64	1	131	4	55	1	73	1	130	4	70	4	82		156	4	25	6	387	428	815	31
25		27		52	2	20		18		38	2	18		25		43	2	2	2	128	128	256	13
62	3	61		126	4	73	5	61	1	140	4	63	3	41		107	3	19	3	385	326	711	25
58		47	1	106	3	56	2	46	2	106	3	49	1	62	1	113	3	19	3	330	314	644	23
32	4	29	2	67	2	39	6	48	3	96	3	32	4	38	1	75	2	34	7	229	210	439	20
52	7	57	2	118	4	55	5	61	1	122	4	60	2	56		118	3	35	7	379	355	734	30
46	3	50	2	101	3	41		48	1	90	3	57	3	54	1	115	3	26	5	284	258	542	22
43	3	36		82	3	48		51		99	3	39	4	48		91	3	14	3	277	265	542	21
60		42	2	104	3	63		64	3	130	4	64	3	61	1	129	4	26	5	382	351	733	28
20		10	1	31	1	22		19		41	2	22	1	10	2	35	1	7	2	116	87	203	9
3		4		7		1		1		2	1									8	14	22	4
		2		2		1				1	1	2		2		4		1	1	10	9	19	5
2	2	3		7	1	3		5		8	1	3	1	5		9	1	4	2	20	28	48	8
2	2			4		1	1	2		4	1	2		1		3		3	2	12	5	17	5
1,767	97	1,691	39	3,594	122	1,819	83	1,757	47	3,706	128	1,797	85	1,836	33	3,751	113	801	193	10,932	10,577	21,509	926
																		21	6	383	382	765	27
																		26	5	303	268	571	20
																		17	4	224	211	435	17
																		25	4	529	539	1,068	32
																		20	4	395	329	724	23
																		17	3	243	244	487	16
																		7	2	226	200	426	14
																		6	2	247	200	447	14
																		2	2	27	28	55	5
																		7	4	142	114	256	13
																		14	5	231	190	421	17
																		16	3	348	345	693	23
																		11	2	260	229	489	15
																		13	4	460	437	897	29
																		12	4	242	247	489	18
																		14	4	325	250	575	20
																		17	3	326	318	644	22
																		19	4	408	372	780	26
																		7	3	94	85	179	9
																		15	4	366	360	726	25
																		286	72	5,779	5,348	11,127	385
																		1,087	265	16,711	15,925	32,636	1,311

10 市立小中学校以外の学校等（各種学校を除く）

(1) 研究機関

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	自然科学研究機構 (分子科学研究所・基礎生物学研究所・生理学研究所)	明大寺町字西郷中 38 番地	55-7000

(2) 小・中・養護・盲・聾学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	愛知教育大学附属岡崎小学校	六供町字八貫 15 番地	21-2237
〃	愛知教育大学附属岡崎中学校	明大寺町字栗林 1 番地	51-3637
〃	愛知教育大学附属特別支援学校	六供町字八貫 15 番地	21-7300
県 立	岡 崎 盲 学 校	竜美西一丁目 11 番地 5	51-1270
〃	岡 崎 聾 学 校	西阿知和町字御用田 1 番地 23	45-2830
〃	岡 崎 特 別 支 援 学 校	本宿町字古新田 78 番地	48-2601
〃	み あ い 特 別 支 援 学 校	美合町字並松 1 番地 51	57-0013

(3) 高等学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
県 立	岡 崎 高 等 学 校	明大寺町字伝馬 1 番地	51-0202
〃	岡 崎 北 高 等 学 校	石神町 17 番地 1	22-2536
〃	岡 崎 東 高 等 学 校	竜泉寺町字後山 27 番地	52-8911
〃	岡 崎 西 高 等 学 校	日名南町 7 番地	25-0751
〃	岩 津 高 等 学 校	東蔵前町字馬場 5 番地	45-2005
〃	岡 崎 工 科 高 等 学 校	羽根町字陣場 47 番地	51-1646
〃	岡 崎 商 業 高 等 学 校	栄町三丁目 76 番地	21-3599
私 立	岡 崎 学 園 高 等 学 校	稲熊町字三丁目 110 番地	22-0274
〃	光ヶ丘女子高等学校	大西町字奥長入 52 番地	51-5651
〃	岡 崎 城 西 高 等 学 校	中園町字川成 98 番地	31-4165
〃	愛知産業大学三河高等学校	岡町字原山 12 番地 10	48-5211

(4) 大学・短期大学

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
私 立	愛 知 学 泉 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	愛 知 産 業 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-4511
〃	人 間 環 境 大 学	本宿町字上三本松 6 番地 2	48-7811
〃	岡 崎 女 子 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 学 泉 短 期 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	岡 崎 女 子 短 期 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 産 業 大 学 短 期 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-8282

(5) 認定こども園・幼稚園

設置区分	園 名	所 在 地	電話番号
市立	梅 園 こ ど も 園	梅園町字 2 丁目 6 番地 1	22-0469
〃	広 幡 こ ど も 園	広幡町 11 番地 4	21-3723
〃	矢 作 こ ど も 園	矢作町字西河原 49 番地	31-3536
私立	愛 隣 幼 稚 園	六供町字西茶臼 15 番地	21-2538
〃	嫩 幼 稚 園	魚町一丁目 8 番地	21-0708
〃	第 一 早 蕨 幼 稚 園	欠町字狐ヶ入 21 番地	22-1678
〃	第 二 早 蕨 幼 稚 園	洞町字八王子 10 番地 1	22-1923
〃	め ぐ み 幼 稚 園	羽根町字池下 57 番地 1	51-2322
〃	みそのマリア 幼 稚 園	明大寺町字向山 2 番地 120	51-4046
〃	聖 カ タ リ ナ 幼 稚 園	大西町字奥長入 52 番地	51-7127
〃	竹 の 子 幼 稚 園	養川町字東屋敷 16 番地	52-2554
〃	レ オ ナ 第 一 幼 稚 園	真伝町字鐘鑄 1 番地 5	24-4859
〃	レ オ ナ 第 二 幼 稚 園	西阿知和町字御用田 208 番地 5	45-2729
〃	あ さ ひ こ 幼 稚 園	桑原町字大沢 29 番地 7	45-5300
〃	本 宿 幼 稚 園	本宿町字下トコフサ 1 番地 9	48-6973
〃	か お る 幼 稚 園	滝町字芳殿 80 番地	46-3251
〃	橋 目 幼 稚 園	橋目町字毘沙門 11 番地	32-2088
〃	た つ み 幼 稚 園	緑丘一丁目 2 番地 3	53-0250
〃	み や こ 幼 稚 園	福岡町字北西仲 9 番地 4	53-0161
〃	ま こ と 幼 稚 園	大門四丁目 5 番地 16	24-7988
〃	長 瀬 台 幼 稚 園	橋目町字割塚 3 番地 3	32-6721
〃	み や こ 第 二 幼 稚 園	宮地町字柳畑 58 番地 3	53-0039
〃	矢 作 白 鳥 幼 稚 園	東本郷町字川原田 39 番地	32-6810
〃	やはぎみやこ 幼 稚 園	富永町字平田 10 番地 1	32-8100
〃	むつみみやこ 幼 稚 園	野畑町字花ノ木原 50	72-4839

※ 市立幼稚園は、平成 29 年 4 月から幼保連携型認定こども園へ移行

第3 体育施設

1 市内体育施設

(令和4年度)

施設名	所在地	開設年月日	内 容
岡崎中央総合公園 総合体育館	高隆寺町峠1	H3. 12. 15	体育館 8,540 m² 武道館 6,380 m² 錬成道場 4,210 m² エントランス 3,850 m² エントランス棟 事務室 会議室 応接室 喫茶室 ロビー ホール 観客用エントランスホール 体育館棟 競技場 2,646 m² (63m×42m) 移動 ステージ(2.4m×1.2m)49セット 観客席 固定 2,620席 移動収納 2,300席 ◎ バレーボール 4面 バスケットボール 3面 卓球 50台 バドミントン 12面 武道館棟 競技場 1,722 m² (42m×41m) ステージ(36m×8m) 観客席 固定 1,550席 移動収納 620席 ◎ 剣道 4面 柔道 4面 バレーボール 2面 バスケットボール 2面 錬成道場棟 第1錬成道場 客席 180席 ◎ 剣道 540 m² (18m×30m) 2面 第2錬成道場 客席 180席 ◎ 柔道 540 m² (18m×30m) 2面 トレーニングルーム ◎ トレーニング器具 23種 42台 ランニングコース 約120m
岡崎市体育館	六名本町7	S51. 7. 1	敷地 12,996 m² 延床面積 13,256 m² 競技場 2,524 m² 剣道場 182 m² 柔道場 182 m² トレーニング室 187 m² 会議室 食堂 観 客席 2,544席 駐車場 300台 ◎バレーボール4面 バスケットボール3面 ハンドボール1 面 テニス3面 卓球30台 バドミントン12面 体操競技1式
岡崎市矢作体育館	宇頭町小藪49	S56. 4. 1	延床面積 1,186 m² 競技場 651 m² ◎バレーボール1面 (練習2面可能) バスケットボール1面 バドミントン3面 テニス1面 卓球10台
岡崎市井田体育館	伊賀新町10-3	H21. 4. 1	延床面積 516.6 m² 競技場 400 m² ◎バレーボール1面 バドミントン2面 卓球8台
岡崎市六ツ美体育館	下青野町本郷 99-1	S60. 4. 29	延床面積 1,269.96 m² 体育室 945 m² 男・女更衣室各 16.96 m² 談話室 27.79 m² 器具庫 83.60 m² ◎バレーボール 2面 バスケットボール 1面 テニス 1面 バドミントン 6面 卓球 10台
花園体育センター	桑原町大沢 20- 90	S62. 8. 1	(屋内運動場) 延床面積 1,188 m² 体育室 864 m² ミーティング室 40 m² 男・女更衣室各 12.06 m² ベビーホール 13.95 m² 器具庫 108 m² 事務室 13.95 m² ロビー ◎バレーボール 2面 バドミントン 3面 バスケットボール 1 面 卓球 16台 (屋外運動場) 大広場 9,032 m² 照明設備 ◎軟式野球 1面 (兼ソフトボール 1面) 中広場 2,672 m² ◎テニスコート(クレートコート) 2面
龍北総合運動場 軽運動室	真伝町亀山 12- 2	R2. 7. 5	(約 16.5m×7m/約 115 m²) ◎ヨガ 体操 ダンス

Ⅳ 資 料

第 3 体育施設

施 設 名	所 在 地	開設年月日	内 容
龍 北 総 合 運 動 場 陸 上 競 技 場	真伝町亀山 12-2	R2. 7. 5	◎トラック（全天候型舗装）8 レーン（ホームストレッチは 9 レーン）
龍 北 総 合 運 動 場 サッカー・ラグビー場	真伝町亀山 12-2	R1. 12. 1	◎サッカー 1 面 少年サッカー 2 面 ラグビー 1 面 人工芝
岡 崎 中 央 総 合 公 園 運 動 広 場	高隆寺町峠 1	H7. 4. 1	敷地面積 17,900 m ² グラウンド面積 9,726 m ² ◎ソフトボール 2 面 サッカー、ラグビー 1 面 陸上競技場 200 mトラック 照明設備 メタルハイドランプ 64 灯 平均照度 213Lx
龍 北 総 合 運 動 場 多 目 的 運 動 場	真伝町亀山 12-2	R2. 7. 5	◎サッカー（少年） 1 面 フットサル 2 面 グラウンドゴルフ ゲートボール
岡 崎 中 央 総 合 公 園 多 目 的 広 場	高隆寺町峠 1	H10. 11. 1	敷地面積 26,000 m ² ◎サッカー 1 面、ラグビー 1 面 移動式バックネット 2 組
岡 崎 中 央 総 合 公 園 球 技 場	高隆寺町峠 1	H17. 4. 29	グラウンド面積 16,000 m ² 本部管理棟 147 m ² （本部室・更衣室・便所等） スタンド（1,500 人収容）土盛、芝 ◎軟式野球 1 面 ソフトボール 2 面 ゲートボール 1 6 面程度
南 公 園 運 動 場	若松町萱林 1-1	H 6. 4. 1 (照明 S56. 4)	11,000 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面） 照明設備 1 KW 水銀灯 72 灯 940W ナトリウム灯 24 灯
境 公 園 運 動 場	大門一丁目 1	S48. 2. 1 (照明 S54. 9. 15)	9,500 m ² ◎軟式野球 2 面（兼ソフトボール 2 面） サッカー 1 面 照明設備 1 KW 水銀灯 94 灯 940W ナトリウム灯 36 灯
明 神 橋 公 園 運 動 場	上六名一丁目 14	S55. 4. 1 (照明 S55. 4. 17)	8,000 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面） 照明設備 1 KW 水銀灯 60 灯
日 名 公 園 運 動 場	日名南町 13	S42. 9. 1 (照明 S60. 4. 1)	7,000 m ² ◎ソフトボール 1 面 照明設備 1 KW 水銀灯 56 灯 600W ナトリウム灯 32 灯
六 名 公 園 運 動 場	六名本町 8	S50. 9. 1 (照明 S55. 4. 3)	13,400 m ² ◎ソフトボール 2 面（兼陸上競技 200mトラック） サッカー 1 面 テニス練習場 3～5 人用（壁打ち） 照明設備 1 KW 水銀灯 56 灯（ソフトボール 1 面分）
梅 園 公 園 運 動 場	稲熊町六丁目 135-1	H 4. 3. 25	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面
美 合 公 園 運 動 場	美合町地藏野 1-4	S42. 4. 1	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面
みどり公園運動場	緑丘二丁目 18	S59. 4. 1	6,084 m ² ◎ソフトボール 1 面
矢 作 公 園 運 動 場	中園町大縄 1	H 4. 3. 25	12,600 m ² ◎ソフトボール 2 面
井 田 公 園 運 動 場	井田新町 10	S46. 4. 1	7,000 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）
三百田公園運動場	大樹寺三丁目 21	S51. 4. 1	8,000 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）
堤 下 公 園 運 動 場	上里一丁目 24	S54. 6. 1	8,500 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）
東 部 運 動 場	桑谷町平田ヶ入 25-3	S58. 4. 4	14,649 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）駐車場 40 台
美 矢 井 橋 河 川 緑 地 運 動 場	高橋町地内矢作川 河川敷	S56. 4. 1 (S63. 7. 1)	23,363 m ² ◎ソフトボール 4 面（A、B、C、D 面）
	上青野町地内矢作 川河川敷	S59. 4. 8	8,840 m ² ◎サッカー 1 面
	中之郷町地内矢作 川河川敷	S54. 6. 10	8,272 m ² ◎ソフトボール 1 面（大聖寺）
渡 橋 河 川 緑 地 運 動 場	渡町地内矢作川河 川敷	S55. 11. 1	7,759 m ² ◎ソフトボール 2 面（A、B 面）ゲートボール場 6 面
	天白町地内矢作川 河川敷	H 8. 4. 1	8,500 m ² ◎サッカー 1 面
日 名 橋 河 川 緑 地 運 動 場	舩越町地内矢作川 河川敷	S57. 10. 1	5,860 m ² ◎子どもソフトボール 1 面 少年サッカー 1 面
額 田 運 動 場	南大須町トドメキ 5	S63. 4. 1 (照明 H 4. 8. 27)	14,114 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面） 照明設備 1 KW 水銀灯 108 灯

Ⅳ 資 料

第 3 体育施設

施 設 名	所 在 地	開設年月日	内 容
龍北総合運動場 テニスコート	真伝町亀山 12-2	R1. 12. 1	◎テニスコート 8 面 人工芝（砂入り ナイター施設あり）
岡崎中央総合公園 庭 球 場	高隆寺町峠 1	H5. 5. 22	敷地面積 18,230 m ² クラブハウス センターコート 砂入人工芝 観客席 1,200 人 ◎ 全天候 1 面 一般コート 砂入人工芝 観客席 2,350 人◎ 全天候 16 面 練習コート 砂入人工芝 ◎ 全天候 2 面 照明灯 53 基
南公園庭球場	若松町萱林 1-1	S58. 6. 3	3,040 m ² ◎全天候型（ハードコート）4 面
梅園公園庭球場	稲熊町六丁目 135-1	1 コート H2. 4. 1 2 コート H3. 4. 1	1,680 m ² ◎全天候型（砂入人工芝）2 面
緑丘テニスコート	緑丘一丁目 2-9	S55. 4. 1	2,754 m ² ◎クレーコート 3 面
乙川テニスコート	板屋町 290-1	H2. 5. 1	5,440 m ² ◎全天候型（ハードコート）4 面 ローラースケート場 900 m ²
牧平公園庭球場	牧平町岩田 3-35	S59. 2. 10	722 m ² ◎クレーコート 1 面 練習用壁打ちコート 1 面
中 伊 西 テニスコート	中伊西町坂口 3-1	H10. 2. 13	1,994.40 m ² ◎全天候型（砂入人工芝） 1 面 練習用壁打ちコート 1 面 照明設備 1 KW ハロゲン灯 10 灯
岩津運動広場	岩津町東山 18-1	S56. 11. 1	1,800 m ² ◎子どもソフトボール 1 面
大幡運動広場	大幡町一仏 33-3	S59. 4. 1	7,951 m ² ◎ソフトボール 1 面
天神橋運動広場	岩津町地内矢作川河 川敷	S59. 7. 29	10,780 m ² ◎ソフトボール 1 面
舞木運動広場	舞木町仏石 10-1	S60. 5. 1	11,693 m ² ◎ソフトボール 1 面
奥殿運動広場	奥殿町仲西 68-2	S61. 4. 27	8,252 m ² ◎ソフトボール 1 面
美合運動広場	岡町原山 2	S61. 10. 26	12,820 m ² ◎ソフトボール 1 面
藤川運動広場	藤川町西大蓮舩 1-2	H1. 4. 16	10,700 m ² ◎ソフトボール 1 面
六南あおみ野 （定国町運動広場）	定国町郷外 41-1	H13. 4. 1	13,395 m ² ◎ソフトボール 1 面
常盤南運動広場	田口町字福田 60 番地 1	H25. 4. 1	7,000 m ² ◎ソフトボール 1 面
岡崎中央総合公園 野球場（市民球場）	高隆寺町峠 1	H3. 5. 18	グラウンド面積 14,536 m ² 収容人員 20,000 人（内野 8,000 人 外野 12,000 人） スコアボード（3 色 LED 表示） 照明灯基数 6 基 平均照度 バッテリー間 2,000Lx 内野 1,500Lx 外野 750Lx
龍北総合運動場 野 球 場	真伝町亀山 12-2	R2. 7. 5	両翼 99.1m・中堅 122.0m（野球） 両翼・中堅 68.58m（ソフトボール） 硬式野球 2 面 軟式野球 2 面 ソフトボール 2 面
岡崎中央総合公園 弓 道 場	高隆寺町峠 1	H6. 4. 16	敷地面積 9,800 m ² 鉄骨造平家建 延床面積 1,525.38 m ² 射場 近的（距離 28m）12 人立遠的（距離 60m）6 人立 主要室面積 近的射場 250.00 m ² 遠的射場 130.00 m ² 巻わら室 84.00 m ² 研修室 80.00 m ² 控室、更衣室、便所、倉庫等 981.38 m ²
岡崎中央総合公園 相 撲 場	高隆寺町峠 1	H6. 4. 16	鉄骨造平家建 延床面積 121.00 m ² 付属設備 更衣室 便所 練習土俵 放送設備
龍北総合運動場 アーチェリー場	真伝町亀山 12-2	R1. 6. 1	シューティングライン 30m 50m 70m（20 的設置可能）
岡崎中央総合公園 アーチェリー場	高隆寺町峠 1	H8. 5. 1	敷地面積 1,422 m ² 鉄骨造一部 2 階建 延床面積 262.92 m ² 競技場 30m 標的数 12 個 50m 標的数 6 個（弓道遠的の共用） 主要室面積 クラブハウス 106.01 m ² 射場 112.80 m ² 的場 42.30 m ²
藤川射撃場	藤川町堤ヶ入 1-35	S35	4,500 m ² クレー射台 15 台 休憩室
羽根乗馬場	羽根町小豆坂 107	S29	4,158 m ²
カヌー練習場	桑原町嶋崎 5-1	S45. 12. 3	艇庫 247 m ² カヌーカヤック（9 艇）カヌーボロカヤック（5 艇） カヌーカナディアン（5 艇）（桑原町地内 巴川 水路巾 40m 長さ 1 km）
グライダー練習場	八帖南町地内矢作川 河川敷	S48. 4. 1	初級機 1 機 中級機 1 機 上級機 1 機 ウインチ車 2 台 トレーラー 3 台

2 利用状況

(1) 岡崎市体育館

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
競 技 場	988	50,035	1,121	73,036	1,247	91,798
柔 剣 道 場	530	11,610	659	15,152	721	16,441
トレーニング室	—	14,950	—	19,601	—	21,686
会 議 室	193	4,353	223	5,677	298	8,052
個 人 利 用	—	—	—	—	—	—
合 計	1,711	80,948	2,003	113,466	2,266	137,977

(2) 矢作体育館

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	616	13,552	684	13,337	669	13,110
個 人 利 用	—	—	—	—	—	—

(3) 井田体育館

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	860	12,550	1,081	15,126	1,169	14,951
個 人 利 用	32	293	20	126	3	8

(4) 六ツ美体育館（旧勤労者体育センター）

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	699	16,695	938	19,600	1,062	22,566

(5) 花園体育センター

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	764	11,275	881	11,982	965	18,660

IV 資 料

第 3 体育施設

(6) 運動場

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園	673	17,475	822	17,470	923	20,247
境 公 園	510	37,383	482	41,733	637	46,096
明 神 橋 公 園	351	9,105	430	8,274	443	9,073
日 名 公 園	354	10,786	378	7,982	308	8,909
六 名 公 園	922	45,006	1,095	57,352	1,117	55,633
梅 園 公 園	289	8,177	333	9,772	370	10,638
美 合 公 園	274	13,453	336	12,992	419	16,407
み どり 公 園	475	14,383	592	17,253	582	17,473
矢 作 公 園	1,204	70,569	1,349	81,744	1,440	83,542
井 田 公 園	553	28,662	672	34,112	630	32,464
三 百 田 公 園	312	14,403	419	15,924	441	17,305
堤 下 公 園	332	12,503	410	18,100	283	15,795
東 部	555	31,094	588	39,265	591	40,755
美矢井橋河川緑地 (ソフト)	685	57,152	740	70,119	864	72,082
美矢井橋河川緑地 (サッカー)	159	22,162	221	25,837	205	27,170
美矢井橋河川緑地 (大聖寺)	358	9,747	373	11,620	456	11,130
渡橋河川緑地 (右岸)	244	13,208	552	31,965	571	35,136
渡橋河川緑地 (左岸)	223	33,320	180	39,575	170	40,915
日名橋河川緑地	284	13,621	245	16,164	321	21,064
花園体育センター	452	14,026	633	17,480	572	19,388
額 田	229	9,853	262	13,130	239	14,479
合 計	9,438	486,088	11,112	587,863	11,582	615,701

(7) 運動広場

区 分		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
学区運動広場	岩 津	7	210	0	0	7	184
	大 幡	561	12,076	610	14,107	680	12,825
	舞 木	505	9,606	605	12,265	636	11,457
	奥 殿	47	905	117	1,910	165	2,844
	美 合	556	15,065	642	13,717	663	13,072
	藤 川	630	12,040			310	6,385
	六南あおみ野	1,054	65,795	1,260	65,100	1,199	66,184
	常 磐 南	86	2,425	93	2,020	28	560
河川敷運動広場	天 神 橋	320	10,230	285	9,770	173	4,735
合 計		4,504	160,291	3,612	118,889	3,861	118,246

(8) 庭球場

区 分		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園		2,574	9,871	3,149	12,489	3,104	12,392
梅 園 公 園		2,618	15,719	3,242	27,838	3,186	19,146
緑 丘		3,502	20,089	4,595	24,330	4,744	25,144
乙 川 河 川 敷		1,578	7,806	1,954	10,560	1,869	8,355
牧 平 公 園		699	4,392	961	5,713	1,084	6,456
中 伊 西		1,406	8,037	1,980	10,066	2,087	10,712
花 園		968	5,880	1,022	5,171	1,052	4,303
合 計		16,165	92,311	16,903	96,167	17,126	86,508

令和 5年 9月発行

教育要覧(令和5年度)

編集・発行 **岡 崎 市 教 育 委 員 会**

〒444-8601

岡崎市十王町二丁目9番地

担 当：教育委員会事務局教育政策課

電 話：(0564)23-6419

F A X：(0564)23-6558
